

3 月 5 日 (第 2 号)

平成25年第2回豊能町議会定例会会議録目次

平成25年3月5日（第2号）

出席議員	1
議事日程	2
開議の宣告	3
(一般質問)		
豊民クラブ	橋本謙司 3
	井川佳子 1 3
	岩城重義 2 4
町政会	永並啓 3 4
豊能第一クラブ	小寺正人 4 6
	川上勲 5 6
(関連質問)	平井政義 7 2
公明党	高橋充徳 7 3
	山下忠志 8 3
散会の宣告	9 2

平成25年第2回豊能町議会定例会会議録（第2号）

年 月 日 平成25年3月5日（火）

場 所 豊能町役場議場

出席議員 14名

1番	橋本 謙司	2番	井川 佳子
3番	高橋 充徳	4番	岩城 重義
5番	小寺 正人	6番	山下 忠志
7番	永並 啓	8番	竹谷 勝
9番	福岡 邦彬	10番	秋元美智子
11番	平井 政義	12番	高尾 靖子
13番	西岡 義克	14番	川上 勲

欠席議員 0名

地方自治法第121条の規定により、議会に出席を求めた者は、次のとおりである。

町 長	田中 龍一	総務部長	乾 晃夫
教 育 長	小川 照夫	建設環境部長	川上 和博
生活福祉部長	上林 勲	教 育 次 長	桑田 良彦
上下水道部長	高 秀雄	会 計 管 理 者	上西 悦子
消 防 長	西本 好美		

本会議に職務のため出席した者は、次のとおりである。

議会事務局長	乾 利昭	書 記	杉田 庄司
書 記	高橋 欣也		

議事日程

平成25年3月5日（火）午前9時30分開議

日程第 1 一般質問

開議 午前9時30分

○議長（福岡邦彬君）

皆様、おはようございます。

ただいまの出席議員は14名であります。

定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

日程第1「一般質問」を行います。

順次発言を許します。

質問者は質問者席に登壇して、質問を行ってください。

豊民クラブの一般質問を行います。

持ち時間は、質問及び答弁を合わせて120分とします。

橋本謙司議員を指名いたします。

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

おはようございます。1番・豊民クラブの橋本でございます。

本日の一般質問から議会映像のライブ中継が始まりました。豊能町議会の議会中継最初の質問者ですので、しっかりとスタートを切りたいと思いますので、理事者の皆様におかれましては的確でわかりやすい答弁をよろしくお願いいたします。

それでは本日は、昨日述べられました町政運営方針に絞って質問をさせていただきたいと思います。

まず最初に、町政運営方針の「はじめに」のところで、「本町は人口減少が著しく、昨年度と一昨年度末の人口を比較しますと、実に504人と大幅に減少しており、加えて税収の減少、超少子高齢化の中で、地方分権や広域行政への取り組みを進めるなど大きな転換期にあります。」と述べられていました。確かに人口減少、少子高齢化による税収の減少は大きな課題だと考え

ます。しかし人口減少は昨年度に始まったわけではなくて、平成7年をピークに約16年間で約5,000人の減人口が減少しています。まずこの人口減少をどのような手法で分析をされているかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

皆さんおはようございます。

それでは橋本議員の質問にお答えをさせていただきますと思います。

豊能町につきましては、先ほど議員御指摘のとおり、年々減少しておりまして、各年度の比率でいきますと、平成22年度には378人の減、それから平成23年度は399人、先ほどありましたけれども平成24年度は504人というような状況になっております。これにつきましては統計的に、毎月の住民基本台帳等から人口の増減等については把握しているというような状況でございまして、またそこで、今現在、昨年8月から転出・転入者の方々に窓口でアンケートをお願いしておりまして、今現在1月まででどれぐらいのどのような入居の世帯がどういう原因で入ってこられた、あるいは出ていかれたというのについては一定の分析を今現在しているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

先ほど、転出・転入の、そういう出ていかれた、入ってこられた理由を分析されますということでお答えをいただきました。その中で一つ、住民基本台帳の話がありましたが、例えば今現状でも年齢別の人口というのを把握されていると思いますけども、

そのあたり、例えばどの世代が多く出られどの世代が多く入ってこられというところ、理由とは別にそういう世代別の、世代や年代別のそういう把握、分析評価等はされているのかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

今現在、昨年12月現在で、年齢構成で一番多くおられるのが60歳から65歳ということで、全住民の約12%ぐらいあります。65歳から70歳までの方では、328人ということで10%ぐらい。3番目に多いのが55歳から59歳の7.8%ぐらい。この三つの、55歳から70歳まで、69歳までの方で全体で30%の方がおられるというふうに状況を把握しております。

それと過去5年間、それぞれゼロ歳から4歳あるいは5歳から9歳という5歳刻みの年齢構成がどうなっていたかということについては、一応把握はしております。ただ年齢が順次上がってまいりますので、その時点での統計というのはなかなか難しいございますけれども、そのトータルでの統計をしております、その中では55歳から59歳までの方が一番多く減少していると。また2番目としましては、5歳から9歳までの方が多い。その次には20歳から24歳の方が多いというような状況になっておるところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

今、部長が御説明いただいたとおりだと思います。ただその中で、やはりそういう分析とともに、多分月々もそうですけれども、把握をされてますよね。年齢別の人口とい

うのを把握されてると思いますので、そのあたりでやはりどの世代が減っていつているかということとあわせて、先ほどアンケート調査をされているということでおっしゃっていただいていたけども、そのアンケートの結果等を重ね合わせて、やはりなぜ出ていかれたのか、なぜ入ってきていただいたのかということ、やっぱりしっかり分析をしながら、この町の強み、弱みというものをしっかりと評価をしていくべきではないかというふうに考えてます。なかなかこのアンケートも、書いてくださいと言うて書いていただけるものでもないのかなというふうに感じますけども、こちら、例えば全体、入居、退去された中のアンケートの回答率というのはどれぐらいなのかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

転入世帯が、今まで8月から1月までの方で167世帯、転入者が全部で、回答率としては43%。それから転出者については47%ぐらいの方々のアンケートをいただいている、約大体半分の方がアンケート協力していただいたということでございます。

ちょっと長くなりますけども、その今現在の結果というのについては、まず転入の世帯について、30歳から59歳までの方で、一人で転入されたというのが全体の33%ございます。60歳以上の方で一人または2人で転入されたというのが22%。子どもを持つ世帯の転入が20%。それから29歳以下の一人で転入されたというのが大体14%あるということでございます。その転入のきっかけとなった原因ですけれども、これについては仕事の都合

というのが33%。それから住宅の都合で転入をしたというのが17%。それから結婚とそれから親との同居ということで、それらについてはともに14%というような結果になっています。子育てとか教育の都合によって入られたというのは6%程度というような結果になっております。

豊能町を選ばれた理由というのについては、親と子どもとの同居あるいは自然環境、それから土地と住宅の価格の広さ等という、住宅の環境というようなことから入られたというようなのが大体主な状況でございます。

また転出者については、29歳以下の一人で転出されるという方が34%、それから30歳から59歳までで一人で転出されるというのが26%、それから60歳以上で一人または2人で転出されるというのが大体18%。それから子どもを持っておられる世帯の転出というのは15%ぐらいということでございます。

転出のきっかけとしては、仕事の都合がそれも33%。それから住宅の都合というのが17%。それから結婚と同居というのが14%というような形になっています。

それと豊能町で転出された方で不満だった点というの聞いておまして、これについては交通の便、それから通勤通学の時間、あるいは距離、時間ですね。それから日常の買い物の利便性が悪いというようなことを言うておられます。

それから豊能町で暮らして魅力のあったという点については、自然環境それから治安が非常によいと。それから子育ての環境などが整っているというような状況でございました。

これについてのクロスのアンケートの結果については、一応今のところでは1年間の転入転出者のアンケートをとろうという

ふうにしておまして、それらについては細かくまたできるだけ分析をして、今後の人口増になるような施策に反映してまいりたいというふうに思っているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

ありがとうございます。思ったより細かく分析されているんだなというように思いました。その中で、せっかくこういうようなアンケートをとられてるんですから、これをもって今後の町の強み、弱みというところを分析しながら、その中で強みをどんどん生かしていく。弱みというのはなかなかすぐに改善できるものではないでしょうけども、その中で改善できる、もしくは補助できるようなことがあればぜひともしていただきたいなというふうに思います。

その中で、今後、先ほども申し上げたように、弱みを少しでも改善する、強みを生かす、弱みを強みに変えるというふうな逆転の発想というの今後必要になってくるかなというふうに思いますけども、本町の弱みだとか強みというのはどのように評価分析されているかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

先ほどのアンケートの結果だけを見てまいりますと、強みとしてはやはり自然環境と住宅環境、あるいは治安のよさ、あるいは子育ての環境がよいというようなことだというふうに思いますけれども、やはり弱みにつきましては交通の手段、通勤通学に距離を要するというようなこと。それから日常の買い物の利便性が少ないというようなことが大きな弱点ではないかなというふ

うに思っておりまして、人口増加策を考える上において、弱点をいかに克服していくかということだというふうには思っておりますけれども、なかなか施策的には大きな問題でございますので、すぐにはというふうにはなかなかいきませんが、しかし長期的な展望に立って解決をしていくよう努力してまいりたいというふうに思います。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

まさしく私もそれは同感でして、強みと言うのは住環境、土地が広い、価格が比較的安い、自然環境がよいというようなこと。治安もいいと。それは逆に子どもを育てるという面、また老後をゆっくり過ごすという面ではいいかなと。ただ一方では、先ほどおっしゃったように交通の環境、距離の問題等々、これは逆に通学される世代、また通勤される世代、特に老後になって坂等々が多いこの町でやっぱり住みにくいということもあるかと思えます。ただ先ほど申された弱みの部分については、なかなか即改善というわけには多分いきにくいと思うんですね。ただ、だから、やっぱりそういう意味ではその強みをもっともっとPRしながら、そこをもっと強化していくというようなことをぜひともやっていただきたいなというふうに思いますし、その中で弱点である面については、できるものはできるところからやっていくというようなことでぜひともお願いしたいなというふうに思います。

次の質問に移りますが、四つのスローガンについて掲げられています。

一つ目が、徹底しよう心のこもった住民サービス。二つ目が、積極的に節約意識と

経費の削減。三つ目が、考えよう現状を打破する歳入増加策。四つ目が、実現しようみんなが楽しい効率的な職場環境。というようなことで四つのスローガンを掲げて、職員一丸となって住民の期待と信頼に応えるというふうに述べられています。

この中で四つのスローガンの思想、考え方というのは十分に理解できますし、こういうことなのかなというふうに思いますが、このスローガンを掲げられた後、職員一人一人の行動にどのようにつながっていかれるのかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

答弁いたします。

先ほど申されましたように、まずこのスローガンについてなんですけれども、徹底するということにつきましては、一つはこのスローガン、実は私が示しました方向のスローガンを、まず私だけというよりは職員の皆様にやはり徹底していただくということで、職員の皆様に、この表現については、より親しみやすいということでも考えていただきました。その考えていただいたらスローガンを皆さんに実現していただこうとしているところでございます。

そこで一つそれを周知するためにどういった手段をとっているかといいますと、朝礼のたびにそういったお話をさせていただく、もう一つは全ての職場に、こういったものですが、これを全ての職場に張り出させていただいて、これで張って、これを見ながら仕事をしていただくことによって、よりこの効果を高めていただく、スローガンを意識していただくといったことで、今現在進めているところでございます。こういった形で、今、浸透させようと努力して

いるところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

そういうような張り紙をする、そこは確かにみんなの目に届くところ、職員だけにとどまらず、住民の皆さんにもそういうことをやっていることを知っていただくということは非常に大事なことかなというように思いますけども、例えば企業なんかでは一人一人、その上位方針に基づいて一人一人がどういうことを実践するかということも、やはり立てなければ、なかなか落とし込めないんじゃないかなと、町の上位方針はそういうことでわかったと、みずからが何をするのかということをやはり落とし込んでいく、一人一人の行動実践、実践目標を立てるといふようなところをぜひともやるべきではないかなと思いますし、例えば名札の裏にそういう、みずからの実践目標を書いたものを入れるとか、例えば今、町の場合は個人個人のメールアドレスじゃないからあれかもわかりませんが、企業によってはそういうメールの署名にそういうことを掲げて、必ず自分が目にするようにするとかいふふうなことで、一人一人の意識を高めるというようなことをやられてます。そのあたりについて、やっぱり今、張り紙を次、一歩出して、そういう個人個人の実践目標を掲げるべきだというように思いますけども、そのあたりはどうお考えでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの質疑についてお答えいたします。

まさに議員おっしゃるとおりでございます。これから考えておりますのは、一つは今、職員の提案制度というものがございまして、こういったものを提案をしていただく際に、今言った四つの視点、こういったことを意識していただいて提案をしていただくといったことで、自発的に考えていただく。それともう一つ、まさに今おっしゃっていただいたように、今後は職員の方が仕事をするに当たって目標を掲げるときに、こういった目標についても考慮していただくようなことを考えていきたいと思っております。また、そういった提案の内容、目標等にどれだけ達成できたか、そういったことにつきましても今後は人事評価につなげるといった、そういったことも考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

今おっしゃったように、提案制度にそういうような思想を盛り込んでもらう、そこはぜひともやっていただきたいなと思いうふうに思いますけども、今、人事評価に盛り込むというお話がちらっとありました。その中で、この町としてスローガンを掲げた。当然個人個人これに向かって頑張っていくということは当然やと思うんですけども、この評価ですね、誰がいつするのかというのはもう決めておられますか。お聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

まだ決めている段階ではございませんけれども、一つ考えられるのが、今現在4級

の試験というのがございまして、これではペーパーテストと面接という話なんです、やはり日ごろからの積み重ねということも評価の対象にすべきだと思いますので、こういった今のスローガンに掲げることに對して、どういった目標で取り組んで、どういったことを実現したのかといったことを一つの評価の形という形で盛り込んでいったらどうかというふうに、今考えております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

こういうようなスローガンを掲げるというのは非常に大事ですし、やはりこれを振り返っていくということも必要ではないかなと思います。

その中で自己評価をするということと、例えば他の職場の方に、この実践項目を掲げてやってるけども、今この職場はどうなのかというのを、自分とこの職場で評価する、また同じフロアの違う職場から見てどうかという評価をするとか、あとは当然住民の皆さんから見たときにどうかというふうな、やはり第三者の評価も取り入れながら、この四つのスローガンがみずからの行動、みずからの職場にどのように反映されているかというふうな評価をしながら反省し、さらに高めていくというふうな振り返りをぜひともしていただきたいなというふうに思います。

次に、行政情報の積極的な発信について質問させていただきます。

この町政運営方針の中では、住民の参画と協働のまちづくりの推進に向け、広報「とよの」やホームページにおいて記載内容の充実を図り、行政情報を積極的に発信するとともに、住民目線に立った行政運営

を進めるために住民の意見をより積極的に取り入れるよう努めます、というふうにあります。この中で、ホームページの充実というのは必要だと思うんですけども、やはり更新情報というのが、なかなか日々ホームページを見にいかないといけないというふうな、今現状になってると思います。何度も一般質問の中でも申してはいますが、更新した結果が伝えられるような仕組み、フェイスブックだとか、例えばメールで配信する等々、ぜひとも実践してみてもどうかというふうに考えますが、そのあたりのお考えをお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

フェイスブックとかツイッターといったようなサービスにつきましては、今年度から府内でも市町村の業務あるいは事業の紹介をするための一つの方法ということで、自治体に見られるような状況になってまいりました。ただフェイスブック、ツイッターというサービスにつきましては、ホームページよりも気軽に生の情報を発信できる手段としては非常に有効なものであるというふうに考えておりますけれども、日ごろから使いなれている方ですね、そういう方には情報の手段としての現実性、現実性といえますか、そういった利用には非常に便利だろうというふうに思いますけれども、なかなかそういう発信ができない人等については不利といえますか、同じ情報を流してもそういうようなことになる可能性もあるというようなこともございまして、町としましては、今後これについては新しい情報の発信のものだというふうに思っています、府下の市町村でもどんどんと利用されてくるのではないかとことも思ってお

りますので、よその状況等を、どういうメリット・デメリットあるいは職員の研修、同じような情報発信をそれぞれの職員がやっていたらかなければなりませんので、そういったような研修等も含めてちょっと研究はさせていただきたいというふうに思っているところがございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

この質問については、先般の12月議会でもさせていただきました。その中でも他市町村の状況、コストを確認すると、それで検討したいというようなことを答弁いただきましたけども、やはり今、部長おっしゃっていただきましたように、他市町村の研究をする、それも大事やと思うんですね。当然メリットもあるしデメリットもあるということも聞いています。ただその中で、やはり生の情報を発信するにはいいツールだということを今さっきおっしゃっていただきましたけれども、まさにそうだと思うんですね。例えばイベントの情報、例えば新しい施策の情報等々についてはそういうようなことで、今例えばフェイスブックにありますと、「いいね！」というボタンがあって、その発信した情報の評価を受けられたりとか、またそれに対するコメントが書かれたりということが出来ます。現に今、佐賀県の武雄市なんかでは、もうホームページ全体をフェイスブックに連動させてやっている。しかも、武雄市つながる部フェイスブック・シティ課というのも設けて、フェイスブック係ということをつくって、ホームページの管理をされているというような取り組みもされています。やっぱり先進的などこではそういうことをやってもらえるんですね。多分ここもトップの考え一

つでそんなに難しくない、しかも費用的にはかからない。ただやっぱりそういうような情報的なセキュリティの問題、リスクというのは若干、どういうふうに防ぐかということは考えていかなあかんと思いますけども、このあたりは取り組むにはできれば早く取り組むほうが、もう各市町村でもやってきてます。そういうようなこともぜひとも考えていただきたいなというふうに思いますけども、再度お答え願います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

大阪府内で熊取町も11月から施行されているということで、この4月から本格稼働をやりたいというふうに言われておりまして、経費あるいはそういう維持管理経費、導入経費等について聞いてみましたら、特に大きな経費として要る必要はないというようなことを言われております。ただ、個人と異なりまして自治体として発信する場合、職員個人の考え方が町の考え方として捉えられやすくなって、無用の混乱とか誤解を生むおそれがあるということもありまして、表現方法とかそういったことに十分配慮しなければ、職員全体が同じ感覚で日々情報発信していく、日々情報発信していくことについては、それはまた時間がとられるということないですけども、それに対する時間ですね、そういったようなことでもございますので、十分ちょっと研究して、できるだけ早くそういうようなものが入れていけるようなことにしていきたいというふうには思っております。

よろしく申し上げます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

今おっしゃったように、確かにリスク的にはそういうような無用な混乱とか、個人の意志が行政の意思として伝わってしまう恐ろしさ、確かにあります。これは確かにこういうようなインターネットの社会が広がれば広がるほど、こういうような情報の管理だとか、その発信の重みというのはしっかりと持っていかなあかんというのは事実ですけども、そのあたりもしっかり、どういうふうにその情報を生かすか、伝えるかということをしっかり議論しながら、ぜひともこういうようなものも加えながら、より積極的な情報発信をいただきたいというふうに思いますので、よろしくお願ひします。

次に、イメージキャラクターの創作について質問させていただきます。

町政運営方針の中に、町のさまざまな魅力や特性を町の内外に効果的・積極的に発信し、豊能町を活性化させるセールスツールとしてイメージキャラクターを創設します、と述べられています。

まずこのキャラクターをどのように活用しようとお考えなのかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

イメージキャラクターにつきましては、町を活性化させるセールスツールというように、町とかそれから観光協会あるいは商工会等の関係団体の各種のイベント、あるいは大阪府等で行われます名産品のPRとか、それからまちおこしの行事などについて、PRの機会のたびにそれを活用していきたいというふうに思っております。

それとイメージキャラクターを選定するに当たりましては、最終的には住民投票等

もやっていただいて、町民全部を盛り上げて、そういうキャラクターの選定ということに取り組んでまいりたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

今おっしゃっていただいた各種イベント、まちおこしのイベント、府のイベントというふうにあります。これ僕もびっくりしたんですけども、ガンバ大阪の試合を見にいったときに、実はお隣の箕面の「ゆずるくん」が来てました。ガンバの「ガンバボーイ」と一緒に入場したりとかいうようなこともやってました。やっぱりそういうようなことで、町の中でやるのも当然大事。それで町民にそういう認識を高めてもらうというのも一つ大事ですし、やっぱりそれは町外にもそういうようなことで打って出るということもぜひしていただきたいというふうに思います。

参考に、今、これは県なので全然規模が違いますけども、あのゆるキャラの「くまもん」なんかは、もともと九州新幹線の関係もありますけども、九州でPRするんじゃないくて、大阪に来て通天閣、万博、いろいろなところ、大阪のあらゆる場所を回りながら、逆に九州に来てくださいねというようにPRをしたということで、今はもう300億円近くの実際の商売の売上げがあつて、熊本全体でいくと1,000億円近くの経済効果があるのではないかというふうに言われてますけども、やはりそこまではなかなか町のレベルでは難しいと思うんですけども、どのようにそれを伝えていくか、どういう場に出ていくかということもよく考えながらやっていただきたいというふうに思います。

その中で、これ、一番勘違いしたらあかんのが、キャラクターをつくるのが別に目的ではなくて、これを機につなげて次の展開に広げていくということが非常に重要だと思うんですけども、そのあたりのお考えはどうなのかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

つくることだけじゃなくて、キャラクターを活用して町の活性化につながるようなものに生かしていきたいというふうには思っております。

先ほども「くまもん」の話もございましたが、この休みの日曜日には大阪へ来てたというような、テレビで報道もあって、非常に人気が高いと。この間からもテレビ見ますと、キャラクターの、どのキャラクターが人気かというようなやつで、800ぐらいのキャラクターが参加して、大阪府内のものが、大阪府の都市緑化でしたですかね、のキャラクターが一番人気がなかったと、以前に。ところが人気がなかったということがかえってテレビで放映されて、今は物すごく人気を盛り返しているというようなこともございますので、そういうキャラクターのコンテストとか、そういったようなものにも出ていきたいというふうに思っているところでございます。できるだけ町外等にも出て行って、豊能町のPRに努めていきたいというふうに思っているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

ぜひ、これいろいろなこういうキャラクターつくったときによくやられてるのは、そういう名産とタイアップさせたりとか、

観光地とタイアップさせたりということをよくやられてます。例えばそういうようなことも含めて、地元のそういうやられている生産者の方、御商売されている方、観光協会の方等々、やはりそのあたりを一緒になって、まちづくりの一環としてぜひとも考えながらやっていただきたいなというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

済みません、ちょっと時間の関係上あれなんですけども、最後になると思いますが、教育問題について御質問したいなと思います。

この町政運営方針の中に、教育向上などを狙いとした研修を教職員の人事権移譲に伴い、豊能地区3市2町で協力連携して、学校教育の充実に努めます、とあります。この中で当然教職員の研修というのは非常に重要だと思うんですけども、一方で学校内での教職員のサポート体制というのはどのようになっているのかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

桑田教育次長。

○教育次長（桑田良彦君）

お答えいたします。

学校内での教職員のサポート体制でございますが、まず教育委員会の支援といたしまして、人的支援でございますが、4点ございます。小学校1・2年生の35人学級編制のための加配、これは府教委に教員をいただいております。少人数指導、工夫改善のための加配、これも府教委から人をいただいております。それと生徒指導のための加配、子ども支援コーディネーターということで、今現在、吉川中学校に一人でございます。あとスクールカウンセラー、各中学校に一人でございます。それとスクールソーシャルワーカー、これは府より年間10回の派遣をいただい

ております。あと家庭教育支援員、これは週3日程度学校へ行ってもらっております。

それともう1点、研修の支援といたしまして、各学校に学校独自で研修をしていただくように費用の配当をしております。各学校5万円でございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

今おっしゃっていただいたさまざまなサポートというのがあるということは十分認識はしています。その中で少子化の影響で、やっぱり教員そのものも減ってきて、一人の先生にかかる負担が大きくなっているということも、各さまざまな報道もされたりしています。

そんな中で、これは悪いのかどうかわかりませんが、どうしても先生の個人攻撃になっちゃって、あの先生はよくないんだよみたいなことが、保護者なり学校の中でもそういうようなことがあるということを聞いたことがちらちらとあります。やっぱりそういうようなことで、先生のできふできをどうこうするんじゃないくて、やっぱりそれはそれで、どういうところがだめなのかということ、例えば教頭先生なり校長先生が入りながら評価し、逆にそれをサポートし、助言してあげるといのは、やっぱりそういう体制もぜひともつくっていただきたいなど。今はどちらかというところ、そういう側面的な支援のことをおっしゃっていただきましたけども、やっぱり学校の中の教職員同士の助け合いというようなこともぜひともやっていただくようお願いしたいなというふうに思います。

次に、学校での体罰の問題ですけども、先般2月22日付で、大阪府からの要請によりということで文言書かれてましたけど

も、アンケートをとられたというふう聞いてます。その結果はどのようなものだったかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

小川教育長。

○教育長（小川照夫君）

お答えいたします。

この体罰問題については、昨年12月23日に市立桜宮高校を発端として、文部科学省が各都道府県を通じて調査をしているところでございまして、本町におきましては2月の校長会で私のほうから依頼をし、その結果、2件体罰ではないかという事象が出てきております。現在は保護者の皆さんに対してアンケート調査をしております、保護者との間にその件数にそごがないかどうか等も含めて、3月末までにまとめる予定でございます。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

今おっしゃっていただいたとおりアンケートをしていただきました。ちょっと2件あったというのは若干ショックやなというふうに思ってるんですけども、私、率直にこれアンケートを見たときに思ったのが2点あって、あれは書き方の問題かもわかりませんが、先ほどもおっしゃっていただいたように、桜宮高校での体罰が12月末にあり、マスコミでは大体1月ごろにはそういうようなことがどんどん出てきたというふうな中で、やはりそれを受けての2月22日のアンケートをとっているのは僕は遅いんじゃないかなと。それは別に大阪府の要請を受けなくても、そういうことがないかというのは町としてやるべきではなかったかなというふう感じた点が1点。

あともう1点は、アンケートの内容が、

体罰を受けたことがありませんかのもの
だけであって、はい・いいえ。あった場合
はその具体的なものを書いてくださいとい
うことはあったんですけども、本来はやっ
ぱりそれにプラスして、例えば見たことが
ないかとかいうようなこともあってもよか
ったんじゃないかなというように率直には
感じました。実際、例えば桜宮のアンケー
トなんかでも、あったかどうか、見たかど
うかということもされてます。やっぱりそ
れを生徒ないしは教員にもするということ
が僕はあるべきじゃなかったかなというふ
うに考えますけども、そのあたりについて
お聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

小川教育長。

○教育長（小川照夫君）

お答えいたします。

保護者に対するアンケートについてはい
ろいろと内部で検討いたしました。要する
に、どういう設問の仕方についても考えた
んですが、実は私は豊能町は率先してやっ
たと思っています。他の市町村はやってい
ません。私はやっぱり徹底してやるべきだ
という判断のもとにやりましたので、私は
きちんとした結果が出てくるというふうに
考えております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

今おっしゃっていただいたように、豊能
町は率先してやったと。それは教育界の中
では、僕は普通じゃなくて、早かったかも
わからへん。ただ一般のあれで考えると、
こういうことがあって、子どもたちが本当
にそういう状況下にないかというのは、当
然早い段階でやるべきだし、もっと濃くや
るべき。ただやることによって違う弊害が

出たりということもあるのもわかります。
ただやはりそういうようなことは、もっと
もっと早くやるべきではなかったかなとい
うふうに感じています。

最後に1点だけ。この件についてはアン
ケートですけども、教職員にもとられてい
るんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

小川教育長。

○教育長（小川照夫君）

お答えいたします。

まず第一義的にやりましたのは、校長を
通じて各教職員に聞き取り調査をいたしま
した。その際に、体罰と思われる方は必ず
報告してくださいということを書いてます
し、その後に保護者からもとりますので、
そこにそごがないようにということも周知
徹底いたしましたので、私はこの2件とい
うのはまさしく間違いのない数字だと確信
しております。

○議長（福岡邦彬君）

橋本謙司議員。

○1番（橋本謙司君）

今の2件あったことについては非常に残
念ですけれども、やはりこういうようなこ
とをしっかりと徹底して、別に個人攻撃す
るわけではなくて、これがなぜ起こったの
か、その改善も含めてしっかりやってい
ただくようお願いをしておきます。

多々まだあったんですけども、ちょっと
きょうは時間の関係上これで終わらせてい
ただきます。

以上です。ありがとうございました。

○議長（福岡邦彬君）

次に、井川佳子議員を指名いたします。

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

豊民クラブ、井川佳子、質問させていた

だきます。

理事者側にとられましては、親切丁寧にわかりやすくお答えいただきますように、よろしく願いいたします。

では、通告書に従いましてと言いたいところですが、ちょっと時間の関係上、最後までいけないかもしれませんし、ちょっと順番を入れかえたりすることもありますけど、申しわけありませんが御了承ください。

では一番最初に、財政再建計画25項目の扱いについてお聞きしたいと思います。

財政再建計画25項目というのは、前池田町長が打って出られた政策の一つでございます。2012年4月、広報「とよの」に、「財政再建計画の進捗状況をお知らせします」と特集が広報で組まれておりまして、その中で「安定した財政運営を目指して」とされまして、「豊能町では平成22年3月に財政再建計画を策定し、平成22年度から平成26年度までの5年間で20億円以上の収支改善を目標とした改革に取り組んでいます」というのが、まずの大きな狙いでした。そこの中で取り組み状況が説明される中で、平成24年4月時点の収支改善見込み額は5年間で20億6,700万円となっています。これは昨年4月の見込み額18億8,000万円を上回る額として「このまま各項目を進めることができれば、当初の目標である20億円以上の収支改善を達成できる見込みです」と広報されてるんですね。ここの中に25項目というのを上げられておりまして、この時点でも当初計画平成22年3月とそれから進捗状況平成24年4月現在という結果報告とか、2段に分かれまして報告されております。

ここの中でまずお聞きしたいのが、エスカレーター問題でございます。エスカレーターなんですけれども、12月のときにも

聞かせていただきました。光風台駅前エスカレーターというところで、まず当初計画では平成22年3月なんですけれども、設備の更新を見送り、毎年度修繕費を計上。平成26年の末までに廃止と打って出たんですが、その後の皆さんの状況とか検討委員会も立ち上げられまして、平成24年4月現在の進捗状況のところでは御報告されてるのは、設備の更新を見送り、必要の都度修繕を行うと。それから部品供給とフルメンテナンスが可能な限り運転を継続しますというふうに進捗状況が掲げられているんですね。

それで、皆さん御存じのとおり、9月改選が行われまして、田中新町長がお生まれになったわけなんですけれども、まず12月議会の一般質問で私もさせていただきました、このエスカレーター問題。これはこの選挙の大きな目玉になったのではないかと私も認識しておりまして、今までのフルメンテナンス可能な限り運転するというのを改めまして、田中町長は、任期中に積極的に更新されるとお約束なさったと私は思っているんですね。そのときに、できれば補助金を使ってされたい。じゃあ補助金がなかったらどうするんですかという私の質問に対して、なくても更新するとおっしゃいましたし、また維持費についても、前町長は皆さんの自治会で、新光風台と光風台の方に分配して維持費を払っていただくというようなことをおっしゃるようなことを検討会議とかに出してはいらっしゃいましたけれども、そのことについても前回の質問では、私の質問では、町長は広告費等を使いながら維持費も町で負担したいとおっしゃっていたと私は認識しております。

まず第1問目なんですけれども、この認識は正しいのでしょうか。お答えください。
○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの井川議員の御質問にお答えいたします。

認識といたしましては正しいです。要は補助金、今、交付金があるうちにやっつけてしまいたいというふうに思っております。

次に、維持費についてなんですけれども、こちらについてもできる限りやっつけていきたい。ただ、やっぱり住民との協働ということも進めていくということもありますので、そのあたりにつきましては検討委員会の中でも住民の方もある程度考えていくというふうなこともございましたので、そういったことは今後お話を進めていけたらどうかと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

維持費についてはちょっと残念な結果というか、この間言ってらしたとちょっと違うなと思ったんですけど、でも私ちょっと違うことを聞きたいので。

2013年2月14日の全員協議会で、平成25年度の当初予算案というのを概要説明、私たち議員は受けました。その中で、光風台エスカレーター更新基本設計事業140万円というのが目につきまして、これで初めの第一歩を踏み出そうとされているんだとは認識できたんですけども、残念ながら私たち、この25項目の扱いについて、まだちゃんと説明を受けてないというような感があります。それで今回質問させていただいたんですけども、まず最初に、先ほど交付金があるうちにとおっしゃいましたけど、どのような補助制度があって、どう使われようとされているのか質

問いたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの井川議員の質問についてお答えいたします。

交付金につきましては、社会資本整備交付金ということで、そういったことを、社会資本整備交付金、これを充てるような形で、今、調整をしているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

補足ありますか。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

補足させていただきます。社会資本整備総合交付金という交付金、道路財源を原資としているものでございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

では、この今おっしゃった交付金なんですけれども、こちらは何年ぐらい、多分制度があって、例えば造林事業なんかでも5カ年計画とかいろいろあると思うんです。それは何年になっているんでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

今の現行制度の中で、社会資本整備総合交付金制度というのがありますので、何年というものはございませんが、基本的に社会資本整備計画という計画に搭載された事業が社会資本整備総合交付金の対象事業になるということでして、その社会資本整備総合計画、社会資本整備計画ですね。計画

は都道府県の計画に搭載していただくというふうに、今現在は考えております。その計画は、大阪府では平成25年度でとりあえず一旦終わり、平成26年度以降また新たに計画を策定される予定というふうに私どもは考えておりますので、その大阪府の計画に搭載していただいて、その豊能町の進めるエスカレーターの更新について社会資本整備総合交付金の対象事業として進めていきたいというふうに考えているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

12月のときにもお聞きしまして、平成25年で一旦終わりますという感じでした。平成26年度以降につきましては、政権の交代もあるかどうか、そのときにはわからなかったのでお答えしかねますということでしたけれども、今その見通しはどのように持ってらっしゃるんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

次の計画に搭載していただけるというふうにこちらでは考えております。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

搭載されるということで、この平成25年度の予算を立てられたということだと思わんですけれども、では、これは更新基本設計事業140万円というふうになってますけれども、まずこれで搭載していただいて、その後の計画はどのような展望、それからなっているのかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

来年度当初予算に計上しておりますのは基本設計といいまして、基礎の部分とか屋根の部分、それから全体的な概算費用等々を考えております。さらに平成26年度に実施設計並びに事業費を計上させていただき、実際事業は平成26年、平成27年度で事業ができればというスケジュールを今のところ考えておるところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

よくわかりました。平成26年度、平成27年度に事業を完了しようと、今、粛々と進めてらっしゃるということで。では、25項目の1個目はクリアしたわけで、次いきます。

ユーベルホールについてでございます。こちらの先ほどの広報では、平成22年度は自主事業削減、それから平成23年3月末には休止、舞台装置等の改修は見送りというふうな、最初当初計画でございましたが、この平成24年4月現在では、22年度は実施事業削減、平成23年度は全体の運営経費を圧縮するとともに自主事業を連携協力事業に再編して存続、平成24年度以降は運営方法を毎年検証するというふうに、平成24年4月現在では進捗状況をそうたわれております。ユーベルホールにつきましては教育委員会様のほうでさまざまな事業を打って出られまして、運営費をすごく削減されたと思うのです。オオサカンとかの提携とか、また、まちの音楽家たちのロビーコンサートでありますとか、さまざまな取り組みによりまして運営費、事業費というのはすごく削減されていると私は評価させていただいているところですが、

それでは新町長、これは池田町長の考えでした。新町長のユーベルホールに対しての考えをお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの御質問についてお答えいたします。

財政再建計画ではユーベルホールの運営について、平成24年度以降は運営方法を毎年検証するとされています。ユーベルホールでは平成23年度より大幅な経費の削減を行い、自主事業を連携協力事業に再編して運営してきたところです。

平成25年度においては、ユーベルホールは継続して運営してまいります。具体的には、ユーベルホールの施設機能を今後も維持していくために、設備面の大規模改修を今後3カ年にわたって行っていきたくと考えております。また事業の面では、これまでの連携協力事業を一層の充実を図りつつ、主催事業もふやして、豊能町の文化の拠点となることを目指してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

済みません。毎年考えると今おっしゃいませんでしたか。大規模な計画を立てて、大規模改修を3カ年にわたって設備を更新されていこうとされながら、ちょっとその辺がわからない。何で毎年検証するのに3カ年の計画立てるんですかね。済みません。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

少し言葉足らずでございまして、要は毎年やはり検証をしていくということは大事だと思っておりますので、より使っていただくためにどういった工夫が必要かとか、そういったことはやはり検証といいますか、より使っていただくことをますます進めていくというか、そのチェックというのはやはり必要だと思っております。ただ、改修するということで一定方向使っていくことについては、それはやっていくことになりすけれども、ただ、使用するからといって何も検証しないというのは、それは一つでおかしいと思っておりますので、それは毎年、よりよいことをよりよく検証していくというようなことはあり、検証するというよりは毎年、より使っていただくためにはどうしていくのかということは考えていくべきだとは思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

田中町長に申し上げます。財政再建計画25項目の扱いについての質問ですので、そういうこととは違って、曲解して質問に答えておられますので、再度お答え願えますか。財政再建の25項目の扱いの中でおっしゃっているんですから、その点についてお答え願えますか。

○町長（田中龍一君）

財政再建25項目ということにつきましては、平成26年までに廃止するということはございません。ですから私が考えておりますのは、このまま続けていくというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

済みません。毎年検証するといいますと、

それを聞くと1年更新の雇用体制のような感じがするんです。1年ごと、来年はするが、来年はするかと考えるのではなく、3年間の計画を立てたということは、もう1年ごとの検証をするというのはやめて、3年間計画を立てて大々的にユーベルホールを文化事業として担っていきますよという御覚悟のもとに3年計画を立てられるんじゃないですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

当然改修いたしますので、それでユーベルホールはやってまいりますというふうに考えてます。ただきっちりと、やはりさらに使用率を高めていただくということは、毎年見ていってチェックしながら、やはり進めていくというのは事業運営ですので、するからといって何も見ないというのは私はおかしいと思っておりますので、いいところはまだ伸ばしていく、悪いところは改善していきながら進めていってはいいかというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

済みません。毎年検証するというのは、もちろん大切です。でもそういう意味ではなくて、この財政再建25項目に上げられて、1年ごとの更新をどうするかと考えるという意味のことでありまして、町長がおっしゃってるのは多分利用状況でありますとか、そういうことを検証するというふうに思っちゃいますよね。違うんです、私が聞いているのは、財政再建25項目の中で毎年検証するのはやめるのか、3

年間計画されて大々的にしようとされてるんですから、そこのお答えを私は引き出したいわけなんです。済みません、よろしくお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

それにつきましては実施してまいります。ですので、先ほどおっしゃっていただいたように、検証するというのはより使う利用率を高めるという意味での話でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

1年ごとの評価と1年ごとの検証とはまた違うと思うので、そこは今実施するとおっしゃいました。だから1年ごと検証するのではなく、財政再建25項目から外して取り組んでいくという意味ですね。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

今おっしゃっていただいたとおり、外していくということでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

教育委員会、今の答え合っているかどうかについて検証をお願いします。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

違います。では元へ戻します。

井川佳子議員、再度御質問をお願いいたします。続けてお願いします。

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

皆さんの思いが通じまして、文化ホール、ユーベルホールはこれから3年間の計画で修正なさりながら進めていかれるということをしっかりお聞きしましたので、25項目からこれは外すという結果ということでございますね。

ではもう一つだけお聞きします。ユーベルホールについて、町長はこのユーベルホールをもとにどのように豊能町の魅力を打って出ようとされているのか、一つだけ、これからの展望についてお聞かせいただきたく思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの井川議員の質問にお答えいたします。

やはりこの町は非常に住民活動が盛んな町でございます。御存じのように、西公民館、中央公民館では350を超えるいろいろな活動をされております。ほかのところでもいろいろな活動をされていると。例えばこういった住民の活動が盛んというのは、先ほど橋本議員の話もありましたように、この町の強みだと私は考えております。この強みを伸ばすために、このユーベルホールで、例えばこういった活動を皆さん報告していただいて、そこでまた新たな住民の方がそれを見ていただいて、また参加していくというような形で、よりこの豊能町が活性化していくような、そういった使い方ができないかというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

ありがとうございます。住民の皆さんは日々、西公民館、公民館でサークル活動を行っておりまして、その発表の場としてユーベルホールをお使いになるというお答えでした。

では、済みません、教育委員会さんのお考えもお聞きしたいと思うので、よろしくお願いたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

小川教育長。

○教育長（小川照夫君）

お答えいたします。

まずユーベルホールにつきましては、財政再建25項目の一つとして、前町長との間では、平成5年に開設して間もなく20年を迎えるわけですが、機械等に大分故障が発生しておりまして、これを直すには相当な予算が必要だということで、それはなかなか難しいだろうということで、計画としては約1億8,000万円、それをやめることによって効果が出るという、そういう予定を立てていました。一方で運営に当たっては、自主事業から連携協力事業に切りかえることによって運営費も節約をします。これについては毎年度検証していきましよう。機械については使えるまで使おうと、こういうことできたわけではありますが、今回の新町長との間において、その運営についてはやはり毎年毎年、よりいいものを目指するために評価はしていきましよう。ただ、このままの状態では毎年検証するという項目が残りますので、その文言は削除したいというふうに、私と町長との間ではそういうふうになっております。その上で施設については、続けていく上ではやはり機械の整備をしないと維持管理もできませんので、それは最初に1億8,000万円のうちに盛り込んだ1億2,800万円、これを

一気にやることはできないので、3年計画でやりましょうということで、来年度予算に4,000万円を計上したと、こういうことでございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

その経過もすごくよくわかりました。ぜひそのように進めていていただきたいと思えます。

では次の質問に移らせていただきます。

まだ財政再建25項目の扱いの中なんですけれども、ごみ収集の有料化について、前町長は、可燃・不燃ごみは早期に有料化とのお考えでしたが、田中町長の考えをお聞きしたいと思います。実は田中町長の考えをお聞きしたいと思えます。実は田中町長と私が初めてお話ししたのは、たしかごみ問題のときだったと思うんですね。ぜひ私の答えにいただきたい答えに答えていただきたいと思えます。よろしくお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

議員の皆様御存じのとおり、ごみにつきましては、平成22年第6回定例会での御審議の結果、可燃ごみ・不燃ごみの有料化については否決されているということで、今現在、大型ごみのみが有料化になっているという経過でございます。こちらにつきましても、またことし、来年とごみの減量化計画策定というのがございますので、こういった計画を見据えながら考えていきたいと思っております。ですので、まずは、もともとごみの有料化というのはごみを減量化するということから始まったものだと私は考えております。ですので、まずごみ

の減量化の中でいかにしてごみを減らすのか。また住民の皆様にもいかにして御協力いただくのかと、そういったことをまず決めていって、それから考えていきたいと思っておりますので、今、ごみの減量化計画を策定中には、ごみの値上げということは私は今は考えておりません。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

そうです。有料化がありきではなく、ごみの減量化がもとになっていることはよく承知しております。ごみ減量化計画をまず立てて、それから考えるということなんですけれども、じゃあ済みません、しつこいですが、その25項目の扱いとしては外すという意味なんですか。それとも継続ということなんでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

25項目の中では外すというか、そこに項目は残りますけれども、ごみの有料化については平成26年までには私は考えておりませんので、ちょっと表現はどうするかはまたこれから考えますけれども、趣旨としてはそういったことでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

済みません。では次、いかせていただきます。

農村婦人の家についてですが、こちらは議案撤回とかいう形のものもありました。地元への移管の方針で進めていかれるおつ

もりなののでしょうか。そのとき私お聞きしたんですけれども、まず前町長がお考えになってきたことを全て引き継がれるということはない、それはそれを引き継いでいかないといけないということはないと思います。よいところは引き継ぎ、町長のお考えで、新町長のお考えで変えられるところは変えられる、そういうことを期待して住民の皆さんは投票なさったと思うんですね。ですからこのことも全部引き継いでいかれる必要はないと思うんです。それで私、議案撤回のときもお話しさせていただきましたけれども、まずその町長の方針を固めていただきたいと思いますと思うのです。農村婦人の家とは、ここで「かあちゃん漬」でありますとか、それから「かあちゃん味噌」でありますとか、大阪府の指導のもとで農村の婦人の方々がそのブランドをつくられて、大阪府で表彰されるというような名誉なことにもなっております。この加工品のブランドを高めるために、例えば、ちょっと飛びますけど、お隣の箕面市では、ゆず製品の販売促進のため、あるいは箕面の滝の観光をPRすべく、先ほどにも橋本議員の質問にもありましたように、フェイスブックに「たきのみちゆずる」君というゆるキャラを使っております。滝ノ道とゆずるをかけて「たきのみちゆずる」君になってるんですね。それを登場させて、そしてフェイスブックで本当に自由にやりとりできるんです。私、あけましておめでとうとゆずる君に送ったら、すぐ返ってきました。おめでとうとございますと、ことしもよろしくお願ひしますと。これはもう簡単な会話です。先ほど乾総務部長が心配なさってたように、個人の考えがひとり歩きしてしまうというところもありますが、でもおめでとうと言ったらすぐ、おめでとうとございます。ことしもよろしくねっていうふうに戻ってくる、

この近しさが、すごくうれしいんですね。今ゆるキャラを考えようと、イメージキャラクター創作事業345万7,000円を上げてらっしゃいますけれども、そういうふうにご利用していただきたいと思うのです。まずこのブランドですね。婦人の家で作ってらっしゃる加工品のブランド力を高めるおつもりがあるのか。このゆるキャラを使ってぜひ進めていただきたいと私は思うんですけど、いかがでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの質問についてお答えします。

ブランド力を高めるという意味では、一つの有効な手法だと思いますので、例えばゆるキャラ、今回どういった形のものができかわかりませんが、そういったことも活用していくということは一つの方法かとは思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

まずゆるキャラを募集するときに、私は何を売りたいです、何を売るためのゆるキャラですというのがあれば、考えられる方もそれに即してそんなアイデアが出てくると思うんです。ただ豊能町を漠然とつかまえるのではなく、何を売りたいかというのがあると思うんですけれども、町長は何を売りたいですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

このゆるキャラにつきましては、やはり

住民の方、皆様の、どういったものかというのかということを選んで、その中から決めていくということが趣旨ですので、私がどうかというよりは、やはり皆様の御意見を伺って、その中でこの豊能町には最もふさわしいというものを探すということがいいのではないかと考えています。ですので、このゆるキャラがあくまでも加工品のためだけのものではないと私は思っております。ですので、これにつきましてはまさに豊能町の住民の方にいろいろなこと、いろいろな提案、いろいろな考えを出していただいて、その中で決めさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

ばくっとした中で、それはいろいろな魅力がありますから、各個人の皆様が、ここが売りというところをアピールされてくるんではありましょうけど、それだったらもう收拾がつかないように思うんですね。私はむしろ、加工品だけのためにという意味じゃありませんけれども、やはり、例えば教育が売りなんですとか、緑を前に出したいんですとか、例えばイノシシが出るということも御存じないかもしれませんので、こちらからイノシシが出るんですよとか、そういう情報提供が必要なんじゃないかなと私は思うんですけれども、いかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

今の点につきましてはずっと同じ回答になってしまうんですけれども、やはりそれぞれこのゆるキャラを求めることについて、

住民の方、どういったものかということをお考えいただいて、それをもとにこちらでまた考えさせていただきたいと思っております。ですので、あくまでも行政からこうやりなさい、ああやりなさいという押しつけではなくて、豊能町にとってどういったものかということをご皆さんに御提案いただいて、そういった形で出させていただいたもので最もよいものを選ばせていただくというふうを考えております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員に申し上げますが、ゆるキャラについてはまた別の機会の委員会がありますので、農村婦人の家に限って御質問願うようお願いいたします。

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

最初の質問に戻ります。済みません。農村婦人の家は存続させていくおつもりなのかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

ちょっと存続ということで、ごめんなさい、僕意味がよくわかってないんですけども、今回その条例廃止をさせていただいて、切畑の自治会のほうで運営していただくというふうに理解しております。そういう意味では存続になるかと思っておりますけれども、来年度ですね、済みません。

（発言する者あり）

○町長（田中龍一君）

これからの展望、要は今、申しましたように、今回条例を上げておりますので、そういった形で進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

条例改正が上げられているのでということです。それはわかっています。63万1,000円なんです、計算したら、実質の運営費が。それが払えないのかなと思うんですけど、いかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

要は、今回、吉川の自治会館等もまた自主運営とかやっていますと同じように、やはり自主的にやっていただけたところにつきましては自主的にやっていただくという方向で考えております。ですから金額の問題ではないかとは思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

済みません。金額の問題ではないとおっしゃいましたが、財政再建というのが金額の問題だと思うんですけども、その辺のちょっとすれ違いがあるのかなと思うんですけど、ぜひとも、もうちょっと考える時間があるかもしれませんので、考えていただきたいと思います。

では、それはそれとして、職員給与について、財政再建のところ5%を削減されています。そして実施済みというふうに進捗状況では書かれています。この5%削減というのは町独自でされている財政のことです。それに人事院勧告でさらに退職金が下げられました。またさらなる人事院勧告があれば、給与削減というふうな方向に打ち

出されていくのかなと思うんですけども、この退職金で17%、380万円が下げられることが決定いたしました。私思うんですけども、この5%削減というのは町独自の案ですよ。ですからこちらは町長の方針によって変えられると私は思うんです。私は職員の働く環境を守るのも町長の一つのお仕事だと思います。町長いかがでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの議員の質問についてお答えいたします。

職員の給与につきましては、先ほど申しただいたように、平成22年4月から5年間、5%の削減を豊能町独自で行っております。また、ことしの1月からは退職金の支給水準を下げ、また高齢層の職員の昇給停止についても実施してきたところでございます。一方国からは、地方公務員の給与については、国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律に基づく国家公務員の給与削減支給措置を踏まえ、各地方公共団体において速やかに国に準じた措置を講ずるように要請されているところでございます。

今後はこうした国の要請の取り扱いについても検討していくこととなりますけれども、町職員の給与水準については、平成24年4月のラスパイレス指数が99.6となり、既に給与削減後の国家公務員の給与水準を下回っていることから、国に準じた措置を講ずることについては、町のこれまでの給与の削減状況や国の給与削減措置の内容等を踏まえながら検討していきたいと考えているところでございます。

ただ、給与が削減されている中、さらに

給与を削減するという事は、職員の士気をより低下させることにもなりかねません。ただ、給与削減に関する国の要請については、こういった先ほどのような士気を低下させるようなことも考えられますので、これにつきましては慎重に検討していきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

2013年2月9日、朝日新聞のところに、40市町の給与、国水準上回るという書き出しで上がっております。ラスパイレス指数というのは国家公務員を100としたしまして、豊能町は99.6、要するに国家公務員の給料よりも豊能町の職員の皆様の給料は低く設定されてますよという、大阪府では下から3番目の数字に上がっております。これはすごく厳しい国の体制で、これを越えたものについては、交付金、地方交付税を削減する方針を決めているというようかなり厳しいラスパイレス指数のそういう取り扱いについては、ここにも報道されているように、ペナルティというか、そういうのもついてくるんだなと思っております。

もう一度聞きます。私の時間、あと1分26秒なので、一番聞きたいことなんですけど、とにかく人事院勧告から言われている数字というのは動かしがたいんだなと理解します。それは職員の皆さんには大変申しわけないですけど、それは飲んでいただかないといけません。さっき言いました、私、町独自で進められている5%、こちらを考え直すおつもりはないのでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

こちらにつきましては、先ほど申しましたように、国のほうからも給与の削減ということも出てきております。現に、ただ、今、削減した5%以下で、今、ラスパイレス指数が99.6と、100を切ってるということもございますので、そういったこともいろいろ総合的に勘案しながら、今後検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

田中町長、5%を撤回するかどうかについての質問ですので、その辺明確にお答え願えますか。

○町長（田中龍一君）

撤回するかについては、今後さまざまな状況も考えながら検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

ぜひとも職員の皆さんの働く環境を守っていただきたいと思っております。5%については変えられるのですから、変えていただきたいと思っております。

では私の質問は終わらせていただきます。

○議長（福岡邦彬君）

この際、暫時休憩いたします。

再開は、午前11時5分といたします。

（午前10時52分 休憩）

（午前11時06分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、岩城重義議員を指名いたします。

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

豊民クラブの岩城でございます。豊民クラブ最後のバッターでございますので、よ

ろしくお願いします。

私も、町政運営方針からの質問でございますので、よろしく願いをいたします。

まず第一に、安心・安全のまちづくりについてという項目からの質問でございます。

地域防災計画を、今後発生する地震や土砂災害などに備えるため計画を修正しますとあるんですけども、どのように修正されるかお聞きをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

地域防災計画につきましては、町が実施すべき災害対策とか、あるいは災害発生時における町の関係機関の役割を定め、それから町としてその中で避難所の指定あるいは備蓄品の整備、それから大阪府を初めとする防災関係機関との連携をいかに図っていくかということを決めたものでございます。

防災計画の策定に平成25年度予算を計上しておりますけれども、今現在は国におきましては、東南海沖地震の被害想定が今月の末ぐらいに出されるだろうというふうに思っております。それに伴いまして、大阪府のほうで防災計画の新たな修正ということを決めるというふうに聞いております。

豊能町の場合も、東南海沖地震では、被害想定は人的なものも家屋等についても5弱でありますので、被害想定はゼロというふうにされております。しかしながら、今度6弱というような想定やというふうに変更を聞いているところでございまして、それが家屋の倒壊が何件、それから人的な被害というのがどういう状況やというのが大阪府のほうから示されてくるというふうに思っております。それに基づきまして、その被害想定に基づいて防災計画を作成する

というふうに今後、今年度についてはそういう形になるのではないかなというふうに思っております。ですから被害がふえたりしますと備蓄品の数量等も関係してまいります。

それから以前に新聞等に載りましたけれども、原子力発電所の事故あるいは災害等が起きたときに、新聞発表されましたけれども、風向きによっては能勢町あるいは豊能町、北摂の関係で、一部風向きによって被害を及ぼす影響が出るかもわからないというような調査が出ておりましたので、その辺についても大阪府のほうから指示があるだろうというふうに思っております。

それから津波等で、豊能町の場合は関係ないんですけども、近隣の市あるいは大阪市等が被害を受けたときに、豊能町が避難場所としていかに提供ができるかとかいうようなことについても、広域的な協力という、協定といいますか、そういったようなことについても防災計画の中では大阪府のほうから要請をされるのではないかなというふうに思っております。それらについて防災計画を策定してまいりたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

防災計画は、やっぱりこれいつ災害が起きるか分からない状態でございますので、できるだけ早くしていただきたいと思っております。

次にいきますけれども、通学路の安全確保という項目がございまして、社会資本整備総合交付金を活用し、必要な整備を行うとあるんですけども、これはどのように取り組んでいく予定かお聞きをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

通学路の安全確保対策でございますが、昨年の秋に関係機関、教育委員会、学校現場、PTA、警察、道路管理者等々で合同で点検を行った結果、本町内には23カ所の点検要望箇所が上がっていましたが、本町の対応できる場所は10カ所でございます。さらにその後3カ所の要望が上がってきております。それらについての安全対策の施行計画でございますが、今年度たまたま要望箇所の1カ所を他の工事で施工する現場がありますので、その工事に合わせて防護さくを1個設置する工事を追加して対策を行う予定でございます。平成25年度以降2カ年でその要望箇所の13カ所のうち12カ所をやっていく予定でございます。平成25年度におきましては8カ所を対応すべく考えております。残りは平成26年度の対応で考えております。

以上でございます。なお、工事の内容につきましましては、防護さくそれから区画線、あとカーブミラー、啓発看板設置工等でございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

通学路の安全にも関連するんですけども、豊能町内におきましては車いすが通れない歩道が、私はたくさんあると思うんですけども、何カ所ぐらい町として、通れない箇所を何カ所把握しているかお聞きをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

物理的に車いすが通行できない歩道といいますのは、本町内では光風台地区に存在しているというふうに考えております。具体的には1丁目と2丁目の間の道路にかかる歩道並びに2丁目から3丁目のマンションとか銀行の横の通りの直線の道路、さらに3丁目から4丁目間の国道までの歩道の道路には街路樹ます等があり、車いすの通行には支障を来しているというふうに認識しております。

対策としましては街路樹の撤去というのが可能であります。この件につきましましてはなかなかいろいろと意見を伺っているところでありますので、慎重に検討してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

町長は町政運営方針にも、安心・安全のまちづくり第一みたいな感じの発言をされておりますので、これ街路樹が邪魔で通れないということであれば、ほかの施策、方策があるのではないかと私は思うんです。片側に寄せて片側の街路樹をとってまうとかいうのがあると思うんですけども、その辺のお考えはないのでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

現況歩道付近は非常に狭くて、街路樹があることから、歩道を車いすが十分通行する幅員が確保できていないというのは重々承知いたしておりますが、街路樹を全面的に撤去するというにつきましましては、なかなか直ちに可能と考えるのは難しい面もあるのではないかと。それと片側の歩道を

なしにして片側にあわせて、片側に広い歩道を設置するというのとは一つの解決手法かとは思いますが、それには膨大な事業費が必要になってくるのではないかとことから、直ちに非常に難しいのではないかと考えておりますので、今後とも、街路樹が枯れたりした場合はその分随時補充せずに、まずに舗装等を加えて通行可能なような状況にはしていきたいとは思いますが、なかなか直に進めるというのは非常に難しいと考えておるところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

これやっぱり住民の定住化またIターン、Uターンをアピールする上にも私は大事なことやと思っておりますので、どうかもっともっと取り組んでいただきたいと思います。

次に、氾濫するおそれのある河川、私は何カ所か、私個人としてはあると思っておりますけれども、町といたしまして何カ所ぐらい、氾濫する河川があると把握してはりますか。お答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

昨年、大阪府におきまして、河川の降雨確率によるシミュレーションの洪水リスクの開示が行われております。それは本町の3階のエレベーター前のロビーにも配置しておりますが、それによりますと、余野、切畑、川尻地内で氾濫の可能性があることが示されております。

その降雨確率でございますが、10年確率、30年確率、100年確率、200年確率という形でシミュレーションされてお

りまして、それらのシミュレーションをした図面によりますと、余野、切畑、川尻地内で氾濫の可能性があるというふうに示されておるところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

そう示されておるのであれば、何らかの手を打っていくというのがやっぱり安心・安全のまちづくりにつながっていくと思いますので、どのような手を今後打っていくのかをお聞かせ願います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

先ほど申し上げました降雨確率による氾濫の予想、洪水リスクの開示の件でございますが、それら河川全てが大阪府の管理河川でございます。我々町といたしましては、従前からあふれそうな部分につきまして対策をというふうに要望を、池田土木事務所にしてまいったところでございます。今のところ対策としては、町としては大阪府に働きかけているというところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

もっともっと大阪府のほうへ働きかけていただきたいと思います。町の管理の河川というか、それにはそういうところはないのでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

町が管理する準用河川並びに水路でございますが、豪雨とかの雨量によってはあふ

れる可能性があるというふうに考えております。したがって来年度では、その一部でありますけれども、護岸の改修、流路断面を大きくするというような工事を着手する予定をしております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

それではよろしくお願いたしまして、次にいきますけれども、土砂災害が結構発生する箇所、私は私なりに把握しているところはあるんですけども、町といたしましてはどれぐらい把握しておるかをお聞きいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

豊能町の土砂災害の起こる可能性ということでございますが、ざっと言いますと東地区の旧村、そこら辺についてはほとんどのところが土砂の災害に可能性があるというような凶になっております。東地区でも希望ヶ丘についてはそういう危険性はないというようなことは言われてますけれども、そういう状況になっております。特に川尻とかそれから木代の平野地区とか、できるだけ国のほうにおいて砂防の工事等はやっていただいておりますけれども、順次されておりますので、なかなか対応がいかないというようなところでございます。それから西地区の住宅地等についても、一部土砂災害の、多量に雨が降ると土砂災害の起こる危険性がある箇所というのは一部にあるというふうに把握しているところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

これは今、大阪府が主に工事やってると思うんですけども、町は工事することはないんでしょうか。お聞きいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

以前は国の補助あるいは府の補助を受けて町が実施をした箇所は大分前に、昭和の時代にあったというふうに思っております。ただ、平成に入ってからそういう補助制度、町がやる補助制度というやつについてはございません。ですから町単独でも非常に難しいということがございまして、ここ10年以上、町が事業をやったという記憶はないというふうに思っているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

今、住宅の旧村、何でしたかな、定住化策のことで高橋議員が得意な分野のあれがあるんですけども、ちょっと今、ど忘れしましたけども、それで、あれは旧村を売り出すみたいなことなんです。それやのに旧村が全体が危ないとこばかりやということでは、なかなか進まないのではないかと思いますので、これ府がするということがあるのであれば、府のほうにがんがん要望していただきたいと思っておりますが、いかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

府のほうも、昔は府の単独事業ということでどんどんと施行していただいたんです

が、府のほうも金がなくて、国庫補助を対象としてやられているというのが現状でございます。

町も工事はできませんけれども、例えば川尻地域については、昨年6月に集中豪雨を想定しまして、地域の皆さんと避難訓練といいますか、避難をやりまして、どういふところに問題があるかということに住民の方とワークショップ形式でいろいろと論議を、大阪府の池田土木等も入れまして論議をいたしまして、川尻版のハザードマップというふうにしらえまして、もしもそういう避難をしていただかなければならないというようなときには、どの経路を通過して避難をしていただくというようなマップをこしらえたということございまして、順次そういうところについてはハザードマップ等をこしらえて、住民の方々とを話し合いを持っていきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

ではそのように一生懸命頑張ってくださいようお願いいたします。

次に、防犯カメラの設置のことでございますけれども、防犯カメラは街頭犯罪だけではなく、子どもに対する性犯罪や空き巣などにも強い不安を今抱いておる、住民さんが抱いております住宅地や通学路についても、今後防犯カメラの設置が必要ではないかと私は思っておるんですけれども、町としてのお考えをお聞かせ願います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えをいたします。

新光風台からの要望を皮切りに、町による防犯カメラ設置に対する事業要望が数年前から出されてきましたが、費用対効果及び肖像権、プライバシー問題の理由で実施がかなわず、新光風台では地元自治会単独による設置を行い、順次、東ときわ台など西地区の自治会においても自治会単独による設置が進んできている状況でございます。

東地区におきましても、設置を検討している自治会があると聞いておりますが、ランニングコスト等がかかり過ぎるなどの問題から頓挫しているとの情報もでございます。

防犯カメラ設置しましたら、街頭犯罪とか、今、議員おっしゃいました犯罪等が激減するという情報、警察からの情報もございまして、カメラの効果については、今言いましたように実証済みでございますが、本町としましては、かねてから、以前から質問ございましたんですが、防犯カメラ設置への町単独での事業実施並びに補助金の交付につきましては、財政上からも難しい状況であるものでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

この防犯カメラにつきましては、府のほうで何か補助金がついたとの、私のアンテナにひっかかってきたんですけども、町のほうではそれは把握してはりますでしょうか。お願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えいたします。

議員おっしゃることでございますが、去る2月25日に大阪府で開催されました、安全なまちづくり市町村連絡会議におきま

して、突然、大阪府青少年地域安全室から、平成25年度についての子どもや女性を犯罪から守る防犯カメラ設置補助金を総額2,400万円を要求しているとの情報提供がございました。

補助の内容は、府域で多発する子どもや女性を対象とした犯罪の抑止を目的として、市町村に対しカメラ1台当たり補助率2分の1、上限10万円の設置補助を行うものということでございます。

これまでのカメラ設置補助金は街頭犯罪の多発する駅前などに指定されまして、本町ではその基準が適用されずにまいりましたところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

その市街地だけだったやつが、一般の豊能町にも使えるということですか。これ町長、積極的に取り入れていくというお考えはないでしょうか。町長お答え願います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

本補助金は、今、自治会で、西地区とかカメラ積極的に設置されているところもございまして、また自治会に対して適用可能かどうか、府議会で議決された後に、そういったことができるのであれば検討を始めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

それではよろしくお願いたします。

次に、新しい消防庁舎が秋に完成する予

定でございますけれども、この新しい消防庁舎の役割について、どのようなことを担っていくのかいうことを消防長のほうからお答え願えますでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

西本消防長。

○消防長（西本好美君）

岩城議員の質問に対する答弁を行います。我々消防職員というのは、住民の生命、身体、財産をあらゆる災害から守るという使命がございます。日夜、有事の即応と、対応するというので、そういう活動の拠点が新消防庁舎であるというふうに認識しております。

それからまた、消防庁舎におきましては、箕面市との消防連携のさらなる体制の強化と、大規模災害時における災害活動の拠点でもあるというふうにあわせて認識しております。

それと新消防庁舎ということで、機能の充実ということもございまして、特に消防のといいますか、将来の消防行政需要に的確に対応するというのと、資機材の備蓄また住民の防火防災の教育、例えば救急講習、また防火講習、防火相談などの実施を行う。またOA化への対応をすると。さらには職員の屋内訓練を通じての体力錬成もろもろ、諸機能の充実が行われるということもございまして、今後の本町の消防防災活動の拠点であるという位置づけで、やはり住民にとっては安心して暮らせる、災害に強い安全なまちづくりの推進に大きな役割を果たすのではないかなというふうに私は認識しております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

いろいろ質問してまいりましたが、私はやっぱり安心・安全が第一やと思っております。近い将来に安全・安心のまち豊能町宣言というものを出せるような取り組みをぜひお願いをいたします。

次にまいりまして、元気に暮らせるささえあいのまちづくりの項目から質問をさせていただきます。

地域密着型介護老人福祉施設や、機能訓練型通所介護施設の整備を行うとあるんですけども、具体的にはどういうことかをお聞きいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えいたします。

地域密着型老人福祉施設でございますが、定員が29人以下の特別養護老人ホームのことございまして、入所できるのは、原則、施設が所在する住民の方しか入所できないものとなっております。

本町では、民間活力を導入して行います豊悠プラザの再整備事業の一つのメニューとしておるものございまして、来年度、平成25年度中完成を目指しているものございまして。

なお、今回整備する地域密着型介護老人福祉施設の定員は、施設の面積等の関係から22人としておるところでございます。

もう1点の機能訓練型通所介護施設でございますが、機能訓練を中心としたサービスを提供するデイサービスセンターのことございまして、日常生活上のお世話や入浴などを中心としたサービスを提供する一般型のデイサービスセンターとは異なるものございまして。これも同じように豊悠プラザの再整備事業の一つのメニューとしまして、来年度、平成25年度中に整備

を目指しているものでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

豊悠プラザのことだったんですね。よくわかりました。

次に、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画についてお聞きをいたします。

今、中間年に当たるということですけども、今後のことにつきまして、もう来年ぐらいに考えなあかんと思うんですけども、これについてはどのようなお考えかお聞きをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えいたします。

議員おっしゃいましたように、今、第5期の高齢者福祉計画を進めておるわけでございますが、第6期の計画につきましては平成26年度に作成をしなければいけないところでございます。

今までの高齢者介護計画では、介護保険運営委員会におきまして各計画年次の進捗状況の把握・検証など、進捗管理を行っているところでございます。一般高齢者施策につきましても、計画期前に進捗状況など課題を検証し、次期計画に反映していきたいと思っております。

今後はしっかりと現状把握や課題抽出などをすることによって、さらなる高齢者施策の推進に取り組み、第6期計画につなげてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

豊能町もやっぱり高齢化が進んでおりますので、高齢者のニーズにあったような福祉の計画をぜひともしていただきますようお願いをいたします。

次に、活力のあるまちづくりについての項目からお聞きをいたします。

この町政運営方針には、農家の方がそれらの野菜を積極的にPRして販売できるように、西地区に農産物直売所の設置に向け検討しますとあるんですけども、ここも具体的に場所が決まっているのか、どういう計画かをお聞きをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

農産物直売所の件でございますが、本年度中に設置ができればいいというふうに、生産者の団体の方と意見交換を行っているところでございまして、具体的な場所として町が生産者に提示いたしておりますのは、保健センター周辺の場所を提示いたしております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

これ前からずっと、こういう道の駅構想とかあって、みんなだめになった経緯が結構あるんですけども、確かにこれやっつけていけるんでしょうか。その辺私ちょっと心配しております、その辺のことをちょっとお聞きいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

議員おっしゃるとおり、前回この双葉保

育所跡地での直売所の件で頓挫したというような経緯がございますので、我々としてはできる限り軌道に乗るような形で検討してまいりたいとは思いますが、今後、生産者等の関係者との話し合いを詰めていきたいというふうに考えておるところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

頓挫ばかりするわけにはいきませんのでね、よう詰めていってもらって設置してほしいと思います。

次に、地産地消のさらなる推進とあるわけなんですけども、地産地消事業のさらなる推進のために生産者と消費者が集える場の提供や、学校給食への地元食材の供給などに取り組むとあるんですけども、これは具体的にどのようなことを予定されているかをお聞きいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

地産地消のさらなる推進につきましては、今現在行っております学校給食への食材の提供でございますが、これにつきましては教育委員会とより密接な情報交換を行い、より生産者の生産物が給食の食材として使用していただけるように協議を進めてまいりたいという考え方でございます。

それと、今現在行っております地産地消フェア、これは農業関係団体の主催によるものでございますが、その支援を継続して行っていくという考えのものでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

その給食に使うということなんですけども、中学校は今度給食化するわけなんですけども、これ外の弁当屋さんに注文する場合、その場合は今、川上部長おっしゃられたように、うちの豊能町のやつを使ってもらえないのではないかという懸念があるんですけども、その辺のことはどうなるでしょうか。お聞きをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

小川教育長。

○教育長（小川照夫君）

お答えいたします。

今、川上部長のほうから答弁いたしましたのは、現在行われている小学校給食についてであります。将来中学校給食については現在計画を立てておまして、デリバリー方式というのを導入する予定であります。昨年ある業者をお尋ねして、私も試食をしてきた際に、できるだけそういった町の食材を使えないかという話をしておきお米についてはなるべくそういったことの導入も可能だろうという話も聞いておりますので、詳細についてはその辺も含めてこれから詰めていきたいというふうに思っています。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

それではよろしくお願ひいたします。

次は4番目の項目でございます。

ユーベルホールの件は先ほど同僚の井川議員のほうからございましたので割愛しまして、図書館の貸出という項目がありまして、巡回図書館がまた復活するのかなと私ちょこっと思っておるんですけども、これはそのような考えでいいんでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

桑田教育次長。

○教育次長（桑田良彦君）

お答えいたします。

図書館の巡回貸出についてでございますが、これは移動図書館では、まずございません。

内容ですけれども、2点ございまして、1点は、今まで基本的に町立図書館、一般の住民さんに資料を提供するということでございます。各学校、所園からリクエスト等がございましたら、その都度職員がまとめて持っていったりしておるわけですが、今回は小学校、まず小学校4校、中学校2校でございますが、特に調べ物学習を中心に6校分、本を買いまして、これは新しい新刊図書でございますが、それを6校、例えば6グループのセットを買いまして、それを1年間で全体に渡るようにするというところでございます。

もう1点は、保育所、幼稚園でございますが、保育所、幼稚園あるいはすきっぷ、全部で四つなんですけれども、これも4グループA B C Dセットの、特に絵本中心でございます。保育所、幼稚園専用とするということで買いまして、それを年4回ごとに四つを全体に、図書館が中心として配本をして回すということでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

学校へ行くんでしたら、ついでと言ったらおかしいんですけども、交通の不便な地域、結構豊能町ありますので、その辺へ前の移動図書館が行ければ、バスが不便で今の図書館まで行かれない人は結構いてはりますので、その辺のことは考えるおつもり

はないでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

桑田教育次長。

○教育次長（桑田良彦君）

お答えいたします。

大事な課題の一つだとは認識しておりますが、できるだけ検討していきたいと思っております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

岩城重義議員。

○4番（岩城重義君）

今、最後でいいお答えをいただきましたので、私の質問は以上といたします。ありがとうございました。

○議長（福岡邦彬君）

以上で豊民クラブの一般質問を終わります。

この際、暫時休憩といたします。

再開は、午後1時といたします。

（午前11時43分 休憩）

（午後1時00分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、町政会の一般質問を行います。

持ち時間は、質問及び答弁を合わせて40分とします。

永並啓議員を指名いたします。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

こんにちは。7番・永並啓です。町政会を代表し、一般質問をさせていただきます。

時間限られていますので、すぐに質問に入りたいと思います。厳しい質問になるかもしれませんが、期待を込めてということですので、御理解をいただけたらと思っております。

順序は異なりますけれども、まずダイオ

キシン問題についてお聞きしたいと思います。

まず町長には真剣に取り組んでいただきたい。12月議会の答弁では、ダイオキシンはこれまで解決できなかったからなかなか難しいというような後ろ向きな答弁されました。やはりこの発言はいただけません。確かにダイオキシンというものは、発生してから10年以上、いまだに解決できていません。しかしこれまで日下町長、池田町長も何とか自分の任期中に解決するという強い思いで取り組んでまいりました。確かに住民の中には、もうダイオキシンというものは過去のものとなっている、考えている人も多いと思います。でも町長、今はもう一住民ではなく、豊能町を引っ張っていくリーダーなんです。副管理者と相談してとよく言われます。もちろん緊密に相談して連携を強める、重要なことです。しかし最後には決定するのは管理者であるあなたであるということを忘れないでいただきたい。やはり何としてもこの4年間で解決するんだという気持ちで取り組んでいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの永並議員の質問に対してお答えいたします。

まず前置きですけれども、これはまず本質疑の回答につきましては、本来豊能町長として答弁すべき事項ではございませんというか、豊能町環境施設組合の議会で答弁させていただいた範囲でお答えさせていただきたいと思っております。

その中では、今現在、鋭意、今回、1市3町のほうで、国崎クリーンセンターというところで処理していただくということで

能勢副管理者とも話をさせていただいたところでございますけれども、現段階では難しいという話がございます、また引き続きお願いしていきたいと考えておるところでございます。

また、国や府に対してもより一層の支援を求めておりました、組合としてもこれらの支援を受けながら、一刻も早く処理できるように取り組んでまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

ありがとうございます。

なかなか難しいということですが、そうした何が原因で難しいのか。次に引き続きお願いに行くに当たってどういった準備をされて行くのか。ただ管理者のもとに行ってお願ひします、これで受けてもらえるとは思いません。そういった、だめだった場合は、やはりだめでしたではなくて、どういった部分が原因である、こういったところを解決したらいけるんだ、そういったふうに答えていただきたいと思ひますが、いかがですか。お願ひします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

この問題につきましては、答弁いたしません。

先ほど申しましたように、本来施設組合の議会で答弁させていただいた範囲でお答えさせていただくということですので、これにつきましては現在、施設組合の議会の範囲でございますので、今の答弁はこの場でお答えすべきものではないと思ひしております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

それくらいの答弁できないですか。それならいいですけども。

一度行く、営業マンというものは、一回行ってだめだったら何回も行って、5回ぐらい行ってようやく新規契約をとる、それぐらいの覚悟を持って行くんです。やはり町長におかれましても、そういった気持ちを持って行っていただきたい。じゃあ答えられる範囲で答えてください。じゃあその準備という意味で、町長は行かれる前に、例えば環境保全委員会ありますよね。それとか川西市の議員の方、地元住民の方、こういった方に会って理解を求めて行かれたのかどうかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

やはり今申しましたように、私この場でお話するようなものではないと思ひしております。この場合は、今回平成25年度の所信表明、それと予算に関しまして一般質問ということでお答えしておりますので、これはやはり施設組合の議会でのはんちゅうではないかと思ひしております。

以上でございます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

この際、暫時休憩いたします。

（午後1時06分 休憩）

（午後1時07分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

私といたしましても、何とかこの問題につきましても早期の解決を図ってまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

それ以上答えてもらえないのかな。私が言った、準備として、川西市の議員であったり。国崎クリーンセンターって豊能町にあるんじゃないんですよ。川西市にあるんですよ。じゃあ町長、お聞きしますけど、川西市長である管理者が引き受けてくれた場合どうなるかということ考えたことはありますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

当然、引き受けていただければ、地元の方々に説明をして御理解を求めていただくと、求めるという形になります。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

町長の答弁はかなり冷たく感じます。何か法的にもオーケー、技術的にもオーケー、そうしたら処理はできる、こういうロジックがあるように思います。やはりそこに、今まで解決できてこなかったのは、そこに住民感情というものが入ったからです。町長はまちづくりを24年経験されてきた、選挙でおっしゃっていました。まちづくりにおいても一番配慮しないとイケないのは、

その地域住民の感情、そこが重要になってくると思います。しかし今のような発言ではそこが一切抜けているように感じます。もっと相手側の立場に立って、じゃあ川西市長どうなるか。説明するんじゃないですよ。絶対に、引き受けたら川西市の議会からも追及されますよ。何で処理するんや。環境保全委員会からも追及されますよ。もしかしたら地元で反対運動起こりますよ。でも豊能町と能勢町はそういった場合何もできないんですよ。何ができるんですか。川西市の議会に行っても何かできますか。できないんです。だから引き受けてもらえない。そうしたら豊能町としては、そういった人に何度もお会いして理解を求めていくしかないんですよ。そういったことをわからないですか。お答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

これにはやはり、ものには順序というものがありまして、私はまずは川西市長さんにお話をし、そこから理解を求めて、それから話を進めていくべきだと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

それじゃあ理解求められませんで。だって市長の立場からいって何のメリットもないじゃないですか。それをもっといろいろな人が協力してもらおうように、周りを、協力体制を整えてから行かないと。そういう意識だからですよ。

正直、言いたくなかったですけど、もうあえて言わせてもらいます。先日の1市3

町町の組合議会、町長、一般質問のとき、うとうとされてましたよね、結構な時間。それを川西市の議員さん見てるんですよ。川西市で処理しよう、国崎で処理しようとしている。そうしたらそれを処理しようとしている豊能町長がうとうととしている。そんな真剣さが伝わらない状況で受けてもらえenと思いますか。やはりもっとそこはきりっとして緊張感持って、すべきや思いますけど、いかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

うとうとしていたとは僕は思っておりません。それは客観的に見てはるだけで、どういったかというのは、僕はそんなこと、寝てたという事実はございません。そんなことは言わないでください。無責任でございます、今の発言は。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

この際、暫時休憩いたします。

（午後1時11分 休憩）

（午後1時12分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

そうしたら、町長であるならば、もっと、どのようにしたら理解を得て進むのか。現に断られている。なぜ断られるか、その原因を押さえた上で行かないとずっと断られますよ。同じように川西市長にお願いしに行ったら断られます。そここのところをわかった上でぜひとも前向きに、絶対処理ができるんだという、12月のときのような答弁は控えていただきたいと思います、

いかがですか。最後にそれだけお答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

安全解決に向けて最大限の努力をいたします。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

それでは次に町政全般についてお聞きしたいと思います。

先に、所信表明に示された方針の具体策と町長退職金についてであります。

町長が就任して半年が経過するんですが、ちょっとこれまでの町長の町政運営を見てみると、私自身の中ではリーダーシップという面では疑問を感じてしまいます。

12月議会の私の一般質問の中で、私は町長に退職金を削減するべきではと質問しました。そのときの理由としまして、大阪府の松井知事が700万円まで削減したこと。報道では、松井知事は、各市町村の首長も賛同していただけるとありがたいとおっしゃってました。それとか、改革派の首長は率先して退職金を大幅に減額もしくは辞退されていること。豊能町と同じ大阪府の一自治体である大阪市の橋下市長は、市長が知事よりもらうのはおかしいということで、同じくらいの削減をしたこと。私も同意見です。田中町長は選挙においてどの政党からも指示を受けず、住民の力で選挙を戦われたわけですから、住民感覚と異なる、たった4年をして退職金がもらえるというようなところは早急に修正すべきであるということ。そして前町長は半分にな

れていたから、トータルでの削減額は前町長のほうが上回ってしまう。これは住民に対して、改革をしていくんだ、本気で取り組むんだというメッセージ力を低下させるものであることなどを理由に、削減をしてはと質問させていただきました。これだけ理由を上げたんですが、町長は条例どおりということで受け取るとおっしゃられました。しかし2週間後には、国が退職金の削減を行うということから、豊能町職員の退職金の削減を行うようにした。その際に方針を転換され、みずからの退職金も削減するとおっしゃられました。しかし自分の部下である職員の退職金の削減をするにもかかわらず、みずからの退職金は削減しなかったこと。これについては昨日、事務上間に合わなかったとおっしゃっていますが、本当にリーダーシップというものを重要視するのであれば、私はいろいろ方法あったと思いますよ。手続的に間に合わなかったのではないと思います。最初から、私もこれだけ削減しますから協力してくださいと言えれば十分間に合った話です。それで間に合わなければその時期をずらすことだってできます。ずらしてる自治体もあります。ですから、事務上間に合わなかったということは違うと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

これもうちの職員の方にも聞いていただいても構いません。この話は申ししておりましたけれども、事実、事務上間に合わなかったというのは事実でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

だから、事務上間に合わないのであれば、それをずらせばいいだけです。2月、3月でもいいんです。ずらしてるところありますよ。混乱が起きるからということで4月からにしている自治体もありますよ。リーダーシップというものを非常に重要視をするなら、私はこれは非常に重要だと思います。退職金の削減、それはやはりトップがしてそれから職員です。そのことは非常に重要視してますから、ずらすという選択肢はあったと思います。だから事務上間に合わなかった、それは僕は言いわけにしかすぎないんじゃないかと思いますが、そういうことはじゃあなぜされなかったのかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

やはりこれ、早急に退職金の条例については改正する必要があるというふうに考えております。ですので今回、あの12月の時点で出ささせていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

いや、現にほかにずらしている自治体というものもありますよね。だから私は、そこはリーダーシップというものを非常に重要視している。だから一緒に出すということが非常に重要だと考えているから言ってるんです。そこの認識というものは、ずれがありますけど、そこは重要だと思いますよ。これから4年間、3年半豊能町を引っ張っていく、その立場にいるんです。やは

りそういったところからも非常に慎重に扱わなければいけないと思います。だから手続上間に合わなかったからずれてしまったんだ、そういったものは通用しないと思いますよ。だから私はそういったところも踏まえて、質問に戻りますが、リーダーシップという意味では若干疑問視、疑問の点が出てきているということをおっしゃっていただいています。それ以外にも、例えばみずから判こをつけて出した議案を撤回したこと。小寺議員の質問で明らかになりましたけど、前町長からの引継書にみずからサインをしているのに、内容を把握せずに思い込みで間違った答弁をされたこと。これは町長が就任直後で仕事になれる、なれないという問題じゃないと思ってるんですよ。だってサインをするとか判こをすることとは、その内容を全部自分が引き受ける、その責任を全部持つということなんですよ。そこができてなかった、それは僕はすごい深刻な問題だと思います。そういうのがあるからどうしても緊張感に欠けるんじゃないか、欠けてるんじゃないかというふうに写ってしまうんです。町長という立場です。皆さんに見られてるんです。そういったところは特に注意をして運営に挑まないといけないと思います。

それでは質問に戻りますが、行革にとっても重要なのは意識改革であります。それを成功させるには、何よりもあなたの強力なリーダーシップ力が必要になってくる。だから今まで上げた点というものは非常に重要なんです。そこはどんどんクリアにして職員からの信頼を勝ちとって、私についてきてくださいというような、こんなパワーを持ってやっていかないと、改革なんて何も進んでいかないですよ。

町長の就任直後の所信表明では、住民サービスの徹底、経費の削減、歳入増加、働

きやすい効率的な職場の実現、四つの基本的な考え方で意識改革としてます。町長は発信するだけです。それを実際に職員にやってもらって、これが重要になります。今回の町政運営、それを見ると言葉が変わりました。でも今のほうが響きはいいんですよ。耳には入ってくるんです。でも標語のコンテストに応募するわけじゃないんですよ。言葉なんてどっちでもいいんですよ。大切なのはあなたの4年間の所信表明を出した、それを毎年度、毎年度、町政運営において具体的にどのようにそれを実行していくのか、それを示さないと。それがいいんです。四つの基本的な考え方を職員に徹底させていく方法、これ聞きたかったんですが、橋本議員のほうから聞いた際に、何ですかね、朝礼で毎回言う。それとか張り紙をすることをおっしゃってました。ペットのしつけじゃないんです。同じことを繰り返して理解する、そういうんじゃないんです。やはりやり方、別の角度から言うと、町長は12月議会で、職員の方は非常に優秀だと答えられてます。優秀な方だったら1回聞いたらわかりますよ。それに職員の意識改革、こういった言葉の問題は日下町長時代からずっと同じようなことは常に言われてます。じゃあなぜいまだに、町長は所信表明をされた際に、さまざまな提案をしてきたが影響力はなかった。優秀な職員なのになぜ影響力がなかったのか。これはなぜだと考えますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。わからなったら再度論点をあわせて聞いてください。許可します。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

済みません。先ほどの趣旨がわかりませんでしたので、もう一度質問をお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

自分の時間ですか。

四つの基本的な考え方を職員に徹底させる。所信表明でも述べておられます。その徹底させる方法として、先ほどの答弁でもありましたけども、張り紙をする、それとか朝礼で言う。私は、そのことはもうさんざん職員は言われてきてます。それで僕は意識改革ができるとは思ってません。それに所信表明の中でもあなたは、今まで一住民としていろいろと提言してきたが影響力はなかったと書かれています。12月議会の中では町長は、職員は非常に優秀ですと答えられています。優秀だったら影響力、提案したら反映されるでしょう。それができない理由はどこにあると思いますかということ聞いてるんです。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

まずは、できなかったというのは、私は今、私になって、町長に就任させていただいて、いろいろな今の意識改革のことを出させていだいたりとか、一緒に仕事を進めるに当たって、それについてはもう職員の皆さんは前向きにやっていただいていると私は思っております。できていないとは思っておりません。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

所信表明の中にそれが書かれてたのでね。住民の立場から提案してきたと、でもそれは反映されなかった。そうしたら提案の内容が悪いのか。いいのであれば、職員がそれを見ても無視してたのかということになりますから、それやったら、優秀な職員やったらそれは見たら採用してるんじゃないですかということです。だから私は、さんざん今まで意識改革という意味では言われてますから、今度は田中町長が具体的にどのように、仕事のやり方というものがずれてるんだと思ってるんです。意識改革として張り紙をする、朝礼で言う、そういうんじゃないくて、ここはこういうふうにするんですよと、ここはこういったところがぐあい悪いですよとか、そういったところを、いろいろな制度があります。やり方があります。そこを田中町長が具体的に示す、これが町政運営で欲しかった。そこを聞いてるんですが、いかがですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

当初の設定の質問にはない質問でございますけれども。

（発言する者あり）

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

○議長（福岡邦彬君）

町長、あるとかないとかいう問題は言わないでくださいね。

この際、暫時休憩いたします。

（午後1時25分 休憩）

（午後1時32分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

まずは哲学を示して、基本的なところを一致してると思っております。

また、個別の話につきましては、現在、プロジェクトチームというものを組んで、今その実現に向かって鋭意やっているところですので、その結果についてはまだ出ておりませんが、近いうちには成果を示せるものではないかと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

わかりにくい質問で済みませんね。

意識改革の方法で、プロジェクトチームじゃなくて、それはリーダーがどういうふうに運営してもらうのか。僕はそれはリーダーが方法を選ぶんだと思いますよ。じゃあ同じ職場内にいて、例えばPDCAでよく回してますと言います。同じ人が、今まで同じ業務をした人がどうやってチェックするんですか。形上回ってるだけで、そこへ違う人の考えが入らないと、チェックしてもどこが問題かというのは明らかにならないんですよ。豊能町には、例えばたくさんの部下を扱ってきた人、たくさんいます。いろいろな人事の方法ってあると思います。そういった人の意見を聞くとか、そういったことをされたらどうですか。そこについてお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

今、御指摘いただいたように、当然、ものを進めるに当たりましてはさまざまな方

の、必要であれば意見を聞いて進めてまいっております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

やはり僕は、リーダーシップというものはまずリーダーがこういったふうにするんだということを示すべきだと思いますよ。それでどういう意見があるんだ。12月でも言いましたが、下の声を吸い上げる、これは安定してるとき、企業がゆっくり成長してるときはいいですよ。でも追い込まれた企業を立ち直らせる、改革させるというときは強力なリーダーシップがないと変わらないですよ。そこはどんな企業でも、再生にかかった企業でもそうですよ。一人の強力なリーダーシップ。JALでもそうです。そういったふうに改革をしないと変わっていかないですよ。それを私は田中町長に示してくださいと、もっと私はこうあるべきだ、こういうふうにするんだということを示してくださいと言ってます。いつも、誰々に聞く、誰々に聞く、職員から吸い上げるじゃなくて、そういったふうには少しはできないですか。そこだけお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

ただいまJALの社長というお話ありましたけども、JALの社長の稲盛さんは京セラフィロソフィということで哲学を示して運営をしているという意味ございまして、私はそれも見習いながら一定の哲学を示して、今、やっているところでございます。

それと方向性につきましては、こういっ

たことをすべきだということについては町政運営方針の中にも書いておりますし、それを具体的にするために、現在プロジェクトチームを立ち上げて具体的に、今、進めようとしているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

わかりました。結果を待ちたいと思います。本当は町長自身がこんなのあるよと、いろいろなことを出していくべきかなと、私自身は思っております。

次に、公約の目標設定についてです。今の公約というものは、田中町長に限らず、多くの地方自治体の首長同様、非常に抽象的であります。今回の町政運営方針を見ても、定住化を促進する。人口増加に力を入れる。丸々を推進する、促進します、努めます。この言葉が非常に多いんです。やはり増加を目指すんだったら、何人くらいの人口増加を目指す、世帯数をどれくらいふやすなどの、誰が見ても客観的に判断できるような数値目標の設定が必要と考えますが、いかがでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

数値目標、確かに大事でございます。現在、空き家・空き地につきまして、プロジェクトチームの中で豊能町の実態を把握しながらこれから考えていこうと思っております。ただ、目標を立てる前に動かないというのは僕はよくないと思っておりますので、できる範囲の定住化施策を今現在やっているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

なぜ、行政というのは数値目標を本当に立てないんですよ。でも数値目標がないと予算って僕は考えられないと思いますよ。例えば人口増加、例に上げますと、10人ふやすのと1,000人ふやす、目標によって人口増加策にかける予算って違ってきますよね。人口10人ふやすために例えば1億円使う、これは余りにも大きいと感じますが、じゃあ1,000人ふやすんだと、こういう目標のためやったら1億円かけてもいいんじゃないかとなりますよ。いろいろなチラシ、町長つくってるかもしれません。それをまく範囲だって広がっていきますよ。でもそれと同時に予算もふえていきますよ。ですから数値目標によって施策の金額、施策の大きさというものは変わっていくんですよ。とりあえず何かするんじゃないかと、とりあえずどここの目標を決めるということが私は必要だと思います。

また橋下市長の話になりますけど、市長が知事になったとき、まずは出血をとめると言って予算の数値目標を決めました。それを達成するためにいろいろ削減しました。でもなかなか達成できずに最後は人件費というところを3割カットか何かを踏み込みました。でもこれ目標があったからそこにいったんです。ここの目標を達成するためにです。でも数値目標がなかったら、人口がふえようがふえなかりょうが、努力しました、でも結果余りふえてません。力を入れて取り組みました、でも成果は余り出ませんでした。こうなってしまうんですよ。やはりそこが民間企業と行政の大きな違いです。民間企業は全て、いつまでにこれだけの利益を上げる、全部目標を持っています。やはりできる・できないは後の結果です。

でも最初に目標を立てるということは非常に重要だと思いますが、それについてはいかがでしょうか。やはり数値目標は入れていかないつもりですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

先ほど申しましたように、空き家・空き地対策につきましては。

○議長（福岡邦彬君）

町長、空き家・空き地対策じゃない、具体的じゃなしに、数値目標。

○町長（田中龍一君）

数値目標につきましては、一つは、目標を定めるのが適切なものであれば数値目標は定めていきたいと思っております。具体的に空き家・空き地対策につきましては、豊能町の中にどれぐらいの空き家があるのか、空き地があるのかということ把握してからでないと目標は定められないと思っております。ですので、それまでにまずはどういった施策をするのかということもありまして、それも含めて今現在検討しているところで、それまでの間、できる範囲で、12月にも申しましたような、ホームページを使って不動産の情報を流すであるとか、あとは「豊能に住もう」というパンフレットをつくって、1月にお戻りのお子様に対して豊能町のPRをするであるとか、できる範囲のことをまずしなければいけないと思っておりますので、まずはできることをやる。それから目標についても、当然できる、目標を掲げることが必要なものであれば目標を掲げてやっていく、そういったことで進めております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

多分これは公務員と民間企業の考え方の違いになるのかなと思います。やはり目標というものを決めないと、現実、全部を知った上でできる限りの目標を立てるじゃないんですよ。民間企業は、この目標を決めたらそこに向かっていろいろな方法を考えて、今までと違うやり方、いろいろなアイデアを出してそこに向かっていくようになるんですよ。現状を把握してできる範囲の目標やったらすごいありがたいですよ。失敗もないだろうし。でもそこはそれだとその幅というのは非常に小さいと思いますよ。現状空き家の数を全部全て把握しました。それに目標を立てたら、多分本当に人口増加幅なんていうのは大したことないような目標になってしまうと思いますよ。やはり僕はそういった意味では、民間企業の感覚という意味で、先に数値目標を立ててここに向かってオール豊能で頑張っていくんだということが必要だと思いますので、これは理解してもらえないと思っておりますけども、頭の片隅にでもおいていただけたらなと思います。

続きまして、業務遂行の姿勢ということですが、12月議会において私は、梅田周辺ですね。週末になるといろいろなところに簡単なブースをつくり、地方の自治体の職員がはっぴや着ぐるみを着て、名産品をPRしたり、首長とかがいろいろな声をかける、そういった光景をよく目にしますが、そういったことを町長はされないですか。提案してありますが、町長は実際にされないですか。お聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

そういう機会があればやりたいと思います。ただ、今現在やっていることといたしましては、例えばふるさと居住ということで、シティプラザの1階に、田舎住まいをしたい方を募集しているコーナーとかがありまして、そういったところに行って、直接どうすれば人口を呼び戻せるのかとか、要はそういった形で直接話をしたりとか、私のできる範囲のセールスは、今、しているつもりでおります。またそういった、今言われたような機会があれば当然やってまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

あなたは町長なんですよ。機会はあるんですよ。そういったとこに申し込んだりとか、このブース貸してくださいとか。そこで豊能町の名産並べたらいいじゃないですか。町長みずから出たらいいじゃないですか。豊能町こんなとこですよと、いいとこですよ。それをもっとみんな、大阪市内の歩いている人に声かけたらいいじゃないですか。そんな決まってるところにどうしたらいいかって相談するんじゃなくて、まずはそれがトップセールスじゃないかと思いますが。トップセールスという言葉は東国原知事、宮崎県の元東国原知事がいろいろな顔出してましたよね。百貨店でありデパートであり。自分が顔を出して名産を売り歩いてましたよね。あそこからトップセールスってどんどん広まっていったかと思いますが、そういったことはされないのかお聞きしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

トップセールスについてですけれども、私は何点か考え方があっております。一つは、トップの間で話をしてセールスをする。

もう一つは、トップが参加できるような会合とか発言の場、そういったところで町政の運営とかについて協力を求めたり宣伝をする。

もう一つは、時間の合い間を縫ってみずからが営業する。また、町長のところにはいろいろな情報がありますので、人と人を結びつけてさらにこの町をよくしていくと。

まずトップ間で話してセールスするということにつきましては、私は12月にも申しましたように、現在、大阪府知事のほうに挨拶に行った折に、ぜひこの食の自給率、大阪府2%しかないということで、この食の自給率を高めるために、今回中学校の給食を大阪府下もしくは大阪市内で導入するのであれば、ぜひ豊能町にその供給先を任せてほしいというようなセールスを前回してまいっております。それにつきましては、副知事は私に、大阪市の区長を紹介していただきまして、その区長とも今現在密接に話をしているところでございます。

またトップができる会合とかの発言ということでも、能勢電鉄、池田泉州銀行、郵便局等々、集まりの場で積極的に話をして、こちらにつきましてもさまざまな協力とか協定とかそういったことを結ぶべく、今現在動いているところでございます。

またトップみずからということで、時間の合い間を縫って、先ほど申しましたような「豊能に住もう」というペーパーを直接住宅展示場のそれぞれのメーカーに話を持って行って、この豊能町のよさ、これ売り込むといったことはしております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

田中町長、今、副知事に、区長に。ちょっとその、あったんですけど。副知事から区長に紹介されたような。何かそういうパイプがあるんですか。ちょっと理解できません。ちょっと補足説明をお願いします。

○町長（田中龍一君）

副知事に話をしていた折に、より具体的に進めるためには、私に知り合いの区長がいますと、ですからその区長を紹介いたしますよということで紹介をいただいたということでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

そういうトップセールスもあるかもしれませんが。でも私が期待してるのは、町長みずからが顔を出して、どっちかという東国原知事のように、みずからが豊能町をPRする。もちろんトップ間、重要です。それよりも豊能町に来てもらいたい、それは一般の若い世代とかに来てもらいたいですよね。そしたらそこに向けてのセールスというものは重要だと思いますよ。ぜひともそういったところに自分の顔を出して、いろいろなところに行ってアンケートをとる、そういったことをしていただきたいと思います。

トップセールスということで町政運営の中にも書いてましたけど、豊能町の立地は川西市や亀岡市と隣接していると。新名神のインターも近いから企業を誘致したい。それは所信表明でも書いてました。そうしたら、今まで半年経ちました。どれぐらいの企業を回られてどんな感触を得たのかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

一つは、具体的な企業名はなかなか上げられませんが、ある企業に話をしにいった、どういったところであれば豊能町に来ていただけるのか、そういった具体的な話はさせていただいているところです。その企業から、ほかの企業でこういったところなら、いけるのではないかとか、そういった話は具体的にしております。また本町にもその方は来ていただいておりますし、私も出向いたりとかして、そういった話はしているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

1社だけということでもいいんですかね。僕は、いろいろなところに行かないと、いろいろなところに行って数を打たないと僕は当たらないと思ってますけど、その1社だけと考えていいのか、ほかにこれから、その回答を待つのか、ほかにいろいろなところへ行くのかお聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

1社だけではございません。何社かと話をしております。またその1社からほかのところを紹介していただいたりとか、そういった広がりも、今、広がろうとしているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

そうしたら、その結果はわかりましたらまた御報告をお願いします。非常に、豊能町において企業がない、働く場所がないというのは若者の定住化において非常にマイナスな面であります。ぜひとも企業誘致なりを率先的に進めて、ぜひとも実現させていただきたい。

まだ時間がありますので若干進めたいと思います。

情報発信、まちおこしについてですが、不要品のオークション。私はリサイクル情報板と不要品のオークションなんです、不要品のオークションというものは町長も提案されてました。これを実際にやっていくお考えはございませんか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

不要品のオークション、これは私も、これはいいことだと思って提案しておりました。今現在できるかどうかということを実体的に見ておるんですけれども、一つは古物商の免許が要るとか、あとはさまざまな問題もある。また、実は私が見つけてきました伊根町というところが、平成24年をもってそのネットオークションをやめているということもございましたので、そういったところも総合的に勘案して、豊能町にとってやるべきことであれば進めてまいりたいと思いますし、その他ほかにいい方法があればまた考えてまいりたいと思っています。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

今、町長が御答弁申し上げたとおりでございますが、町としましては、不要品じゃなしに、御自身が価値があると御判断されたものであるなら、御自身でそういうガレージセールなりオークションなりという手法をとっていただくのが本来であろうというふうにご考えておるということでございます。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

ぜひとも、最後になりますが、町長には、今回の予算を見ても余り田中町長の色というものがまだ出てないような感じがします。やはりこれから自治体間で人口の獲得競争、日本全体の人口が減っていくわけですから、いかに人口を獲得していくのか、これが重要になってまいります。ぜひとも他市町村にはない特徴のある施策を早急につくっていただきたい。まだそれはほとんどできてません。ぜひともそこをお願いして、私の質問を終わります。

○議長（福岡邦彬君）

以上で、町政会の一般質問を終わります。

次に、豊能第一クラブの一般質問を行います。

持ち時間は、質問及び答弁を合わせて120分とします。

小寺正人議員を指名いたします。

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

5番・小寺正人です。

先ほど来、昨日の町政運営方針についてお話が出ておりますが、私も、「大幅に人口が減少しており、加えて税収の減少、超少子高齢化の中で、地方分権や広域行政への取り組みを進めるなど大きな転換期にあります。まさに自治体の能力の真価が問われる時代となっている。」と、こういうふ

うに述べられていますね。それから、「町政運営に取り組む私の基本姿勢は、住民目線で行政改革を行うことです。そして、職員の意欲の高揚と活力ある組織づくりを進めることが肝要であると考えていますので、職員を対象に所属の垣根を越えた提案の募集を行い、町の活性化などにつながる提案を積極的に町政に反映させます。」と。四つのスローガン、「積極的に！節約意識と経費の削減」それからさらに、「住民の皆様におかれましては、このような取り組みを効果的・効率的に進めるにあたり、「オール豊能」として一体感のもと、協働のまちづくりに御協力をお願いします。」と、こういうふうにも初めに述べられて、むすびに、さらに「先見性とスピード感を持ち、広域行政も推進しながら、住民の皆様と共に協働によるまちづくりにを進め」「人とみどりが輝くまちとよの」の実現に向けて邁進します。」また、「今まで以上にコスト意識をもって業務に取り組み」と、こういうふうにも述べられて、最後に、「これからの町政運営にあたりまして、議員の皆様の一層の御理解・御協力と、住民の皆様の積極的なまちづくりへの参画を心からお願い申し上げますと、こうくられたわけです。

私がこれにぴったりの案を、今、提示したいと思いますので、ぜひこれを参考に、テスト的にやってもらえたらなと思いますので、今から申し上げるのが情報処理のクラウド化です。これは必ずやらないといけないこと。それで、確実に経費の削減、何千万円、こういう単位で削減が可能となります。

とっておきのテーマなのでプロジェクトチームを組んでぜひおやりになったらと思いますが、いかがでしょう。

○議長（福岡邦彬君）

質問の趣旨がちょっとわかりにくかったと思いますので、申しわけありませんが再度質問を明確にさせていただきますか。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

クラウドはわかったんですけど、クラウドを採用するかしないかということによっていいんですか。

○5番（小寺正人君）

これをテーマに取り上げたらどうでしょうと。

○議長（福岡邦彬君）

それは質問ですか。提案ですか。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

提案の趣旨がわからないので、提案で具体的に、ここ一問一答の世界でございますので、できたら質問をきちんとしていただいて、それで答えてもらおうということで、よろしく御理解ください。

○5番（小寺正人君）

もう一度、そうしたら。

それで私もいろいろなところを視察して、先般も1週間ほど前に奈良県へ出かけて、資料も取り寄せました。そうすると奈良県では経費シミュレーション、実際にもう行ってるんですけども、7市町村が共同でクラウド化を推進している。これはNECのシステム。もともとは京都電産という会社のシステムですけど、これを取り上げた。そしてこういう資料で出してるわけですけど、大体いろいろ、A町、B町、C町とありますけれど、56%、平均です、56%の削減になると、このように書いて出しておられます。ぜひとも、私が何度も何度もこれを取り上げてると思うんですけど、どこまで考えていただいているのか。ちょっと進捗を教えてくださいませんか。

○議長（福岡邦彬君）

小寺議員、具体的に、情報処理システムのことをおっしゃってるんですか。それを言ってもらわなければ全然わかりませんので。もうちょっと具体的に言ってもらえますか。

○5番（小寺正人君）

情報処理システム。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

情報処理の方法としてクラウド化ということで、以前から小寺議員と一般質問等で論議をしているところでございます。これにつきましては、大阪府内でも各そういう小規模の団体と申しますか、人口大体30万人未満のところはクラウド化をすれば、経費が比較的安く上がって効果があるというようなふうには、一応国のほうでは言われてますので、今現在市町村の中で、去年とことしにかけてクラウド化に対してどういう問題があるかとか、よい点悪い点等をいろいろと研究をしております。今年度中にはその結果が出てくるというふうに思っております。豊能町からも職員を1名派遣しております。その中で今、論議をしているところでございます。今度国のほうでも総背番号制と申しますか、そういうようなことも考えられておまして、平成27年の1月からですか、そういう、年数まではちょっとあれですけども、そういうふうに今、国会のほうで審議されてるということになっておりますので、当然それに向けてクラウド化で行うかどうかというやつについては、今後真剣にデータ、国からの情報、それから大阪府等のやりとり等でどういうふうにしてやるかというのは真剣に今後は取り組んでいかなければならないというふうに考えているところでござ

います。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

今、審議が2月26日に始まったそうです。それで平成28年1月からそれが導入されると、このように聞いております。

それで、これも提案してきたことなんですけれど、任期付職員の採用ということは何度も、CIOの件ですけども、CIO補佐官というらしいですね。これについてはどこまで進んでいるのでしょうか。検討されましたかね、まず。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

CIOと申しまして、最高情報責任者というふうに言われてるというふうに聞いております。一般に経営戦略に沿った情報機器とかITの投資計画の策定などについては、責任を持った方が企業等では行われてると。国においても各省庁にそういった方がおられるというふうに聞いています。

ただ豊能町の場合、そういう期限つきの、非常勤等で、そういうCIOの専門的な方というのについては、今現在は考えておられないという状況でございまして、今後そういうクラウドとか、そういうことを相対的に検討せなあかんというやつについては、町の情報化の推進本部という中で一応検討はしてまいりたいというふうには思っておりますけれども、CIOを入れて、例えば2年間検討するとか、そういうようなことについては今のところ考えておられないという状況でございまして。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

C I Oの任期付職員というか、これには条例の制定が多分必要になると思うんですけど、そういう条例は豊能町にはあるんでしょうか。任期付職員の採用に関する条例。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

任期付の職員の条例というやつですけれども、それは今、僕の考えるところでは必要がないのではないかなというふうには、ちょっと思っています。例えば嘱託で週4回、そういう専門的な方に来ていただくというようなことについては、それぞれの職種を持っておられる方で任期付の方、例えば2年間週2回とか、そういう条件をつけて雇用しているということもございますので、そういう条例については必要がないのではないかなというふうに、今のところ思っているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

今おっしゃったのは臨時職員の話ですね。臨時職員じゃなしに任期付職員。5年ですよ、5年を限りにできると。大体3年で契約して延ばしても5年というような条例をつくってやらないといけないということみたいですね。今おっしゃったその臨時職員の場合は、やっぱりもう退職された方とか、そういう方にどうも限られるようで、バリバリの人を呼ぼうと思うと、公務員の身分でその期間を保証すると、そういうのが普通らしいです。そうしないとだめだそうです。実際につくっておられるんですかね。つくってないということですか。どち

らでしょう。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。簡潔に。

○総務部長（乾 晃夫君）

そういう方のための条例というのは設置はしておりません。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

それじゃあ、そういう人を招くんだったら、早くその条例をつくってもらって、とにかくやれば必ずできる話なので、必ず削減もできるし。今、町長がおっしゃったところは全部これできます。確実に。ぜひおやりになることをお勧めします。

それじゃあもう時間がないので、ちょっと飛ばしながら行きます。次は、たくさんあるんですよ。水道事業についてですね。大阪府、大阪市水道の統合に伴い、水道事業の統合に伴って、今、進んでると思いますね。基本的なその合意内容とか将来像をちょっと簡単に説明していただけませんか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

お答えいたします。

大阪広域水道企業団と大阪市の水道事業統合につきましては、新聞でいろいろと掲載されていると思いますけども、本年1月25日に開催されました府内42市町村、大阪市を除く首長会議がございました。その中で、区域1水道に向けた統合条件について審議をされております。

一つ目としましては、事業団と統合する際は市町村の資産は企業団に無償承継する。

二つ目として、企業団は技能職員を持たない。

3番目といたしまして、企業団は外郭団体を持たない。

4番目として、土地の利活用として水道事業で使用しないという判断及びその土地の売却については市町村と十分協議した上、企業団が行う。と、その4点について承認されました。これが基本的な条項でございます。

今後につきましては、この4点が承認されたことにつきまして、今度、大阪市の市議会のほうでこの議論を進められていくという状況で、大阪市の市議会のほうで今現在協議をされているというような状況で思っております。

大阪府内の市町村につきましては、それを受けてからの話になると思いますので、結果的には6月以降の議会でも説明をできる状況にはなってくるのかなと、今の現状ではそう思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺議員、この問題については本会議の最終日の3月22日に受けることになっております。それをお含みおきの上で質問をお願いいたします。

○5番（小寺正人君）

そうすると、企業団が大阪市を含めて一つになると、そういうことですね。そうすると、その水道事業というのは、その企業団に移ってしまうと、そういう意味ですかね。それまずお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

水道事業につきましては、企業団と一本化されますので一つになっていくというよ

うに思いますけども、会計につきましては、用水供給事業と末端給水事業という2本立ての会計で運用されるというような方向で今は検討をされております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

そうすると、その身分も企業団に移ってしまうということですかね。今、水道事業に11人でしたっけ、いてはる人は、企業団の職員になってしまうと、そういう意味ですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

職員の身分につきましても、企業団職員としての身分になりますので、そちらに移るといことになると思います。ただ、組合の関係もございますので、その辺は十分協議をした上でということなので、個人の考え方もございますので、その辺も職員とは十分調整した上ということになると思います。今、企業団におられる職員につきましても、大阪府営水道ということで府の職員でございました。そこから企業団に移っておられますし、そういうと同じ状況になると思っております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

そうすると、豊能町の人件費も随分浮くという話になってまいるわけですね。

それでそういう状態で、今回情報処理システム構築費約4,000万円が予算計上されているわけですが、これは先ほども検討してもらいたいという、そのクラウド

でなぜやらないのか。やらない理由をちょっと教えていただけますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

お答えいたします。

まずクラウドでやらないということではございません。今年度につきましては、今の行っている方法のメーカーいろいろございますけども、そのメーカー数社、またクラウドを扱っているメーカーを水道のほうに来ていただきまして、デモンストレーション、またヒアリングを行っております。決してクラウドを排除するとか、そういうような考え方ではございませんし、クラウドの内容についてもヒアリングした中で、またそのメーカーにつきましても町の方針なんかを伝えて、できるかできないか、そのような判断をしていただくというようなことで、検討は相手方の方もしていただいておりますし、来年度、平成25年の予算上げておりますけども、その中でも入札関係に入っていただくのはいいことだというようには思っておりますし、それができるかできないかの判断はメーカーによると思います。決して排除しているようなことではないですし、だめだという思いはございません。ただ、料金システムについてはなかなか難しいというようには聞いております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

私も奈良で、これはやってないんですかと聞いたら、やっぱりやってるという話でした。だからこの4,000万円が仮に半額になったとしたら大きなコストダウンになるので、ぜひともクラウドをやってくださ

いよ。大幅に、ちょっとのコストダウンじゃなしに大幅なコストダウンにきつとつながると思います。

それから、予算の計上しておられるので、会計資料ですかね、これを見てこの前からおかしいおかしいとずっと思ってることを、ちょっともう一度言ってみたいので、通告はしてると思いますけど、引当金というところがありますね。これ引当金を何で一つにしたんですかね。二つあるはずですよ。一つにしてませんか。退職給与引当金と修繕引当金、二つあるのをなぜ一つにしてるんですか。

○議長（福岡邦彬君）

水道の件でよろしいですね。

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

回答いたします。

引当金制度でございますけども、退職給付引当金の計上の義務化ということで、今現在は退職給与引当金、また修繕引当金という2種類で行っておりますけども、平成26年度以降、給与引当金また特別修繕引当金、貸倒引当金についてもその要件に該当するものは義務化するというようになっておりますので、その3点については、その状況によりますけども、義務化して積み立てていかなければならないというような状況になると思っております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

今お話をしたのは、引き当てておられるのはわかってるんですよ。ただ一つの項目にまとめられてるのはちょっとおかしいのではないかと思うんです。だから二つに分けないといけないんじゃないんですかと

ということです。

引当金というのは強制的に引き当てないといけないものだと、これ義務的なものやから逃れることはできないんですよ。引当金を引き当てたときに、もう費用を計上してるので、修繕が発生するたびに費用を充てたらだめなんですよ。それを充ててるでしょう、ずっと。だからこの平成10年からずっと調べたら、ずっと上がっていくんですよね。退職給与引当金も修繕引当金もともに上がって行って、どこかでぴたっととまっているんです。修繕積立金は平成16年度でぴたっととまっているんですよ。そうしたらこれを取り崩す、これ引当金をなぜ引き当ててるかという、使用しなかったら引き当てられないんですよ。わかっています。これは戻さないといけないんですよ。利益にしないといけないんですよ。このままとめることはできないんですよ、使わないんだったら。使うことを前提にして引当金は引き当てるもの。ところが全然、これとまったままになってるじゃないですか。これはだから法的にいったら違法なんですよ。だから正しい処理をしたら利益は、今は損失が出てるわけ。損失はもうちょっと小さくなるんです。それが一つ。それちょっと違法ですよという話。

それからもう一つ、資本金が毎年、毎年ふえていってるんですけど、これどういう理由で資本金が勝手にふえていくんですか。それちょっと理由を教えてください。

○議長（福岡邦彬君）

小寺議員、一問一答ですので、二つ、ちょっと困ると思うんですけど、どっち先にしましょうかね。

答弁を求めます。

高上下水道部長。損失について、まずお答え願えますか。二つ結構ですので。

○上下水道部長（高 秀雄君）

1点目の修繕引当金でございますけども、町の考え方としましては、大規模な修繕があった場合にそれを取り崩して修繕をするという意味で、1億円をめぐりに積み立てをしておりました。先ほどおっしゃっていただいたように、平成17年ですかね、とまっていると。その付近で多分1億円近くになってると思います。それ以降は赤字ということもあって、引き当てをしないでつぶしていくという方向へ行っておりますけども、先ほどおっしゃっていただいたように、それを今度、修繕引当金というのはなくなりますので、またどこかで使用するということになると思いますけども、修繕する箇所自体はたくさんございますので、そのときにつぶして使用していきたいというようには思っております。それも今後ためるといようなことはございませんし、正規の費用として使用していきたいというように、料金を少しでも抑制するためにはそれをつぶしていくということが必要だというように思っております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

とにかく処理として違法な処理をしていると。だから欠損が水増しされてるということ言ってるわけですね。修繕引当金というのは費用じゃないんですよ。これは負債でしょう。引当金の取り崩しということになって、費用でも何でもなし。だからこれを正しく処理せずに赤字を上乗せして値上げに持ち込もうという魂胆が見えるということです。それから、まあいいです。

（発言する者あり）

○5番（小寺正人君）

それ認識してはります。まずほんなら認識してるかどうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。違法な処理が行われているか。決算を水増ししているか。そういうことも踏まえてお答えください。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

会計処理の関係ですけれども、決して違法な方法ではないというように認識をしています。

また赤字を水増しするという方向へ持っていったら、意図的にそんなことをやってるということでもないと認識しております。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

いや、そのものですよ、これ。

それと、ちょっと飛ばしますね。減資ですね。減資でもってその損失を減らすことは可能ですか、不可能ですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

お答えいたします。

減資を解消するという事は、議会の議決を得て行うということは可能です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

そうすると、減資によってその損失を消すという可能性はあるということですよ。今たくさん積み上がってきて、どんどん積み上げていってるわけですけど、減資によって消してしまうというのは、資本金がどんどん勝手にふえてんねやから、これを減らせば済む話ですよ。ずっとふえていってるんですよ。どんな理屈でこれふえているのか。資本金が勝手にふえる

という理屈はどういうあれで処理、今してはります。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

資本金の増加につきましては、まずいろいろな要件があると思いますけれども、一般会計の繰入金を繰り入れてますので、その辺で資本金がふえていっているというように、一つ思っております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

これはまたもう一回やりたいと思います。それからちょっと人事について、ちょっとどうしても言っておきたいので、1月24日ですね。特別職人事に関して、副町長は大阪府から招聘したいと、教育長は文部科学省から招聘したいと、町長みずから全議員に説明をされたと思います。先般、副町長招聘の件は大阪府から断られましたと、そういうことですね。教育長の人事はどこまで進捗していますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

教育長の人事につきましては、文部科学省からこの方ということで御指名をいただいて、電話ですけれども、直接お話をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

教育長は文部科学省からどうも招聘でき

そうと、そういうことですね。

そして問題は、3月末に退職者が多数出るといふふうにいるわけですが、部課長級以上の退職者、これはどのような階級の人が何名ぐらい出るのでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

部長級が4名、課長級が2名、その他1名でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

そうしますと、幹部職員が大量に退職するわけですから、4月になるとたちまち大幅な人事異動が必要ということになりますね。この人事権、これは特別職じゃないんですから、首長が勝手に決めればいいわけですけど、その権限行使するときに、田中町長はその職員の人心を把握しているのかどうか。これはどうなんですか。把握できてるんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

私は把握できていると思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

大丈夫だと、そういうことですね。

それと、今、総務部長もやめられるというのを聞いてるんですけど、ガバナンスという件をとったら、行政のピラミッド、組織は、ガバナンスがちゃんと機能するの

かどうか、それをお伺いしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

当然、ガバナンスが機能するようにやっています。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

私は、私の私見でございますけれど、今、豊能丸という客船があるという仮定で見たら、私らから見て、航海術を知らない船長がブリッジに陣取っていますと。そのときに一等航海士を募集したけど、一等航海士は集まらなと。二等航海士は間もなく下船します。水先案内人はいない。これは、船は人が動かしていくものですよね。じゃあこれ、誰でもいいんですかということが、物すごい心配なわけですけど、どうなんですかね。田中町長、大丈夫ですかね。ちょっとお答えいただけますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

大丈夫です。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

大丈夫ということで、安心しました。

前町長は、庁舎を一元化することによって160人体制を目指すんですけど、そういう考えを持っておられたわけですよね。田中町長は、庁舎一元じゃなしに機能一元化と、こういうふう主張されているはずですね。そもそもその機能一元化とは、どのような

ことを言ってるのか、ちょっと教えてもらえますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

まず、職員や住民の皆様から、本町で主に実施すべきサービスで、支所で実施すべきサービスについて、支所でやってほしいようなサービスについて意見を聞き、それぞれのニーズに即したサービスができるような体制をとっていきたいというふうに考えております。また、本町で支所で同様のサービスを受けられるように、必要なサービスについて聞いて、機能の充実を図ってまいりたいということで、機能の充実を図ると。機能の統合というか、必要な機能を必要なところに配置して、機能を図ってまいりたいと。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

一元化というのは一ところに集めると、機能をね、こういう意味じゃないんでしょうか。じゃないんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

一元化より機能統合ということですので、一つに集めるという意味ではございません。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

それから、12月議会の一般質問の中で、職員は何人ぐらいが妥当であるかという質

問に対して200人体制と、200人が妥当だと、そういうふうに見解を表明されましたよね。これは200人で妥当なんだと。前町長は160人にするんだと、そのために庁舎を一元化して一つに集めて減らすんだということを明確に述べられてたわけですけど、200人体制でもつというのは、どういう試算に基づいて200人っておっしゃったのか、教えていただけますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

この200人につきまして、まず最初に平成25年度、平成26年度で事業の評価をするということを申しまして、その中で人数とかについても把握していくということで。例えば聞かれたらということで200人というお話はさせていただきました。ですので、これから精査をしていくということです。

その200人の根拠といたしましては、これは漠然としておりますけれども、平成23年度の大府下の町の職員と人口の割合で平均を出せば、ほぼ豊能町は200人程度になったので、それでほぼそうではないかと。ただ、これにつきましては、これから平成25年度、平成26年度で考えていくということになります。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

そうしたら200人というのは変わるかもしれないと、そういうことですね。これも心配事ですけど、その200人体制で財政が本当にもつのかなと。もたないと思うから160人にしようと言わはったわけやからね。もつのかなという。どう

ですか、200人でもつと思いますか。財政がですよ。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

これから、平成25年度、平成26年度と事業の評価をしていきますので、その中でできるような形で考えてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

そうしたら、考え直して数が減るということも大いにあり得ると、そういう御発言でよろしいわけですね。もっと減らすと、かもしれないと。どうですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。簡潔にお願いします。時間がありませんので。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

平成25年度、平成26年度の評価で決めていきますので、そのときに減る場合もあるかもしれませんが、それはその評価に従ってこれから決定していくところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

小寺正人議員。

○5番（小寺正人君）

以上で私の質問は終わりにします。

○議長（福岡邦彬君）

この際、暫時休憩いたします。

再開は午後2時45分といたします。

（午後2時32分 休憩）

（午後2時45分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、川上勲議員を指名します。

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

御指名をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

きのう、実は帰ってから、きょうから実況中継があるということということで、これは散髪をしとかないかなと思って帰ったところ、孫が晩飯食わへんかというて電話してきたので、そっちのほうがあえかなと思ってそっちへ行ったところが、散髪もせずきょうの勉強もせずでございますので、質問内容はあっちへ飛び、こっちへ飛びすると思いますけれども、的確な答弁をよろしくお願いいたします。

まず、国家観と地方観について。この内容で町長に質問をさせていただきます。

去年の総選挙におきまして、我が自由民主党が国民の支持を得まして、300人近い代議士が誕生いたしました。そして、それまでの3年余りの、何も決められない民主党の政権が3代続きました。自民党の安倍内閣が誕生いたしましたけれども、安倍内閣は最優先の課題として、経済対策、東日本の大震災の復旧・復興、外交防衛等の緊急の課題を政策とされまして取り組まれておられます。

まず、経済施策におきましては、デフレ対策と円高対策のために、公共事業、金融緩和、成長戦略のいわゆる三本の矢として大胆な補正予算を組まれました。その結果、わずか2カ月余りで円安効果と株価の上昇があり、安倍内閣の支持率は70%を超すという支持率になりました。安倍総理はまさしく確かな国家観を持った総理でございます。今日の日本のリーダーとしてふさわ

しい政治家の一人であると私は確信をしております。

ところで、同じく昨年9月に、投票数の約65%獲得されまして、新しく田中豊能町長が誕生したところでございます。それから今日まで5カ月を過ぎ去りましたけれども、豊能町のリーダーとして、財政再建とダイオキシンの処理など最優先の懸案事項と、そして住民サービスのために日夜努力をされているものと私は確信をいたしております。

そこで、田中町長の人物像と行政に対する能力を豊能町の住民に知っていただくために、まず、まことに失礼とは存じますが、この議会の公開された本会議場で議論をしていきたいと思うのでございます。

私の座右の銘は、酒を酌み交わしながら天下国家を語るということでございますが、最近酒がちょっと弱くなりまして、飲んだらすぐ寝てしまいますので、きょうはしらふで議論をしていきたいと、このように思いますので、よろしく明確な御答弁のほどお願いいたします。

まず、国家観と地方観について。

田中町長は豊能町の住民であると同時に、大阪府民であり、日本の国民でございます。当然、日本国民として町長という公人である以上は国家観をお持ちのはずであると思っております。ちなみに私の国家観というのは、四季、つまり春夏秋冬、この日本におきまして春夏秋冬のはっきりとしたこの国土の中で、自由と民主主義の美しい日本の国の中で、世界の有史以来、世界中に200近くの国家ありますけれども、類を見ない万世一系の天皇を中心とした国であり、そして理性と法による社会の秩序を確立して、主権在民を本分として、選挙制度によって選ばれた国会議員で構成される政府は、国民の安全・安心そして日本の国の安定のた

めに国土と領土、領海を守り、世界の国々の手本となる国をつくり上げるということでございますが、このことは私の国家観でございます。田中町長の国家観はどのようなものか御答弁していただきたいと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの川上議員の質問についてお答えいたします。

すばらしい国家観ありがとうございます。私もいろいろ、国家観というのはやっぱりいろいろな考え方があるのかと思っておりますので、この中でも特に私は豊能町のことを考えながらということで述べさせていただければと思っております。

まずはもう一段上に行きまして世界観からということで、要は思いとしましてはやっぱりシンクグローバリー、アクトローカリー、地球規模で考えて足元から行動せよということは昔から言われております。環境問題にしても。そうしますと、まず世界はどうか、日本はどうか、それから地方はどうか、じゃあ豊能をどうするのかというようなことが、やはり国家観、世界観を持つときにこういったことが重要になってくるのではないかと思っております。ですので、先ほど申されたような理念的なことではございませんけれども、私が思っておりますのは、まず世界観と国家観でございますが、まず世界観でございますけれども、今現在、アジアの人口が爆発して、世界の人口がすごくふえ続けていると、豊能町とは全く逆のことでございます。そういった事実でございます。またそういったことで、地球というのが限られているということで、要は資源も限られている、食料も限られている。御存じのように、だか

ら食糧も今、高騰していつている、資源も高騰していつている。その中で、まず世界でサブプライムローンでありますとか、要は実物経済以上の30倍の、実物経済とはかけ離れた30倍のいわゆるデリバティブと申しますか、そういった架空のお金が動くことによりまして、結局世界中がそういった架空のお金で振り回されてしまっているというのが一つの国家観ではないでしょうか、世界観。その中で、結局今はじゃあ本当に大事なものは何かというと、実物である金であるとか食料であるとか、そういったことがまた見直されてきているのではないかと申すのは私の世界観です。

もう一つは仕事についてなんですけれども、今は賃金が安い国のほうにどんどん仕事が行っていると。賃金が高い国の方については職業がなくなっていつているというような大きな流れの世界観があるのではないかと申すしております。

そういったことを受けまして、まず国家観でございますけれども、じゃあ日本はどのようなかとい申すと、人口においてはやはり世界とは違って減少してきて、超少子高齢化をしてきています。これが1点でございます。それと食料、食料につきましてはやはりこれから、御存じのように食糧は自給率が40%ということで、今、アベノミクスで当然経済対策、まさに今、川上さんがおっしゃったように、今、円安のほうに動いております。円安になるということは、食の自給率が低いということは、外国から食糧を輸入しなければいけないと。そうすると円が安いということは食料は高くなってしまいます。非常にそういったことが今、起こっているということがございます。

それともう一つは、日本でも一旦バブルが崩壊したということがございまして、このバブルの崩壊とい申すのは、私が申すお

り申すのは、結局これもやはり先ほど申しました世界観の架空のお金、デリバティブ、これが原因で私は崩壊させられたのではないかと申すしております。要は日経225とい申すもの、以前は株式は現物、信用取引、そういったものしか扱えませんでしたけれども、これバブルが崩壊する、たしかバブルが1989年の12月29日に最高値を更新した。そのわずか実は3カ月前に日経225のオプション、その約6カ月前に日経225の先物取引、こういうものが開設されたとい申す。これは何かとい申すと、まさにデリバティブです。1の1,000倍、要は1円動けば1,000円動くというようなデリバティブの中で、これで日経225とい申すもので、結局上がればもうかる、下がれば損する、誰かがプラスかマイナスかとい申す、本当にゼロ・サムゲーム、こういったことができるようになって、これで結局日経225を暴落させられることによつて日本の株価とい申すのは暴落させられたんじゃないかと。ですので日本も御多分に漏れず、こういう架空のお金、こういったことで過去に空白の10年とか15年とか、そういったことに巻き込まれたとい申すのではないかと申すしております。

また労働力につきましても、先ほど申しましたように、なかなか日本の賃金とい申すのは世界的に見てもやはりレベル的には高いとい申すことで、なかなか仕事も海外に出ていつてしまつてると、そういったことが今現在の私の国家観と世界観でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

ちょっと私の申す概念と。実態は今、町長述べられたような実態やけども、その国家観とい申す概念やね。それちょっとピン

トがずれてますので、次に地方観というのを質問しようと思ったけども、それも多分ずれるやろうと思いますので、次に2番目のリーダーとはというところで質問します。

端的に言えばリーダーとは、人間集団の中で人望と信頼、統率力、そして決断力を備え持った人をリーダーと言うという、私はそれが規定やというぐあいに思っております。先ほど永並議員とリーダーの件で随分やり合いされておられましたけれども、すなわち人望と信頼とは、集団の中でコミュニケーションを重ねるうちに仲間をつくり、そしてその仲間を自分に引き込み信任をされる人物になることであるということ、統率力とは、自分に引き込んだ仲間をひっぱっていく能力を持っている人物である。そして決断力とは、正しく迅速な判断をすることができる人物である。これがリーダーと言われるゆえんであります。以上のことを兼ね備えた上で、与えられた権限を十分に発揮してというのは、町長という権限を十分に発揮して、自信を持って行動するということが大事であるし、それはすぐれた指導者であると、いわゆるゆえんであると思いますので、田中町長はこのリーダーとはどういう人物を指すのか、その考え方をまず伺います。簡潔に答弁してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

地方観と豊能町がどうあるべきかということも用意しておったんですけども割愛させていただきます。

先ほどのリーダーとはということでございますけれども、私はリーダーというのは一言で言うと組織の可能性を最大限に引き

出せる人というのがリーダーではないかというふうに考えております。組織もそうですし、この町の可能性を最大限に引き出せる、こういったことができる方がリーダーではないかというふうに思っております。

その中で、要はその成果というのは、これも私、先ほど話しさせてもらいましたが、永並議員のときもさせてもらいましたが、私、リーダーというのは稲盛さんを非常に尊敬しております。稲盛さんの考え方としては、その成果というのは、考え方掛ける熱意掛ける能力というのがございまして、この三つを掛け合わせたものが成果というかそういったものになっていると。稲盛さんが最も大切に思われているのは、実は考え方ということでございまして、この考え方、これがプラスなのかマイナスなのか。マイナスであれば結局悪くいってしまう、幾ら頑張っても。プラスであれば当然いいようになる。このプラスの考え方を示せるのがリーダーではないかと。それが先ほど来から申しております、私が哲学ということで示させていただいた四つの考え方、こういったことはどこの役所でも必要かということで、この四つの考え方をプラスの考え方と私は考えておりまして、これを実現することによりまして、この豊能町を、可能性を最大限に引き出せる、そういったことを目指していきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

可能性を最大限に引き出しても、決断と実行力がなかったら、これはすぐれたリーダーとは私は言えないと思います。その辺がちょっと違うのかなというふうに思います。

日本の歴史上の人物でも、古い順番から言えば聖徳太子あるいは平清盛、源頼朝、足利尊氏、そして戦国時代になると織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、明治維新では吉田松陰あるいは坂本竜馬、そして1万円札の福沢諭吉、それから初代内閣総理大臣伊藤博文ですね。大東亜戦争におきましては吉田茂、岸信介、佐藤栄作兄弟、そして田中角栄、功を上げ名を遂げたすぐれたリーダーたる人物がおられますね。そんな中で、私、第95代内閣総理大臣、今は第96代ですね。第95代野田内閣、野田佳彦さんですね。この人もやっぱり今のこの日本の窮状を救ったすぐれたリーダーであると私は思ってます。というのは、この消費税問題に対して、必ず民主党は分裂するという事を承知の上で、自民党・公明党の党首に近いうちに解散すると、近いうちに国民に信を問ういう事を約束して、そして消費税をアップの方向に持って行って、日本国債に対する世界中の信用をつなぎとめましたわね。しかしその後、民主党は分裂して、野田総理という求心力は衰えましたが、その上で解散したら必ず民主党は負けるということは承知の上で解散されましたね。これはやっぱり今の日本の窮状、この状態を救った、私は素晴らしいリーダーであって、この先10年、20年あるいは歴史に名を残す、やはり総理大臣だったなというふうに私は真剣に考えてます。このことも一つのリーダー像で私はあると思いますが、田中町長のリーダー像、具体的にどのような人物であるか。また私が今、申し上げました野田総理の考えにどのような感想をお持ちか、答弁してください。よろしくお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長、別に挑発に乗らんと、きちんと。

と。田中町長。

○町長（田中龍一君）

2点あったかと思うんですけども、野田総理についてどう思われるか。多分、党の行く末よりは日本の行く末を思って消費税なりを実行されたということですよ。そういう意味では日本のことを思ってということは素晴らしい方だと思います。

もう一つはリーダーとはということ、リーダーというのは、先ほども申しましたように、私は稲盛和夫さんを非常に尊敬しております。それで稲盛さんが京セラフィロソフィということで、今もとの京セラにしても、現在のJALにしても、稲盛さんいわく、まずこの哲学があってこの企業を再建したというようなことをおっしゃっておられるので、それで私もちょっと見習いまして、何かこの組織を貫くような哲学がないかということで、今、4本出させていただいたということでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

そこでぜひお聞きしますねんけど、この前の9月の町長選挙のときに、9月までの池田町長は豊能町のリーダーとして資格がないと、私こそこの豊能町にふさわしい人物だと、そして選挙であなた当選されて、そしてリーダーとして、赤ちゃんからお年寄りまで住みやすい豊能町をつくるんだという意気込みで当選され、今日おられると思いますけれども、ぜひ聞きますよ。私こそ今の豊能町にとってリーダーに値する人物だと、あなたは思っておられますかどうかお聞きします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

私こそ必要だということで立候補させていただきまして、今も気持ちは変わっておりません。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

その評価は、自分ではその評価されてますけども、その評価は結果として、我々議員であり、そして職員であり、豊能町のね。そして豊能町の住民の皆さんが評価するということでございますので、その質問はこれまでにしときます。

次に、具体的に副町長とか教育長の提案の件は、これは置いときまして、具体的に平成25年度の町政運営方針と予算について、その中身についてまず聞いていきたいと思います。

まず、ちょっと確認をしておきたいと思えます。高濃度汚染物、つまりドラム缶の件は、この間施設組合の議会ありましたけども、施設組合で答弁した内容の範囲内で豊能町の議会も答弁するというぐあいに先ほどおっしゃってましたかね。それは当たり前のことであって、それはようわかりますねん。ただし、施設組合の管理者イコール豊能町の町長ですわね。現在この高濃度汚染物ドラム缶は豊能町にありますね。具体的に言えば、1月の初旬に高山自治会から確定書というか確認書というか、そういうもんが来たと思えますけれども、誰あてに、内容はどんなもんか、ちょっと担当の部局はどこか知らんけど、ちょっと答弁していただけますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

書類を持っておりませんので、明確にはあれですけども、たしか豊能町長あてで、期日の10月の末までに撤去をしてほしいということを確認書として出させていたという内容になってたというふうに認識をしているところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

そうですね。高山の自治会の方も我々も、豊能町の住民の方も、豊能町長田中龍一氏あての確認書ですわね。誰も管理者田中龍一あて違いましたわね、今の答弁では。皆そう思ってますねや。だから、確かにドラム缶を豊能町、能勢町以外のところで処理するには、こういう受け入れるところがありますとか、こういうぐあいに今、行動していますとか、そういうことは施設組合の答弁の範囲を超えてすることはちょっとぐあいが悪いかもわかりませんが、今のこのドラム缶について、保管をすることに対しては、やはり豊能町の町長として答弁をしていただくということが、これは普通のことですし当たり前のことやと思えますので、以下の質問にお答えしていただきたいと思えます。

まず、高山地区のドラム缶は、処理するのであれ、他の場所で保管するのであれ、期限までに搬出ができますか。お願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

まず、確かに豊能町長あてに来ております。ただ、施設組合というのも一つの自治体でございまして、その中にも議会がござ

いまして、その中で川上議員御存じのように、この前施設組合の議会ございました。その中でお話をさせていただいてるところですので、議員のおっしゃるように、確かに今は豊能町の中にありまして高山にあります。ですけれども、やはりここでその議会以上の発言をするというのは、やっぱりいかがなものかなと私としては理解しておりますので、やはり施設組合の議会の中での回答の範囲内でお答えさせていただきたいということで、それでいきますと、先ほど申しましたように、要は期限の延長も含めてお願いもしているといったところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

なら、もう一つ確認をしたいと思います。確認書を高山が出された以後、高山のほうに多分行かれたように聞いておりますけれども、それは誰がアポイントをとって、あなたはどのような形で高山地区へ行かれたのか、明確に答弁してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

組合の理事の方からお電話をさせていただいて、私はお話、要は延長についてお願いにいったというところでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

ちょっと今の答弁、私が聞いている範囲とちょっと違いますねんけどね。

そうしたら、あなたが行かれたときに、

豊能町長に対しての確認書であるのに、あなたは豊能町長田中龍一として行かなくて、管理者として行かれたんですか。向こうは当然、豊能町長が来られたと言ってますよ。その使い分けは、これはしてもええ場合と、したらあかん場合とあるわけですね。当然、豊能町長田中龍一氏が来られたというふうに地元は思ってますので、やはりこのドラム缶の件は、施設組合でどういう答弁されたかどうか知ってるけども知らんことにして、やはりこの件については一番大事なことですわ。というのは、行政というのは優先順位があるわけですね。例えばこのドラム缶の処理を早いことせんと、置くことによってどんどん、どんどん金がかかるわけですね。それも100万円、200万円ちやいませ。1,000万円、2,000万円の単位で出ていきまんねん。よくあなたおっしゃってるけど、税金を収るということをおっしゃってるけど、後ほど言いますけども、水道の料金の値上げあるいはまたごみ処理費のお金をいただくと、これも大事な施策ですわ。そうしてから以後に、例えばエレベーターの問題も必要。エスカレーターの問題、それからユーベルホールの件、これも必要。しかしこれは1年、2年辛抱できるわけですね。辛抱しても金要らんわけですわな。ところが初めに言うた分は、辛抱することによって金どんどん出ていきまんねん。優先順位つけてすることの一番大事なことがダイオキシンのドラム缶の処理ですわ。当然これは答弁をさせていただきたいと思ってますので、これ施設組合で保管の費用が計上されましたわね。その保管の場所はどこですか。答弁お願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

やはりこの話につきましては、施設組合の議会の中でというふうに私は理解しておりますので、回答は申しわけございません。

○議長（福岡邦彬君）

田中町長、ちょっと申しますけど、向こうの議会でしゃべったことについてはしゃべってください。

○町長（田中龍一君）

施設組合の議会でも、その話は出ておりませんでしたので、回答については差し控えさせていただきます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

この際、暫時休憩いたします。

（午後3時17分 休憩）

（午後3時18分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

まだ現在、未定でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

場所が未定ということで、その予算の計上はこれはあり得ん話ですわね。国の予算でも、各市町村からいろいろな要望が上がってきて、それを精査して国の予算として決めるわけですわな。場所もわからな、どこへ持って、どんなことをするのやわからずに、ただ漠然と計上されたんでっか。その辺はちょっと余りにもずさんな計上の仕方やと私思います。その場所、これはもう当然豊能町内での場所探しということであ

りますねんけども、今現在、これはもう豊能町の責任において場所を探さなあかんねんけども、その場所の予定は現在ありますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

場所の予定はありません。ただ、延長については申し入れたということは議会の中でもお話ししたとおりでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上議員、ちょっと申し上げますが、この件については予算特別委員会で、予算の中にもこの出資金の中に入っておりますので、そこで詳しくやっていたら、やっていたくようにお願いいたします。

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

場所の予定もわからずに計上されてましたわね。高山にも延長のお願い行かれています。これは二兎を追う者は昔から一兎も得ずとありますわね。高山で延長のお願いするのやったら別に、予算計上もなしにしつこく行ったらよろしまんがな。それは、うん言うか知りまへんで。知らんけども。

それで、12月に私これ言いましたけど、この件について場所を探すの、あるいは高山でオーケーもらうの、これは二兎を追ってもよろしまんがな。あなた一人でされるんでっか。やはりこれ、私12月言うけど、担当の職員をつけてもうたほうがよろしおまっせと言うたはずですわ。それ現在どないされてます。それだけお答えください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

趣旨がちょっとわからなかったんですけども、今、担当者は局長、課長、施設組合に5人の方はいらっしゃるということで、施設組合には今、5人いております。その担当職員の方は今、いているという認識でいております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

それは施設組合の職員はいてまんがな。施設組合の職員はいてるけども、この前の池田町長も、わざわざ副町長を2人置いて、その一人はダイオキシン対策、ドラム缶の対策だけに当ておられたわけですわな。この豊能町の中で、豊能町内で場所を探したり、あるいはまた延長してくれというのは、施設組合の局長ですって行っても誰が相手にします。誰も相手にしませんで。やはり豊能町の職員やからみんな話聞くわけですわ。だから豊能町の役場の中で担当の職員をつくったらいかがですかって12月に言いましたんや。その認識がなかったんてっか。ちょっと答弁してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

豊能町の中にも担当理事ということで2名いておりますので、豊能町の職員で担当理事ということで2名いております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

予算特別委員会で詳しく聞きますけど、ほならなぜ高山へ頼みに行くのに施設組合の局長ら、電話さしまんねんな。おかしいでっしゃろ、その辺。もう少しはっきりと指示を出してするのもリーダーの役目です。それをあなた、私はリーダーのあれがかなってないんかなというふうに判断をします。

次に、ちょっと順番違いますけど、ときわ台地区の側溝のふたの進捗状況についてお伺いします。

ダイオキシンの件はまた予算特別委員会でみっちりやらせていただきますので、よろしくをお願いします。

これ設置しなければならない総延長のうち、今年度まで、この3月までどれだけの延長が施行されたのか。あるいはまた全体の何%ぐらいなのか、ちょっとお答え願いたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

ときわ台地内の側溝ふたの設置の件でございます。今、本年度末での進捗状況は64%になる見込みでございます。それと延長の総延長は6,954メートルというふうになる予定でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

ちなみに、これも来年度の予算書に載っておりますけども、平成25年度の予定として大体何%あるいは何メートルかお答え願いたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

平成25年度当初予算に計上しております額は、一応事業費としまして2,100万円、延長で1,700メートル、これを行いますと年度末の進捗率は76%というふうに考えておるところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

これまだ、いつから始まったかちょっとわかりませんが、これもやはり先ほど言ったように、優先順位としてはときわ台住民の人のためには必要ですので、できるだけ早くやるべきだと思います。その施行上、これ問題点があると思いますけれども、どのような問題点があるのか、わかっておれば答弁していただきたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

昨年の今議会で同じ会派の議員の方から、いつまでかかってんのやと、もっと早急にやっつてはという御提言をいただいて、内部で検討しまして、去年の6月にときわ台の自治会に対しまして、もうここ数年でめどをつけたいという申し入れを行いまして、地元調整を積極的に取り組んでくれということをお願いしました。そして今現在、ふたかけに反対されている方は少数ですけどおられるというのが実態です。

それと、既存の自前でふたを設置されている方は、町としては基本的にそれを利用したいというふうに申し入れておりますが、町が入れるのやったら、わしこれもっとほかのところへ使うわというような方もありますので、それらの調整はまだ若干は残っておるといふ計画であります。このような問題がまだ若干残っておるといふことです。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

そういう問題点もあろうし、もう一つ、よくこの石積みの中にサツキとかツツジとか植えてますわね。それは側溝の横、出てまっしゃろ。ふたしても何の意味もないわけですね。やっぱりそれもその持主の方と話し合いして、道が狭いよってにやっぱりもうざっと切っていただくということをしなれば、ふたかけてもそのふたが何の意味もせんかったら、お金をかけるだけもったいないですので、そういうようなところもちょっと考えてしていただきたいというふうに思います。

それから次の基礎的財政収支について質問をさせていただきますけれども、これを括弧書きでプライマリーバランスという表現してますけど、ちょっと意味合いが違うというようなことも指摘をされてきてんですけど、私は要するに、単年度に入ってくるお金ですね。いわゆる町税、いわゆる国の交付金、補助金、そういうもの。だから貯金の取り崩し、財政調整基金の取り崩しとか、あるいは公債とか、その返却の金とか、そういうものを度外視して、実質、入ってくる金と実質出ていく金、このバランスをとらんことには、財政調整基金を取り崩したりなんかすると、もうなくなれば取り崩しできないのであって、赤字の方向にどんどん行ってしまうということですね。平成25年度の基金繰入金、これ約5億円ですね。そのうち財政調整基金、これは何でも使える金ですね。これが来年2億4,000万円余り計上されてますわね。たしか今年度、平成24年度はゼロやったはずですね、財政調整基金は、当初はね。それをことし、数字が間違ったら指摘くださいよ。これ計上された。なぜ、財政調整基金2億4,

000万円ぐらい計上されてるけど、なぜ計上しなくてはならなかったのか答弁よろしくをお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

さっきの初めのプライマリーバランスというのでは、一般的には歳入歳出の総額から地方債と、入は地方債、出は公債、借金を返す金を引いたものが収支均衡であれば、健全な一定財政が保たれてるという、通常一般的にそういうふうに使われております。川上議員の言われるように、一番端的に言えば、そういう必ず入って来る金、必ず出る金で賄えれば一番いいんですけども、例えばものが、例えば小学校を建設すると。これについては当然一般財源と国の補助金と地方債というのを借りますけれども、これについても、地方債についても将来にわたって負担すべき、今いてる人が負担すべきじゃなくって、40年例えば建物があるというやつについては、40年間使う人が、当然後の人が払っているという考え方で、そういう公債費というような形になっております。

今度の予算のふえたというやつにつきましては、前年度よりも、例えば光風台大橋、それから消防の庁舎等が前年度は年度割としては30%ぐらいしか、光風台大橋についてはもっと少なかったと思いますけど、そういったようなやつが今年度に入ってきたということで、私、今ちょっと去年の財政運営、当初は財政調整基金の取り崩しというのはちょっと今覚えてませんけれども、そういったような形で、去年の建設事業等に使った比率よりも、ことしのそういったような事業のほうが多くなったということで、財政調整基金として与えたということ

でございます。財政調整基金は何に充てるということではなくて、通常はその年の財政に不足を生じた場合については積み立てる。あるいは法的にも剰余金として余ればその半分は必ず次の年に財政調整基金に積み立てなければならないというふうに法律等が定められておまして、その年その年によって多くなる年、少なくなる年というのは当然出てきますので、それによって、それは財政調整基金で充てたり返したりというような操作をするというような目的でつくられた基金だということに思っておりまして、たまたまそういうふうになっておりますし、それから去年の当初はどうやったか忘れましたが、それ以前も財政調整基金というふうに充てておりますけれども、最終的には平成22年度以降では、財政調整基金という形で当初充てますけれども、結局は交付税とか税収とかそういったものが入ってきて、最終的には剰余金として余って、その半分以上を翌年度に財政調整基金へ積んでるというような状況で現状でございます。これが平成25年度、財政調整基金を取り崩さなければならないかどうかというのは、ちょっと進めて、もう少し交付税等の算定がきちつとならなければわからないというようなこともございますけれども、今、当初としては川上議員の言われるとおりの財政調整基金を当ててるということでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

今、部長の答弁はごもっともな答弁で、そのようにいけば別に何の憂いもないわけですね。ところが、例えば先ほど質問したように、ダイオキシンで何ぼ要るかわかりまへんわな、実際のところ。これ起債もで

きひんし、国の補助金というて言うてはるけども、恐らく無理やと思いますわ。そのときにこれ何の金使いまんの。それを考えた場合は、やっぱり入ってくる金と出ていく金、それは道路とか学校とか、あるいは将来にわたって豊能町の住民が使うものであれば、それは将来の人も税金を払ってもうて当然で、それは起債で十分いけますわ。それはそれで別の考え方で置いといて、この1年間単年度で実際のところ、入ってくる分と出ていく分が実際に必要なものとして計上した場合に、入ってくるよりも出ていくのがオーバーしたら、これは赤字ですわな。そういうことを常に考えてしていかなと、一般的に、せつかく前の町長が5億円も6億円も金ためたのに、去年の当初はゼロですわ。確かに調べたらゼロでしたわ。ことし全部は5億円弱やけど、結局2億4,000万円余りは財政調整基金で賄ってまんな。このことはやっぱり頭に入れて、優先順位をつけて、これはしていかないかん問題ちゃうかなというふうに私思ってますけども、そういう基本的な考え方は、町長、どないでっか。間違いですか、私の考えは。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

ただいまの川上議員の質問に対してお答えいたします。

基本的な考えはそういった考えです。ただ、今回、先ほど総務部長からも話がありましたように、今回、昨年度から消防庁舎でありますとか光風台大橋でありますとか、既に着工している事業がありまして、それが昨年よりことしのほうが事業費が大きいということも一定大きな影響になっているというのは事実でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

それも来年度の、予算特別委員会でまた質問しますので。

次に中学校の給食ですね。この件についてちょっとお伺いしたいと思います。

私は中学生の給食は必要ないと思ってまんねん。というのは、戦後の食糧難の時代であれば、これはやはり必要かなと思いますけれども、今はもう町じゅうに食料品があふれているわけですわ。子どもの時分はいざ知らず、中学生ともなれば当然子どもの体力に差が出てきますわね。この差が出てくる体力に合った食事、これはやはりそれぞれの御家庭でお母さんが、あるいは保護者の方が丹精込めてつくっていくと、これは私は必要であるんじゃないかなと。一律的な給食をして、一律的な生徒をつくっていくということは、ちょっと私には抵抗があるんですわ。その辺、教育長か教育次長かどちらでも結構やけども、ちょっと考え方、私の考え方が間違ってるのか、その辺ちょっと答弁してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

小川教育長。

○教育長（小川照夫君）

お答えいたします。

この学校給食につきましては、当時橋下知事の時代に、知事みずからが、大阪府の学力調査の結果を見るとかなり全国レベルよりも低い。その原因の一つがきちんと食事ができていないことにあるのではないかなというのが発端でこういう制度をつくりました。大阪府としては、府内で今、実施されている中学校の割合というのは13.5%です。これは全国と比較しましても、全国

の中学校の給食というのは既に85%に至っている。そういうところから、府として各市町村の小中学校に対して給食を導入するという、その政策の中で打ち出されたものでありまして、個人的にどうかということありますと、私としては、豊能町は実はお弁当を持ってこれられない生徒というのは5%です。大体20名ぐらいだったんですね。その子どもたちにはパンを買えるような仕組みもとっておりましたので、今までどおりでもいけるかなと思いましたがけれども、やはりそういった府の政策、それを保護者にも伝えたところ、保護者の中では約8割にのぼる保護者が給食に賛成ということでありましたので、これはその補助金の制度が平成27年度までだということもありまして、今回そういったことをかんがみて給食を導入することを考えたということでございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

それは、はっきり言うたら親のなまくらですわ。ちなみに子ども、生徒でつか、そのアンケートこの前たしか教育長に聞いたところが、六十何%が弁当をつくってほしいということだったと思いますわ。ということは、子どもはやはり親をあてにして、親のつくってくれる弁当のほうがあえわけですわ、子どもは。そうすることによって、今、社会問題になっている、平気で子どもが親を殺したり、親が子どもを殺したり、そういう現象起きてくるわけですわ。というのは、そういうやはり親のありがたみ、子どもの大切さ、そういうことがこの戦後の民主主義という、違った民主主義という形ではびこってきた、これが現在のええ例ですわね。私はそう思ってまんねん。だから、もう小学校の給食は、これはもう全国

に張りめぐらされているけども、せめて、大阪府はそういう方針か知らんけども、豊能町はそれはもう受け入れんと、独自でいくのやと。そうすれば親のありがたみがわかって、そして大きくなったら親をほっといてよそへ出ていくという子どもも少なくなる可能性もあるわけですわ。そやから今の親も、今の子どもの親、私らにしてみたら孫ですわな。私の年代も知らんけども、今の親、今、やじ飛ばししている人を初めとして、そういう親の教育がされてないから、そういうアンケートをとれば80%以上が結局給食のほうがあえと、手を煩わせんでも遅くまで寝ておたらええということにつながるわけですわ。これは私はゆゆしき問題や思いまっせ。そういうことを、今まさしく教育長も、多分私と同じ考えとちゃうかなというふうに承りましたので、私はこの件には反対しようと思っておりますので、そういうことでございます。

次に受益者負担、これについて質問をさせていただきます。

今まさに、先ほどの質問もありましたけど、町行政からこの恩恵を受けている御家庭、わかりやすいところ言えば水道水ですわ。それからごみ、これの処分ですわ。水道水はそれなりの受益者負担をされてますけども、ごみに関してはいまだに、大型ごみでつか、これは費用をとってますけども、家庭用の一般ごみ、普通のごみですわ。これは無料で町が引き取って処分してますわね。これ2年前から値上げするということであったけども、大型ごみだけがあって、一般のごみはまだ無料で続けていくと、しかし早い段階でこれはお金をもらわなければならないということがあったと思います。先ほどの、誰の質問やったか知らんけど、答弁聞いてますと、町長の答弁で、ごみの減量化対策をやってしてまんねんと、

しまんねんというておっしゃってましたわね。ならばこの減量化の件は、ダイオキシンの問題が出た平成9年から今日まで言い続けているわけですね。現実問題として現在そのごみがどれだけ減量になったか、全体のごみがね。ちょっとわかっておれば答弁してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

ごみ量の推移でございますが、今、手元にあるデータは平成17年度以降でございますが、人口が年々減っていることから、相対的にごみ量全体は減っておりますが、人口1人当たり、いわゆるごみでいう原単位という数字を使っておりますが、これは平成のごみの問題があって大きく減って、逓減傾向にあったのが、平成21年度以降は逆に逓増傾向にあるというのが今の現状でございます。我々としてはさらにごみの減量化のPRを積極的に推進しなきゃならんという状況だと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

町長、今の数字わかりましたやろう。以前から減量化対策でいろいろやってるわけですね。今、町長が幾ら減量化に力入れてまんねん言うたって絶対無理。それ可能であるかちょっと答弁してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

私が考えますのは、今回のごみの減量化の計画の中で、何年までに何グラムというのを設定させていただいて、この数値に対

して皆様一緒に努力して頑張りましょうと、もしできなければ、申しわけないですけども上げさせていただきますといった形で、住民の皆様と協働で一緒に力を合わせて減量化に取り組むというようなことは考えられるのではないかと考えております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

田中町長のリーダーシップを発揮してそういうことを、結果できたらこれはすばらしいリーダーや思いまっせ。しかしそれは絶対無理。今まで15年間ずっと取り組んできたのがかえってふえてるわけですね。人口が減ってるにもかかわらずふえてるわけですね。これを一番、ごみの減量化をする最善の方法はお金。一日も早くこれはしていかなあかん問題ですね。平成22年でっかな、池田町長が初めて提案されたのは。それからもう3年たちまんねん。ことしのこの予算計上するときのヒアリングいいますか、そのときにはこういうごみのお金をとる件は問題にならなかったのかどうか、ちょっと部長、その辺どないでっか。答弁してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

ごみの有料化の件でございますが、昨年の12月の議会で財政再建25項目の答弁の中で、町長はエスカレーターとユーベルホールとの見直しという発言をされてましたので、ごみの有料化の既存の方針に変更はないというふうに考えておりましたけれども、予算の段階の手前で町長と打ち合わせしますとお考えが違ったことから、我々としては今はまだ有料化は、予算措置計画

上は全く考えていないということでございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

町長、収入を図って財政を潤わすということも書いてますよね。エスカレーター、これ収入図れるんですか。ユーベルホールを4,000万円、大規模改修をかけて収入図れるんですか。豊能町が今なすべきことは、出ることを縮めて入ることを考えなアカンのですわ。出ることを縮めるということは、結局ダイオキシンの処理を一日も早くせないかん。入ることを図るということは、そういうことを住民の皆さんの負担していただいて入るように考えなければアカンわけですわ。その上でユーベルホールあるいはエスカレーターのこと、これは必要やから考えていかなアキマヘンで。それが私は豊能町長としてのすべき役目やし、それがリーダーシップやと思いますわ。大衆迎合主義でどっかの政党みたいにいろいろ花火上げて、できひんことを花火上げです。これはやっぱりトップと違いまっせ。そういうことをちょっと考え方、どないでつか、町長。ちょっと答弁してください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

答弁いたします。

まずそのエスカレーターにつきましては、やはり今あるサービスですし、当然これがなくなることによって町の魅力がなくなる。そうすると住民の方が転出されるということも十分考えられますので、これは生活上必要不可欠なものだという認識でしております。

もう一つはユーベルホール、こちらにつ

きましてもやはり町を活性化していく、住民の方、住民の活動をどんどん活性化していくって、頑張っていくというか、町の活性化のためには有形無形、要はお金で図れないようなものだと思ってます。やっぱり活性化するというのは非常に大事なことでありますし、この町でやはりあのユーベルホールがあるから成人式も行えますし、さまざまなことも行えます。あるので、あれをやっぱり有効に活用していくというのは、やっぱりこれから大事かと思っております。

それと先ほど申されましたように、当然入るを図って出をとという話で、当然ながらエスカレーターなりユーベルホールで何か広告を出すとか、何かそういったことは今後考えてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

関連質問が10分残すということでございますので、あと4分弱ありますねんけど、活性化図るのは大事ですわ。後ろにおられる傍聴者の皆さん、活性化していただきたい。しかし悲しいかな、納税終わってまんのや、ほとんどが。わかります。エスカレーターも平成31年まで動きまんのや。1年や2年や3年、調べるのは結構でっせ。140万円、50万円かける、これは結構やと思う。しかし実施は、先ほどの答弁やったら平成26年、平成27年度やりますという答弁でしたやろう。まだ先にできまのがな。そういうことはやっぱり考えてしてもらいたいと思いますわ。

それで次に水道の件ですわ。これも受益者負担で今してもうとるけども、この間の説明聞くと約6億円でっか、赤字が。これ1年間の供給する業務の経費に匹敵する赤字ですわね。先ほど資本金がふえるとか、

あるいはまた基金がふえておる、取り崩したらええとかいう議論ありましたけども、結局基本的にはどんどんふえておるわけですわな、赤字が。その上で大阪府が今、統合をやって水道事業団にしていくということを、今、大阪市の議会で議論してますけども、これが統一になって果たして豊能町にどれだけの配水の減額があるのか、あるいはないのか。その辺は大ざっぱで結構でするので、ちょっと答弁できたらしていただけます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

今の質問なんですけども、配水の減額、減量というのは意味がわからなかったんですけども、もう一度済みません、よろしくをお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

統合することによって、大阪市は損や言うてますわな。今したら損やと。大阪市が損やいうことは、企業団が得するわけですわな。得したことによって豊能町に大阪府の水道を持ってくるのに、その持ってくる水の値段が下がるんかということですよ。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

お答えいたします。

まず大阪市が企業団に統合されたとしても、先ほど少し触れさせていただきましたけども、企業団の中で用水供給事業の会計と末端給水事業の会計と二つに分かれる予定です。今、川上議員がおっしゃっていた豊能町に送ってくる水というのは用

水供給事業の料金になります。大阪市が入ったとしたら大阪市が運営するのは末端給水事業の会計になりますので、それで料金が下がるというようなことは考えられません。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

結局、基本的には料金が下がらんということですね。基本的に大阪府から配水された水の料金は下がらんということですね。ということは、年間の経費に匹敵する赤字があるので、やっぱりこれはもう一日でも早い、ことしからでも水道料金をアップする、この考え方は私は必要やと思いますわ。先ほどのごみと同じように値上げについてのその考え方、11月か12月のヒアリングか何かのときには出なかったんですか。その辺どないです。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

高上下水道部長。

○上下水道部長（高 秀雄君）

水道事業会計の赤字の関係なんですけども、新年度予算編成の中で町長と協議をさせていただきました。その中でも御存じのように単年度で1億円越えの赤字がまだできてくると、トータルですると平成25年度末6億円の赤字になるというような話をさせていただいた中で、水道事業としては料金改定を視野に入りたいという話をさせていただきました。町長のほうとしましても企業団の統合問題がございます。その状況を踏まえて考えていきたいというようなことでもございましたけれども、最終的には私たちの意見をある一定尊重していただいて、平成25年度一般会計の関係また人員の関係、そういうのと企業団の関係を見据

えた上で料金改定の検討に入っていこうと
というようなことでもございましたので、直ち
に行うということではございませんけども、
料金改定も視野に入っているというように
思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

しかし現実には、町長、現実は大阪府と大
阪市がどないになろうとも、今の答弁では
関係ないと。現実はやはり入ってくるよう
にせなあきまへんのや。私は今の考えで、
田中町長はちょっと豊能町のリーダーには
ふさわしくないなと思っておりますねんけども、
田中町長自身ふさわしくないと思っております
たら即刻やめることですか。どないですか。
これで最後に質問を終わりますので。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えします。

小寺議員の御質問のときにもお答えしま
したとおり、私は選挙のときから今も含め
てふさわしいということで思っております。
頑張りますのでよろしくお願ひします。ま
たいろいろ教えてください。よろしくお願
ひします。

○議長（福岡邦彬君）

川上勲議員。

○14番（川上 勲君）

以上で、関連が、ときわ台地区の側溝ふ
たはちょっと関連質問があると思ひますの
で、以上で終わります。私の質問を終わ
ります。

○議長（福岡邦彬君）

関連質問はございますか。

平井政義議員。

○11番（平井政義君）

それでは1点だけに絞って関連質問とい
いますか、ときわ台の溝ふたの件でござ
いますねんけれども、進捗状況、先ほど教
えていただきました。平成23年度では53.
8%のできだったのが、平成24年度、こ
の1年間で10%ふえて64%になったと。
そしてまた来年度の予算、これについては
76%になると。10%ずつふえて、やっ
と後半になって仕事の量がふえてきたのか
など。十数年来、本当にとまっておった、
とまっておるといよりもゆっくり進んで
おったんですけれども、やっとな年度の平
成25年度で76%のできになるというこ
とでございますので、まずこの辺の感謝は
申し上げておきたいと思ひます。

あと、前回の質問のときにもお願ひをし
ておたわけでございますけれども、ある
程度、二、三年でめどをつけたらどうか
という話もしておりました。そういったこ
とについても取り組んでいるようでござ
いますので、その辺の御回答をちょっとお聞
かせ願ひたいと思ひます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

昨年度議会の3月議会で平井議員から御
提言をいただきまして、その内容は過去1
0年以上かかっていると。当時私が将来的
にも約10年かかりますという予定を申し
上げて、議員から一挙に解決する方法はな
いのかということで、去年の4月、5月に
内部で協議をいたしまして、一遍地元
に、できるだけ早急にやりたいから話を持
って、いこうというふうに決まりましたこと
から、去年の6月、地元
に、ここ数年でというのは、年数はは
っきり申し上げませんでした

が、やりたいというので地元調整に御協力よろしくということでお話をさせていただき、今、私どもが考えておりますのは、平成27年度、ですからあと3カ年で完成させたいというふうに考えておるところでございます。

○議長（福岡邦彬君）

平井政義議員。

○11番（平井政義君）

もうそこまではっきり言っていただければ申し上げることはございません。本当にここ十数年来かかっておったこの問題も、ようやく終止符が打てるというか、住民の皆さんにも喜んでいただけることでございますし、できるだけ早く、平成27年度には完全に終結していただいで、この工事は終わっていただけるようお願い申し上げます。本当にここ三、四年の間、一生懸命早急に頑張っていたいただいたことを感謝いたしまして、私の関連とさせていただきます。ありがとうございました。

以上で、一般質問を終わります。

○議長（福岡邦彬君）

以上で豊能第一クラブの一般質問を終わります。

この際、暫時休憩いたします。

再開は、4時15分といたします。

（午後4時05分 休憩）

（午後4時16分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

皆様にお諮りいたします。

本日の会議時間は、議事の都合により延長いたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

御異議なきものと認め、本日の会議は延長いたします。

次に、公明党の一般質問を行います。

持ち時間は、質問及び答弁を合わせて80分とします。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員を指名いたします。

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

指名をいただきました、3番・公明党の高橋充徳です。4項目通知をさせていただいております。私、観点を変えまして、町政運営方針からではなくて、発展的に未来に向けての町あり方などについて質問をしていきたいと思っております。なお、途中で資料の掲示ございますけれども、これは議長に許可を得てますので、資料の提供もさせていただきます。

高齢化が進む中において、全国的にひとり暮らしでおられる方が非常に大きな問題となってきております。豊能町においても、私の知っている範囲においても、ひとり暮らしの方が、高齢の方がふえ続けております。昨年暮れに、「助けてな、ひとりで動けなくて困るとんねん。」というふうに私のところに電話がありまして、すぐ何事だろうと思って飛んで行きましたけれども、民生委員の方と御一緒にとったんですが、当地の民生委員の方がわからなくて、とりあえず私一人で伺ったわけですが、そのとき行ってみたら玄関にはかぎがかかっておりまして、チャイムを鳴らしても出てこない。どうしたんだろうということで、うろちよろよろしておりまして、隣の人を見つけて電話をしてもらって、やっと家の中の人と話すことができたという状況がありました。

そのとき強く強く感じたことは、民生委員の方たちがこういう方のところに訪問をされて、いざというときに何か処置をしなければいけないことが発生した場合におい

て、例えば門扉が閉まっておいて入れなくて、でも庭先まで入れる。窓をちょっとのぞいて見ることができるといったような、立ち入ったことができるというような規則があったらいいのになというふうにつくづく思ったわけです。その後、その方には当地の民生委員の方に来ていただいて引き継ぎをして返ってきました。

ほかにもたくさんあるんですけども、おひとりで暮らしておられる高齢の方の見守りについて、以前から、何年も前から何度も確認はさせてもらっておるのですけれども、先ほどのような事例があったものですから、平時において福祉関係者の見守りや安否確認は万全な体制はしかれているのか、たびたび聞かせていただきますけれども確認をしておきたいと思います。町としての取り組みは現在どのようにしているのかお答えをいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えをいたします。

議員も御承知でございますが、本町で実施しておりますひとり暮らし高齢者を見守り事業といたしましては、議員おっしゃいました社会福祉協議会、民生児童委員協議会と町の3者で連携して取り組んでおります災害時の要援護者支援事業の中での日常の見守りを希望される高齢者の方につきまして、民生委員の方々によります日ごろからの見守りを実施する事業と、またひとり暮らしや高齢者等に牛乳等を配達することで安否の確認を行う高齢者を見守り事業、ひとり暮らしの高齢者等の方に緊急通報装置を貸与することで、急病や災害等の緊急時に迅速な対応を図ることを目的とする緊急

通報装置貸与事業を実施しておりまして、見守りをやっておる現状でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

以前からのお答えの中でもそのとおり、3項目についての見守り活動をされているということなのですが、あと続きますけども、全国の報道では、亡くなってから数日たって発見されたという痛ましい事件がまだまだ後を絶たずに発生しておるわけですが、町内ではこのような、おひとり暮らしになって後で見つかったというようなことは実態はあったかどうか確認をしておきたいと思いますので、よろしく回答をお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えをいたします。

残念なことではございますが、今年度に入りまして2件の孤独死がございました。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

私も若干、情報は得ておったんですが、そういう関係におきましても、今回こういうふうな提案をさせてもらうんですが、先般大阪府から、地域支援事業、高齢者ささえあい事業の補助金をいただいております。保健師が訪問するのに小回りが利く便利な電動自転車を購入して訪問活動にしますという計画を立てていますが、他市町村の動きの中でこんなすばらしい活動をしていますよというのを二、三紹介したいと思うんですが、ちょうど1年前の3月8日付で厚生労働省から各都道府県の介護保険主管あ

てに出された文書の中に、地域包括支援センターにおける地域高齢者等の把握及び適切な支援のための関係機関との連携体制の強化についてというのが、長ったらしい文章ですが出されております。それを受けて各市町村で地域コーディネート推進事業、暮らしのネットワークの立ち上げ、安心生活創造事業、また地域包括ケア推進事業などの取り組みが各地域では活発にとり行われています。

また、ちょっと変わったのがありまして、底びき網方式というのが一つあるんです。本当は、これは定期的に訪問が必要とされる、さっき言った要援護者の登録制度ですね。それと関連するんですが、定期的な訪問を必要とされる、判断されるけれども訪問を受け入れない人ら、この人たちに対しても漏れなく把握しようという自治体もかなり多く出てきております。

では質問をさせていただきますけれども、平時、先ほどお答えになった災害時の要援護の、これの登録制度ですが、登録とはまた別において、平時において高齢者、特にひとりで住まいの方の安否確認、なかなか困難でできなかったことがあった場合に、その対応として、先ほどお二人亡くなったというお話がありましたけれども、こういうふうな対応ができないというような場合に町としてどのようにしているのか、これからどのようにしようとしているのか、この点をお答え願いたいと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答え申し上げます。

先ほど議員おっしゃいましたように、やっぱりこういう要援護者ですね。災害時要

援護者支援事業の中の登録者のうち、日常見守り希望者という方は今現在506人おられまして、その方には日常的な見守りをするんですが、そのときに民生委員さんが自分の受け持ちの担当地域へ行きましても、先ほど議員おっしゃいましたように、もういいんやという方はたくさんおられます。町としましては、今、申し上げました、冒頭に申し上げました3点ですね。民生委員さん、社会福祉協議会、町との緊密に連携した見守り事業、プラス牛乳等の事業を一層取り組んでまいりたいと思ってるんですが、また新たな取り組みとしまして、例えば郵便局の配達業務と連携をいたしまして、地域の高齢者等を日ごろから見守ることができないかなど、そこの仕組みづくりを検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

今の福祉部長のお答えの中で、新しい取り組みとして郵便物の配達ですね。これも本当に大きな見守り活動の一つだと思います。これは今までは公共的なものでしたけども、民間になってきてますので、かなり手を取り合って、地域に密着した郵便がありますので、発展していけるんじゃないかと思っておりますので、ぜひともその辺は進めていっていただきたい、このように思いますので、よろしく願いをいたします。

もう一点、総合計画の中で、地域福祉の推進というのがあるんですが、そこで各種団体との協働で、さりげない見守り活動の推進と要援護者のマップづくりを進めますというふうな計画が、第4条の中であるんですが、この進みぐあいというのは現在どこまで進んでおるか、ちょっとお答え願えたらよろしく願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えします。

数値的な進みぐあいというのは、今ちょっとお答えできないんですけど、計画にのせておりますので、逐一検証等を行いまして、今後の見守り活動に向けていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

文書に載せるだけではなくて、やはり実行力がなければ絵に書いたもちですし、特にこういう社会情勢がいっぱい出てきている状況の中において、この点、計画に上げているさりげない見守り活動、これもさっき郵政などと入ると思うんですね、配達の中でもさりげなく見守っていくという。それとマップづくりですね。マップづくりというのは特に何か事があった場合に非常に、誰がどこへ行って誰がどこへ行くんだということをすぐ指示できますので、こういったマップづくりは非常に重要と思います。これは個人情報もありますので、しっかりと管理をしていただいて作成を進めていただきたいと思いますので、町長もよろしく御指導をお願いしたいと思います。

それでは、災害発生時の要援護者等の名簿作成において、希望者のみを掲載するから、希望者以外も掲載するという自治体があるんです。最近、これは勝手に調べるといふふうに調べておるんですね。社会福祉協議会とか民生委員、児童委員の協議会等も協議を重ねて、なかなか協議を重ねなければできないということでもあるんですけども、しっかりとこういった心のこもっ

た住民サービスというのを、勝手に、おせっかいというのもあるんですよね。事故があれば最後は行政的な責任にもなってきますし、民生委員が動くときも動けない、それでは困る。最終的には行政の方が行って手を打たれる。ですから行政の方が動きやすいような条例といいますか、そういうものもつくっていかないかんのじゃないかなと私、思っておるんです。例えば高齢者安否確認条例、私が勝手につくって見たんですけども、安否確認条例、10条ぐらいで。これは町が勝手につくるのはいかんと思うんです。これについては民生委員の方、社会福祉協議会の方、それぞれ地元住民の方と協議を重ねてやっていかないと相当ハードルが高い条例だと思うんです。こういった、最終的に行政の方が民生委員の方たちに御苦勞をかけないで手を打てるようなシステムをぜひともつくっていただきたい。それとおせっかい条例ですね。勝手に調べて、町が勝手に、要するにおひとり暮らしのことを登録してくれよと言われるんでなくて、言われない人も、俺んとこ載せてくれるなという方も、こちらでおせっかいとして何かに載っけておくと。そうなりますと、何か事があった場合にはすぐ手が打てる。これがおせっかい条例であって、優しい町政ではないかなというふうに思いますので、こういったお考えをぜひとも持っていただきたいと思うんですね。これはハードルがかなり高い条例となってきますけども、こういった高齢者安否確認条例などを作成していくおつもりはあるのかどうか、この点確認をしておきたいと思っておりますのでよろしく願いをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えいたします。

現在のところは、条例の制定する予定というか考えはございません。今やっております民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、行政などがやっております見守り事業をより連携をもちまして、制度の周知も含めまして地域全体で取り組みを推進してまいりたいと思っております。

ただ、今、災害時要援護者の要綱でございますが、ある程度は他市さんがそういう条例こしらえてはるんですが、同じように網羅してると思います。ただ、議員おっしゃいましたように、立入調査権というのが入ってないというのが、入ってない状況です。条例をこしらえましたら調査権までいけるんですが、その辺が、今おっしゃいましたようにいろいろな賛否両論といたしますか、ございますので、今後いろいろ勉強してはまいりたいと思っておりますが、今はそういう現状でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

確かにハードル高いんです、これは。非常に高いんです。でもお一人の命を大事にする、命を大事にする優しい豊能町をつかっていくためには、ぜひとも、民生委員の方も本当につくりますと動きやすいんですね。御苦労かけるのが負担が減る。社会福祉協議会の方にも負担が減る。最終的には行政自身の方が負担が減って一番動きやすい、手を打ちやすい条例になってくると思うんです、立ち入りになりますとね。これはぜひとも検討の上に検討を重ねて、どうか真摯に前向きで考えていただきたい。優しい豊能町をつくるにおいて必要、ぜひ、これから高齢者が35%、40%になってくる時代においてぜひとも必要な条

例となってきますので、御検討よろしくお願いをしておきます。これはお願いしときます。

次に、時間的にもありますので、どうかあるときにつくったらよかったと思わないように、ぜひとも御検討しておいていただきたい。後悔は先に立たずですから、しっかりと検討してもらいたいと思います。

次にごみ問題であります。現在、ごみの減量に取り組んでいる最中ではありますけれども、昨年度全体のごみの減量を見ますと、一昨年と昨年の比率でも、家庭から出る一般のごみも7回減ってますね、7月。ふえた月が5月間、若干一般ごみがふえているということで、先ほど建設環境部長のお答えの中にも、1人当たりのごみの量は平成21年から増傾向となっておりますというふうな御答弁がありました。また、粗大ごみの回収方法も軌道に乗っているところではありますが、町長の言われるところのごみの減量化と資源化における指針となるごみ減量化計画第3次というのが策定しようとしてますが、これまで、それとは別に、これまで進めてきている第4次総合計画の中で、行政としてさらなるごみの減量を図るため、新たな施策の導入を検討していくことが課題ですと、このように第4次総合計画の中でうたわれておるんですが、この新たな取り組みというのは、今、啓発活動をやっていますが、新たなものがあればちょっとお知らせ願いたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

ごみの減量化についてのお尋ねですが、我々が行っております啓発につきましては、例えば水切りを対象とした水切りの啓発、

もしくは可燃ごみの中の紙類の引き抜きの啓発等々を行っておりますが、議員が今お尋ねになりました第4次総合計画の中にならっているようなことに応じた具体的な対応というのは、今、特段何もないという状況でございます。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

取り組み、やっぱりさっき言ったように絵に書いたのでは、これちょっといかんですね。もう一回見直してもろて、しっかりと、計画つくったんであれば検証していかなあかんと思うんですね。この検証するシステムをつくってもらわないかんと思います。ただ文章に載せたらいいわというのではなくて、全体として、行政としても町民としても全体として取り組んでいけるような方法でぜひとも進んでいっていただきたいと思いますので、これも要望になります、要望でなくてこれはもう確認ですよ。しっかりと計画どおり進めていっていただきたいと思いますのでよろしく願いをいたします。

平成23年の9月の議会で、一般質問で、レアメタルの回収してはどうですかというふうな伺いましたけれども、時間がなくて御回答はいただけなかったんですが、それ以降この希少金属について検証したかどうか、考えたかどうか、それを御回答願います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

いわゆるレアメタルというのは、いろいろな家庭の中に存在し、都市鉱山というふうな呼ばれ方をしている金属類のことを指すものでございますが、具体的な検討とい

うのはなかなか進んでおらないのが実情でございます。我々が考えられ一番身近な手法としては、携帯電話、昨今ですとスマートフォンに変わってきておりますが、それらの回収の拠点回収なんていうのは考えられるのかなという検討はいたしましたけれども、運送費とかそれから引き渡しのコストとか考えますと、1回当たりの引き取りがやっぱり100キログラムぐらいいはないと、なかなか回収に見合うような状況ではないという状況がわかってきまして、我々が回収ボックスを置いて100キログラム相当の都市鉱山と言われるようなレアメタル類を含んだ電化製品等を回収するというのはなかなか至難であろうというところで、具体化には全然至ってないというのが状況です。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

今回の環境特集号にごみの減量化委員会が家電リサイクルの工場見学というふうに掲載しました。非常にいい傾向だと思うんですが、この中に家電ごみだけで小型家電のレアメタル含んだ家電のところは残念ながら見えてないという状況で、残念に思ってたんですが、平成23年当時のこの小型家電リサイクル法は、準備も整備も中途半端なところがあつたんですが、今回平成25年度の取り組みにおいて、このような取り組みができてます。これは世界的でも今資源問題が大きく出てきておりますところの、新制度では、この参考図を見てもらいたいんですが、さっき言ったように非常に集積が難しいとおっしゃいましたけども、これは住民から出したものを一回ボックスで集めて、そして第一次集積所に持っていただけなんですね。それから第一次集積所に持っていきますと、その後どうするかと

いうと、業者が集めにくるんです。業者が集めるんです。持っていくんですね。ですから現在、平成23年度までのこのリサイクル法ですと、これは各地方自治体がばらして業者に渡すという第二次までであったんですが、今回の平成25年度の出てますとおり、使用済み小型家電電子機器リサイクル推進事業と、平成25年度、これは4月1日から始まります。これを入れると、回収方法はいっぱいあるんですが、簡単といいますか、先ほど、前回のようないリサイクル法とは違って新たな方法でできるということですから、これも検討してもらいたいと思うんですが、このリサイクル法というのは、自治体とリサイクル業者が柔軟に連携をして、地域の実態にあわせた形のリサイクルの推進をしていくと。家庭から出た資源となる家電等を一次の集積所に集めて業者に渡すというようなシステム、先ほど図でもって示しました。御存じのとおり、都市鉱山と呼ばれる、家庭で眠っている、そして破棄されてしまう品物は97品目あるんです。すごい数があるんですね。そういった小型家電の中に、小さいんですけどもレアメタルといったような貴重な資源が多用されているにもかかわらず、一般的なこのリサイクル法というのが、現在の新しい制度的なもののリサイクル法がなかったために、これは海外に流出しておったのが、これが非常に多いんですね。環境省の推計によれば、年間、有用な資源が28.4万トン、金額にすれば874億円にも達した金が捨てられているんですよ。こういった資源が一般廃棄物として家庭から出されて、使用済み小型家電が海外にも流出しているという報告が、30%海外に出てるという報告がされてます。町としても収入の増加が見込まれない中において、何らかの方法で回収をして業者に売却できればよい

と思っております。私だけ思っても仕方ない、できないので、行政にも働いてもらわなきゃいけないんですが、資源が確保できること、鉛などの有害物質の環境のリスク管理ができること、廃棄物の減量が見込めるということの3点、国としてもこの参加した自治体には財源的な支援しますというふうに言ってくれてるんですね。この新制度に加入した市町村には、ボックスやコンテナなど購入した際の初期費用の援助と、ランニングコストについても地方交付税に算入する、これらの財政の支援措置を行いますというふうに国のほうは今約束をしてくれてます。回収方法はボックス回収、ピックアップ回収、ステーション回収、集団回収、住民参加型回収、イベント回収などありますけれども、町に合った回収方法でもいいのではないかなと思ってます。一次集積場所に町独自で設けてもよいし、1市3町で共同して協議をして話し合っ、国崎クリーンセンターに集めるのも一案だと思ってます。お答えをいただきたいと思うんですが、こういった事業もぜひ進めていっていただきたいと思ってます。国としても循環型社会を目指して指針を出しています。町としても第4次総合計画の基本計画の中でも、循環型社会の構築に向けて啓発を行うと、このように言ってます。今回の町長の町政運営方針にも、排出をできるだけ抑制し資源を循環させることが必要だと、このようにおっしゃってます。4Rですね。このうちのリサイクル部門、不燃物として回収・廃棄されている小型電子機器家電に含まれる希少金属をぜひとも回収して資源を確保していく。金属が、中に含まれる金属は少ないかもしれないけれども、また住民の皆さんの御理解と御協力がぜひとも必要ですけれども、分別を、回収しようという新たな取り組みをしようとする意

志はあるのか、町としてあるのか、御回答願います。よろしくお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

議員お尋ねの件は、本年4月から施行されます、使用済み小型機電子機器等の再資源化の促進に関する法律に基づく小型家電に含まれる回収されていない金属、貴金属やレアメタルなどでございますが、の再資源化を促進するためのものの法というのが法律の趣旨でございます。この法律は、小型家電の再資源化を適正かつ確実に行うことができる事業者を国が認定し、市町村が回収したそのような小型電子機器等を引き渡すということで、従来の廃掃法の特例措置を講じたもので、いわゆる循環型社会という観点と、資源の、環境負荷の低減と資源の確保、これを両方をにらみ合わせた法律というふうに理解しておるところでございます。

そこでこの法律の考え方に対する市町村の取り組みでございますが、この法律に伴う政令並びに環境省令、これが3月1日に閣議で、政令が閣議で決定された。今月の3月6日に交付されるというようなことが、3月2日の新聞に一部掲載されておりました。したがって我々としては、その政省令の中身が、まだ具体的には把握しておりませんので、今後の検討課題というふうには考えておるところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

ぜひとも検討課題のうちにですから、町としてもごみが減る問題ともなってきます

ので、一般廃棄物として出されるごみもすぐく少なくなってくるんじゃないかと懸案されますので、どうか取り組みをぜひ進めていただきたいと思います。

時間的にも時間がなくなってまいりました。4項目できないんですが、次、省エネについて、福島原発以降、省エネが全国各地で取り組まれておりますけれども、エネルギー政策の大きな転換が課題となって、電力分野だけの問題ではなくて、社会全体で考えていかなければならないテーマとなっています。町として室内の照明を半減したり、昼などは消灯したり、処置をして消費電力の削減に努めているというのはまた承知してますし、冷暖房の温度設定も適正に処置をしているのは、これは承知しておりますが、このほかに何か省エネルギー的な処置はしているのか、もしあるのであればお答えを願いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

議員御指摘のあったとおり、原発等の再稼働が困難な状況とか、あるいは火力発電が増加すれば地球温暖化となって、環境全体から考えると悪影響が出るということから、現在、町として取り組んでおります節電については、今現在、町内の施設13あるわけでございますが、その中でデマンド監視システム及び空調の自動制御システムというのを今現在やっているということございまして、例えば役場でございますと2階にそういう装置が設置しております、注意報あるいは警報というふうになってくるわけです。それについては2階の冷暖房を切るというような措置で何とか電気の過剰な使用量にならないようにという

ような方法をとって節電をしているということでございまして、大きな町の施設についてはそういう電力の使用量を控えるというようなシステムを導入してるところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

私が質問した以上にはされてないということを確認させていただきました。

町の、さっき13施設あるとおっしゃいましたが、この各施設の内外の照明、電気ですね。照明灯の電気使用量は幾らぐらいかかっているか把握しておりますかどうか、御回答願います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

先ほど13施設いいますのは、デマンドを使用している施設でございまして、町全体では89施設ございます。年間の使用量というのは約484万キロワットを使っているという状況でございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

全体的な、多分電気使用量だと思うんですが、電球とか、これに勘案するとまた別の問題だと思うんですが、今、旧型の蛍光灯からLEDの照明装置にかえると踏み切っている市というのは非常に多くなってきています。大阪府では幹線道路の照明を全部リース方式にしてLED化するよと。千葉県の茂原市では市内全域の防犯灯、これ7,450本あるんですが、これも全てリース方式によってLED化を昨年9月に完成

しております。豊能町内の自治会の皆さんからも町内の防犯灯をLED化してほしいという要望も出ておるように聞いておりますが、このように交換した町村の節電効果はいっぱいいろいろなんですが、平均で電気代の50%を削減されていると言ってるんですね。神奈川県箱根町、これが一番多いんです。62%、電気代、蛍光灯からLEDにかえたら62%節電できましたと。そしてリース期間中、これ8年間で計算してます。約2,000万円削減されたというふうな報告も上がってきておるんですが、このリース方式というのは非常にいい方法なんですが、町において全施設の旧型の蛍光灯をLED照明にかえた場合の電気使用量の削減というのをしたことがあるかどうか、この点確認させていただきたいと思います。あるかないか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

電気使用量につきましては各施設で全部になっておりますので、照明灯に係る電気使用量というのは算出はしておりませんし、できないと、現実にはできないというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

できないけれども、これをかえると必ず効果が出るものなんですね。家庭でも多分御承知のとおり、LEDにかえた方がいっぱいおると思いますね。ぜひとも調査をして、省エネと経費削減に努める努力をしていただきたいと思いますと思うんですね。今回の町長の町政運営方針の中にも、節約意識と経費の削減というのをうたっております

ので、各施設の旧電灯からLEDの照明を導入するといったことも考えていただきたい。経費は莫大にかかると思うでしょうけれども、そうかかりません。リース方式にしますと。これは環境省が調べた資料です。蛍光灯の場合はこれなんです、この蛍光灯からランニングコストで見ますとこの分です。これはLEDにかえた場合に、リースにした場合、こんだけ削減されるんです。年間約2,000万円の削減と。それとコスト的にも、リース代でこのお金、経費は全部賄えるんです。これは1年に2,500時間蛍光灯を使えばもうリースのほうが安いという計算が出てます。多分2,500時間以上なります、蛍光灯、各施設合わすと。そういうことを考えますと、ぜひともこのリース方式というの考えてもらわないかん方式だと思うんですね。今までも赤々としてますと、かなり電気使用してるんですね。あとでまた言いますけども、管球1本当りの1年間の平均の点灯時間は約3,400時間だそうです、環境省の調べによると。電気の使用量の単価は1キロワット18.8円の設定で、1本当りで計算すると、旧蛍光灯では管球の交換なんかで199円かかる。電気使用料については2,763円、1本当り、年間ですね、かかるんですね。合計の2,962円ということで、こういうのありますようにかかっているという状況なんですね。こういう試算をこの計算でいくと、1年間の削減が1本あたり711円。たかが1本と思うでしょうけれども、さっき言った施設、相当の数の施設があって、公共的なものにこの白熱灯の電球、蛍光灯を使っている。これを全部かえると、1本あたり年間711円ですから、711掛ける何本かという計算出れば、かなりの削減率が出ると思います。どうかこういう計算をしてやっていただきたいと思うんで

すね。1本あたりLEDですと21ワットしか使わないんですね。かなり、普通の蛍光灯だと43ワットなんです、ワット数で言いますと。ですからこの差を見ても歴然とわかるとおり、かなり安く経費を抑えることができる、約8年間で、これ蛍光灯交換も8年から10年もつと言われている。4万時間、かえることは不要です。このようなものを蛍光灯からかえるとLEDなので、LEDを少し考えてもいいんじゃないかというふうに思ってますので、ぜひとも町にもこのような方式を進めていてもらいたいと思うんですが、そのお考えを示していただきたいと思いますが、どうでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

私も昨年8月から実施をされております福岡市の例を調べておりますけれど、高橋議員が言われたとおりの効果があるというふうに実績でも出ております。一度になかなかできませんけれども、一遍実験といえますか、そういったようなことをやる施設を、どこが一番効果があるかとかいうことをちょっと選び出しまして、そういうリース会社等とも話し合いをして、一遍試験的にどこかのやつをまずはやってみてはいかがかというふうに、今のところは考えているところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

高橋充徳議員。

○3番（高橋充徳君）

ぜひともモデル施設をつくって検証してみるのもやはりいいことではないかと思えますので、ぜひともこのモデル施設をつくってぜひやっていただきたい。モデル施設

つくるにも、購入したら経費高くなりますから、これはリースという方向で考えていただきたいと思いますと思うんですね。それと町内にある各自治体が持っているところの防犯灯あたりも、蛍光灯あたりですね。これもリースにかえて差し上げると、これもリース形式で考えて差し上げればいいと思うんですね。そういった方策もあるので、自治会が買われるところの契約する場合、少なかったらいかんで、窓口が町一本にしてリースにしてあげるとかというような方法もあると思いますので、そういう方向もぜひとも検討していただきたい。そうすることによってCO₂が削減図れますし、節電効果も図れる、なりますので、どうか御検討をよろしくお願いをしたいと思います。

あと教育問題あったんですが、本当は12月にも聞く予定でした。残念ながら時間がなくて聞けなかったんですが、また折を見て次の回、僕いないかもしれませんが、いないかもしれないけども、どうか教育行政についてもしっかりとメスを入れていただきたいと思いますので、次の機会に回しますのでよろしくお願いをします。これで公明党3番の高橋の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（福岡邦彬君）

次に、山下忠志議員を指名いたします。

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

ただいま議長より御指名をいただきましたので、6番・公明党、山下でございます。一般質問をさせていただきます。

一般質問に先駆けまして少しお願いがございます、私、一昨日朝食をとっておりますと、何か口の中に違和感を感じまして、がりっときたら、奥歯の義歯が5本、がばっととれまして、大変今はしゃべりにくくて空気も漏れてお聞きにくい、不明瞭な点

がございますけれども、その辺をよくお聞きいただいて御答弁を願いたいと思います。そして大分時間も延長になりましたんですけども、前向きな御答弁をいただきますと早く終わるんじゃないかと期待しておりますので、その辺もあわせてよろしくお願い申し上げます。

それでは通告をしておりますが、まずは通学路安全対策について、昨年12月にもこのような質問をしております。そこをもう少し、12月度のほうを確認をさせていただいて質問に移りたいと思います。12月度の議会日より、これにも報告させていただいてますが、豊能町の通学路の現状確認はどのように把握されているのかというところを質問いたしますと、いろいろな御協力をいただいて23カ所あると、国に報告しているということをお聞きしております。答弁をいただいております。そして5カ所については本町でもう既に対応している。そのほか18カ所については所管の官庁と連携して、平成25年度の国の予算の動向を注視して対応していきますということで、補正予算は大分遅くなりまして、これから遅くはなりますけども、平成25年度の国の予算も決まっていくと思います。そこで、豊能町の通学路の危険箇所の平成25年度の計画はどのようになっているのか、その辺をまずお聞きしたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

通学路の危険箇所の平成25年度の対策の件でございますが、午前中にも御答弁申し上げましたが、昨年の秋の関係者の合同点検の結果を受けまして、豊能町が改修すべき箇所、対応すべき箇所というのは10カ所ございました。またさらに追加の3カ

所を聞いておるところでございます。

そこで平成25年度にありましては8カ所、当初予算に計上している箇所に対応する予定でございます。内訳は、ほとんど工事的内容的には、道路の区画線、防護さく、カーブミラー設置、啓発看板設置、これらの内容の豊能町が管理する道路に対して安全対策を講じる予定でございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

そうしますと、18カ所残っておるうち8カ所ということでございまして、10カ所はまだ改修されない、対応されない、プラス3カ所追加、そうしますと13カ所残る、平成25年度には対応できないということではないでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

道路管理者として豊能町が対応すべき安全が必要な箇所というのは13カ所でございます。ですから来年度は8カ所、平成25年度予算で計上いたしておりますので、残りが平成26年度の対応になるということでございます。

申しおくれましたが、1カ所につきましては今年度のほかの予算で対応すべき所の工事現場でしたので、そこに防護さくを一つつくるということで対応が可能ということでございますので、本年度で1カ所対応、来年度8カ所、平成26年度3カ所の予定ということでございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

具体的に12月度質問いたしましたところ、

豪雨で東能勢小学校の間、あれをこのときは府道側溝に流し込む対策を講じてまいりますと、工事は遅くとも年度内を予定しておりますということを聞いておりましたね。具体例でございますけれども、これのほうは年度内に終わるのでしょうかね。その辺を再度確認させていただきます。もし終わらなければ、おくれる理由はどうしたものかということもお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

桑田教育次長。

○教育次長（桑田良彦君）

お答えいたします。

東能勢小学校の町管理の隣接道路の件でございます。時系列とともにお答えさせていただきます。

議員から御指摘の件、昨年10月23日の朝早く、集中豪雨で側溝があふれ府道に流出した件でございます。その後11月19日でございますが、池田土木と町と現場で立ち会いをいたしまして、基本的に池田土木が府道の改修として実施し、西側側溝、これも学校側でございますが、東側側溝、のせの里側でございますが、年度内に工事を終えるということを予定しておりましたが、12月8日ですけれども、これまた池田土木と町とのせの里で3者で現場立ち会いを行いまして、隣接道の横断している配水管がのせの里から出ていることを確認をいたしまして、生活排水が流れておりますので、排水をとめないといことができない状況になるということで、のせの里さんのほうに排水経路の調査を要請して、公共下水への接続を要請したところでございます。12月25日でございますが、池田土木と町とのせの里で現場立ち会いを行いまして、排水経路の立ち会いを行ったわけでございますが、まだ複雑で特定できず、の

せの里のほうに排水経路の調査を要請したところでございます。年が明けまして2月13日でございますが、池田土木と町と協議をいたしまして、東側の側溝、のせの里側でございますが、年度内に工事をする予定であると。ただし西側側溝はのせの里のほうの排水管の対策のめどがつき次第改修したいということでございまして、若干年度はまたぐということが判明をいたしたところでございます。できるだけめどがつき次第早急に行いたいというのが池田土木の事務所の考え方でございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

のせの里の西側ですね。これもやはり期日をいつまでにというのをやっぱり明示してから、この日までにやってくださいというのを表示して、明示して、やっぱり取り組んでいただくのが、私、大切やないかと思えますけど、その辺いかがでございましょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

桑田教育次長。

○教育次長（桑田良彦君）

お答えいたします。

教育委員会といたしましては、のせの里に強く働きかけていきまして、池田土木事務所とも早急に工事を行いたいと考えております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

今までいろいろな議員がおっしゃっておられましたけど、やはり期日も目標をつけると。そこをやはり大切にこれからも進ん

でいただきたいなと思います。それがあってこそ交渉も成り立つ、またいろいろな手も打てると思うんです。確かにそれは世の中おくれることがございましょうが、やはり目標値をきっちりつけるということが大切だと思います。

豊能町の教育委員会、いち早く危険箇所もいろいろな方の協力を得て仕上げられて、国にも出されて、そして公表もされておる。こういう公表までされておるのは大阪府下で、私が調べたところは43自治体があるんですけども、私が調べたところ5カ所しかないですね。これは豊能町の教育委員会、一生懸命にやられたなと、私は敬服しておるところなんです。ですからそういうことをやれる豊能町の教育委員会ですので、次の段階もぜひすばらしい成果を出していただきたいと思っております。

それでそれ以外に、先ほど建設環境部長からお聞きしましたところ、平成25年度の工事は、さくとか標識とかそういうものでございますけども、あれは2月15日前後だったと思うんですけども、東ときわ台小学校の生徒が下校時にけがをされて、大きなけがをされたという事故がございました。この辺教育委員会、どのようにつかんでおられるでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

小川教育長。

○教育長（小川照夫君）

お答えいたします。

今、御指摘されました東ときわ台の小学生の問題については、申しわけございませんが把握しておりません。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

これは東ときわ台、小学生2年の方です

ね。女の子なんですね。下校時に次の習いものがあるからと言われて慌てて下校された。それで歩道から次の曲り角で転倒されて、確か皿を骨折されて、顔面も打撲された。女の子は顔が命でございます。跡が残らなければいいのかなと思うんですけども、大変大きな事故だったと思います。皿を割られてるんですからね。これは私も調べてまいりました。一応、素人でございますが、やはり小学校から少しおりたところでございます。こういったきれいなところでございますけれども、東ときわ台小学校から箕面森町に通ずるあのバス通りですね。あそこの少し小学校から100メートルもいかないところですね、9丁目のとこで。これは一義的にはその児童が急いでかけて帰らたいうのがございますけれども、私これ道路的にもやっぱり不備があるん違うかなと思っております。といいますのがこの道路、豊能町の歩道は段がありますよね。下手でございますが断面図なんですけども、これが、歩道があってそこから、ここが道路なんですけど、道路に交わるところが下がってるんですね、当然。歩道は高くなってますよね、豊能町の。それでまたこれが東西で傾斜してるんですね。複合的になってるんです。この傾斜からこの交わる道路にかかるところに急に傾斜がきつくなる。こういったところもぜひ調べていただいて、そういう一つの事故を契機に、こういう危険な場所があるんやな、これは子どもさんの注意力に全部、自分でその注意力だけでこういう事故をなくせというのは難しいと思います。やはりこういうのは、こういうバリアはやはり極力、お金はかかるとは思いますけども、今回のこの交付金の措置があるときにしっかりと私は対処すべきじゃないかと思うんですが、これは町長に一回お答えいただけますでしょうか。教育長。

○議長（福岡邦彬君）

ちょっと双方の理解が。

この際、暫時休憩いたします。

（午後5時11分 休憩）

（午後5時12分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。

小川教育長。

○教育長（小川照夫君）

お答えいたします。

私、失念しておりまして、先ほどの答弁でございますけれども、小学校2年生の女子が帰りがけに両手に荷物を持っていたために、本来手をつくべきところができなくて顔からいったというのは承知しておりました。申しわけございません。ただ、そんなに大きな事故とは聞いておりませんで、校長先生が病院に連絡をとって養護教諭がついていったことと、それから家庭訪問をされて説明をされたということは聞いておりました。それはやはり今、議員が御指摘のとおり段差のところをつまずいたというふうにも聞いておりましたので、ひざがどうこうというまではなかったものですから、そこまでは大変失念しておりまして申しわけございません。十分それについては把握しておりますので、今後またいろいろな事象が出てきましたら、また建設課のほうともいろいろ御相談はさせていただきたいと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

私も明るく日に見にいったんですけど、跡がこのぐらい残ってたですね、血の海の。そやから大分大きな事故なんですよ。救急車を呼ばれても、やっぱりその間、当事者はなかなか来ない。あのときの1分、5分

って長いんですよね。それでまた運ばれたらなかなか、最初運ばれたところは整形外科がないということで、最終的には池田かどこか大きな病院に行かれたそうですけど、やっとそこで処置をされたということで、なかなか親御さんにとっても本人にとっても大変だったなと思っております。小学生の荷物、一義的にはそうなんですけども、やはりそういう道路にもやはりこれから見直すべきところがあると思います。

それと、この道路見ますと、花壇があるんですね、それとは以外に。歩道に花壇が張り出してるんですね。私も66歳になりまして、このごろひざが大分悪くなってきて、行く行くはよくあるシニアカーにお世話にならなあかんかなと思うんですけど、こういうのが障害になってくるんですね。以前は、これはたしかこの辺の東ときわ台のそこは見ばえ、写りばえがよく、緑豊かで、こういう植え込みが、多分景観がよかったと思います。しかし経年してくると、やはり住んでる方も変わってくると思うんですね。やはりこの辺も見直して、前向きにこういう花壇の見直しも、今回ぜひ、工事はすぐに経費的に難しいかもわかりませんが、こういう箇所をしっかりと押さえておく、そして次の段階に、平成25年度に無理であれば平成26年度ということで、こういう箇所をしっかりと把握するというのが肝要ではないかと私は思っておりますが、町長いかがでございましょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

まさにおっしゃっていただいているように、まずはしっかりと把握させていただいて検討させていただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

この際、暫時休憩します。

（午後5時15分 休憩）

（午後5時16分 再開）

○議長（福岡邦彬君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

こういった町の管理すべき道路とか、歩道がたくさんございますが、これはまた総務建設常任委員会もございまして、そちらのほうで詳しく論議したいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

次に2番目に移らさせていただきます。ワクチンの接種についてでございます。子宮頸がんなどの3ワクチンの定期接種が国のほうで決まりました。これを受けて町もしっかりと計画されておると思いますが、どのように計画されておるのか、平成25年度、この辺をお聞かせ願いたいと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

子宮頸がんワクチンを初め、小児用肺炎球菌、ヒブワクチンの接種につきましては、平成25年4月1日から予防接種法の改正が予定されておまして、一類疾病の定期予防接種に位置づけられます。

本町としましては、今でも医療機関等については任意接種で接種医としてやってもらっておるんですが、4月1日からの定期接種に向けまして、町内医療機関初め住民の皆様に町報、ホームページ等による周知を実施してまいりたく思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

次に接種率なんですけど、平成24年度の計上されてたのがたしか37%ぐらいだったと思うんですけども、これについて今まで接種率はどのようになってきたか、平成24年度に対象として、それを教えていただきたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えいたします。

3ワクチンの話でよろしいでしょうか。子宮頸がんでもよろしいですか。子宮頸がんワクチンでございますが、平成24年度は21.9%の接種率でございます。それもちょっと補足します。平成25年1月末現在で、3月末という平成24年度実績ではございませんが、その点御容赦願いたいと思います。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

今回から国において予算措置もされるようになっております。ほとんど、9割されるんですかね。そこで大切なのは接種率の向上だと思います。この辺は平成25年度、豊能町はどのように、接種率向上に向けての対策はとられるのか、その辺お聞かせ願いたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えします。

ちょっと、子宮頸がんワクチンに特化して回答させてもらえますか。それとも3ワ

クチン。子宮頸がんだけですか。

お答えします。

子宮頸がんにつきましては、町内の小中学校にも御協力いただきまして、接種に関する勧奨用チラシの配布を実施する予定でございます。それとあと町報ですね、ホームページ等で周知をして接種率向上に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

昨年も私、同じ質問をしたと思います。そのときもどのように向上される計画ですかといえば、チラシ、ホームページ、同じ内容だったと思います。そこで私は、ちょうど対象年齢者が小学校から中学校へ入学される時期に団体接種を学校単位でされたらどうですかという提案をさせていただきました。今現在、平成25年度1月現在で21.9%、37%の計上してても、それにも至らないですね。ここは大いに反省されて、私の提案されたことを、提案したことを、あのときもたしか一回医師会とも相談してみますという返事もあったと、私の記憶が間違っておらなければあったと思います。その辺もあわせて、団体接種についてどうお考えかお聞かせ願いたいと思います。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えいたします。

接種率の向上には、今、議員おっしゃいましたように学校等で実施する集団接種が有効だとは思いますが、保護者の方としましては、集団接種でなく医師からの説明をしっかりと受けて、納得・安心してから受ける個別接種が望まれていると考えておりま

して、現段階では集団接種は考えておりません。

先ほど、平成24年度21.9%、確かにそれが1月末の実績でございます。任意接種の場合は個人負担がございまして、子宮頸がんの場合は1回につき4,000円、2回受ける必要だったと思うんですが、そういう自己負担がございまして、定期接種になりましたら接種費用は無料だということで、住民の方に周知等をいたしましたら接種率の向上は、接種率は向上するものと私は思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

お金だけじゃないと思いますね。私、摂取するタイミング、その場所が大切だと思っております。そして個別が、以前も聞かれたら、対象確認をどのようにするのか、その辺が不安と。またワクチンの保管場所がないとか、保管箇所が。そういう返事になされたら。こういうワクチンですと学校単位ですが、幸い豊能町は小さい単位、学校の在籍ですので、その日にお医者さんが使う分だけ持ってこられたら、もう十分携帯でいけると思うんです。この辺前向きで検討する考えございませんか。町長、一回お答えいただけますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

前向きに考えていきたいと思っております。医師会の会合でも少し、正式な場ではないですけれども、そういったことができないかということは話したりはしたこともございましたし、前向きには考えていきたいと思

っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

本当に子どもさんが少なくなって、やはり大切な母体でございますので、豊能町の宝と言ってもいいと思います。その辺をしっかりと町を挙げて守っていく、育てていくというのが大切だと思いますので、この辺で本当に口先だけにならず、この辺も前向きに捉えてぜひやるべきだと私は思っておりますので、ぜひよろしくお願い申し上げます。

次に移らせていただきます。太陽光発電助成制度について。原発が休止しておる中、太陽光発電やクリーンエネルギーの発電などが、代替発電の需要がますます重要になっております。そこで我が町としても太陽光発電の、まずはリード役として個人のおうちの太陽光発電の助成制度をもう一度見直したらいかがか。ぜひ取り組むべきだと考えておりますが、いかがでございましょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

川上建設環境部長。

○建設環境部長（川上和博君）

お答えします。

太陽光発電の助成制度についての取り組みということでお尋ねでございますが、この件につきましては、議員から昨年も、また平成21年にも御質問いただいております。本町といたしましては具体的には補助制度というのを考えておらないというところでございます。国におきましては10キロワット未満の太陽光発電設備につき1キロワット当たりにつき約3万5,000円という補助制度がありますが、

町独自の制度というのは、創設は今のところ考えておりませんのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

きょうも午前中に、町のキャラクターとかがございました。やはり豊能町のPRということにつきましても、やはり何でも一番、全国一番になるのはなかなか難しいことで、ワーストワンはなりやすいですけども。そこで豊能町は大阪府下で一番ということで、豊能町の助成制度をぜひつくって、そして大阪府下でこの太陽光、取り組みがナンバーワンと、このぐらいのPRの、私にはPRの素材にもなるん違うかなと。また豊能町のクリーンさも売れるんじゃないか。こういう自然クリーンを大切にしている、自然環境を大切に、また環境にも優しいまち豊能町、ここに一遍住んでみたいというぐあいにPRもできると思ふので、この辺もぜひ、考えておらないじゃなくして、取り組むべきだと思ひます。

そこで観点を変えまして、戸知山、これも以前したことあるんですけど、ここに町がまず、あいてるところに太陽光をつけたらいかかなというのも提案しましたが、あそこはそのまま、自然で残すという当時の返事ではございました。私その前に、あそこは太陽光に適しているかどうかの日照テストを、これをぜひまずはやるべきだと思ひますがいかがでございましょうか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

以前にそういうお話があったというふうには記憶をしております。ただ、そういう調査等について、町独自でやるというふうな

ことについては、今のところまだちょっと考えておらないというふうなところではございまして、一応あそこについてはどういう形で今後将来利用するかということについても、根本的にはまた考えていかなければならないというふうには思っておりますので、ちょっとそういう利用方法ということについて根本的に考えた後に、そういうことも一つの方法として考えてはいきたいというふうに思ひますが、方向が定まってからさせていただきたいというふうに思ひるところでございまして。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

戸知山の使い方が決まってからということで、町長もスピード感が大切だと、かねがねおっしゃっておられます。なかなか今まで戸知山、ずっと今まで遊ばせてきておるわけですね。きょうあすに決まらないと思ひます。太陽光の工事というのは割と簡単で、今度能勢町で美化センターの跡に、この3月から発電します。ああいう事例もございまして。ぜひ、まず日照、使い方、撤去するときも大したことないと思ひます。大した基礎工事はやらないと思ひます。撤去するときも割と楽な、そんな大がかりな工事をしなくてもできると私は踏んでおりますけども、ぜひ、このスピード感を持った計画の立案ということを、豊能町長いかがでございましょう。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

戸知山の使い方につきましては、現在職員の方と検討しているところでして、早いうちに使い方は決定していきたいと思ひ

おります。その中で今、議員が御指摘いただいたようなことも勘案いたしまして、今後戸知山の使い方については考えてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

早いことっていいですけど、目安として平成25年度なのか平成26年度なのか、その辺の再度確認をいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

平成25年度中には一定の方向を出していきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

そのほか、新光風台のダムに行く、あのS字カーブのどこなんかも適しているんじゃないかと思えます。それはまた考えていただきたいと思えます。

次に、私また違う観点から見ますと、豊能町の戸建てのおうちは8割以上あるんじゃないかなと思えます。あれも立派な資産だと思うんですね、見方を変えれば。あそこにぜひ、そしてまたかたまってあるんですね。新光風台であろうがときわ台であろうが、私が住んでいる希望ヶ丘、まとまって1,000世帯、2,000世帯とあります。あれをぜひ売りにして、豊能町長みずからトップセールスマンとして、関西には有力な関連メーカーがたくさんあるんです。先ほど川上議員のところでございましたけども、尊敬する人物像というのが京セラの稲盛さ

ん上げられてました。あそこに京セラという会社もございますし、また松下さんのパナソニックもありますし、シャープさんもございます。ああいうところに働きかけて、こういうすばらしい位置があって、大阪で近くてまとまった屋根があると。これをぜひ活用しませんかとセールスに行くことはいかがでございますか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

田中町長。

○町長（田中龍一君）

お答えいたします。

太陽光発電につきましては、私の家の屋根の上にもつけております。それで、私の場合は補助金がない場合でも、国の補助金もなし、町の補助金もなしでつけております。

売り込みという話ですけれども、どういった形になるのか、また御紹介いただいて、今ちょっと想像つかないのが、売り込んだときに企業にとってのメリットというのが必要だと思うんですけれども、なかなか、当然つけるに当たっては住民さまも負担が要る。もちろん多分企業の方が全て無償で出していただくのであれば、それはすごくありがたいんですけれども、そういったこともあると思いますので、なかなか売り込む、売るポイント。

○議長（福岡邦彬君）

田中町長、想像できないで答えて結構です。

○町長（田中龍一君）

またそのあたりは、もし何か議員で、こういったところであればお声がけできるんじゃないかということがあれば、教えていただきましたらぜひ一度お話には行きたいと思えます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

山下忠志議員。

○6番（山下忠志君）

しっかりこの辺も調べられて、屋根貸しでその持主にもメリットがございます。その辺もしっかりと、やはりそれをまとめて、まず公募するんやったらニュースリリース、この辺も使って、どんどん出していただいて、そして企業にも訴えていく。まずマスコミをうまく活用するというのも大切でございますので、その辺をまずしっかり勉強してやっていただきたいなと思っております。

最後になりましたですけども、一つ私、本日、町長で気になった点がございまして、答弁の中で、職員の皆さんという言葉がたびたび出てきてたと思います。職員の方は公でございますし、町長はそのトップでございますので、私が自分の妻をつかんで奥さん、奥様って呼んでいるようなものでございます。やはりこの辺はしっかりとわきまえていただいて、この辺から注意していただきたい。最後にこの辺を御指摘して、私、山下の一般質問は終了といたします。ありがとうございました。

○議長（福岡邦彬君）

以上で公明党の一般質問を終わります。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

本日は、これをもって散会いたします。

次回は、3月6日午前9時30分より会議を開きます。

本日は長時間、どうも御苦労さまでした。

散会 午後5時35分

本日の会議に付された事件は次のとおりである。

一般質問

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

平成 年 月 日署名

豊能町議会 議長

署名議員 11番

同 12番